

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO APRIL 2016 VOL.64 NO.4

ロータリーの友4月号 第64巻 第4号
平成28年4月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻760号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

4

2016

「家庭健康教育プログラム」始動
RI理事会にて

Rotary 



1940 年

R I 脱会直前に横浜で開かれた地区大会に集まったガバナーと有志

1905 年、シカゴ・ロータリークラブが誕生して以来、順調に成長を続けてきたロータリーですが、第 2 次世界大戦によって、大きな試練を受けることになります。ドイツやオーストリアなど、ヨーロッパの国々で次々にクラブが解散に追い込まれました。日本のクラブも例外ではありません。存続を模索していましたが、1940 年、ついに国際ロータリーからの脱会が決議されました。しかし、脱会にともなって、すべてのクラブが解散したわけではなく、多くのクラブが水曜会、木曜会など、日本的な名称に変更して、会合を続けていました。

やるべきことは自らの手の中に

親愛なるロータリアンの皆さん、何年も前に、私はインドのコルカタでマザー・テレサにお目にかかる機会がありました。彼女は並はずれた人格者で、彼女が通りを歩けば「十戒」の紅海のように、群衆は道を開けました。しかし、会話の中で自分の功績に触れられても、その話題に関心を示すことはほとんどありませんでした。事実、自らが達成した最大の功績は何かと聞かれて、「私はトイレ掃除のエキスパートです」と答えたということが、多くの報告に残されています。

この答えはユーモアがありながら、極めて重みがあります。彼女の仕事は他者を気遣うことです。トイレは清潔であるべきなので、彼女は掃除したのです。取るに足りない仕事です。しかし、助けを必要とする人に救いの手を差し伸べる彼女の活動に勝るもの、より重要なものなど、この世には存在しません。

ある日、上品な身なりの男性がコルカタの彼女のもとを訪れた時、玄関で応対した修道女たちは、彼女は裏手でトイレ掃除をしていると答えました。修道女たちが示す方へと進むと、そこには本当にトイレを磨いているマザー・テレサがいたのです。彼女は、男性がボランティアをしに来たと思ったのでしょうか。こんなにちはと言うと、ブラシの正しい持ち方や水を無駄にしない方法を説明し始めました。そしてブラシを上等な服を着た男性に手渡すと、その男性をトイレに残して、立ち去ってしまいました。

その後、男性は再び彼女の前に現れ、「掃除が終わりました。お話ししてもよろしいですか」と尋ねました。「もちろんです」と彼女が答えると、彼はポケットから封筒を取り出して言いました。「マザー・テレサ、私は航空会社の責任者です。あなたのチケットを持ってきました。直接、お渡ししたかったので」

彼は、残りの半生を通じて、何度もその体験談を人々に話しました。このトイレ掃除の20分間は、それまでに経験したことがない最上の喜びを彼にもたらしたそうです。なぜならば、マザー・テレサの仕事に携わり、その一部となることができたからです。この20分間、マザー・テレサと同じように、彼は自らの手で、額に汗して病める者たちのケアを行ったのです。

このような機会は、まさに私たちがロータリーで得ることができるものです。彼女のように人生、家、家族のすべてをささげることは難しいかもしれませんが、しかし、1年のうちの20分、20時間、20日であれば、私たちも彼女のようになることができるのです。

私たちは、人がやらないような仕事でも、自らの手で誠心誠意、額に汗して取り組むことができます。そうすることが、この世で最も意義ある活動だと知っているからです。



原文（英語）は
こちらから

ROTARY
JAPAN
Home Page www.rotary.or.jp

Ravi

K. R. RAVINDRAN
2015－16年度 国際ロータリー会長



世界へのプレゼントになろう



4月は母子の健康月間です

- 3 RI 会長メッセージ
やるべきことは自らの手の中に 
RI 会長 K. R. ラビンドラン
-
- 14 母子の健康
「家庭健康教育プログラム」始動
茅ヶ崎中央ロータリークラブ
-
- 18 米山梅吉記念館をロータリー日本の宝物に
公益財団法人 米山梅吉記念館
理事長インタビュー
米山梅吉記念館の現状と今後
米山梅吉記念館 理事長 渡邊 脩助
-
- 22 World Roundup
世界のロータリーニュース
THE ROTARIAN 4月号から
-
- 24 つなぐ、ローターアクター②
——こんな活動をしています
第2560地区 R A 代表 伊比浩太郎
-
- 26 心は共に 東日本大震災
川崎大師 RC 幹事 須山 文夫／東京浅草中央 RC／
名古屋みなと RC 社会奉仕委員長 室原 國彦／
福島南 RC 会長 菅原 節子／大阪リバーサイド RC
-
- 29 地区大会略報Ⅲ
第2660地区・第2790地区・第2750地区・第2580地区
-
- 6 ■ロータリーとは
48 ■パズルdeロータリー
49 ■エバンストン便り
49 ■管理委員長の思い 
50 ■「パズルdeロータリー」(1月号)の答えと解説
51 ■ロータリー掲示板
RC 事務所住所変更・RC 例会変更・新 I AC・新 R AC・
広報誌のご案内・『ロータリーの友』英語版 No.74 のご案内・
2016-17 年度版ロータリー手帳のご案内・地区別クラブ数／
会員数／出席率一覧表・『友』5月号主要記事予定
53 ■日本ロータリー分布図
53 ■奥付

7 特集 子どもたち、若い人たちが 夢を持てる未来のために③

淡路三原ロータリークラブ／松江東ロータリークラブ／
平塚ロータリークラブ／八幡浜ロータリークラブ／
小矢部中ロータリークラブ／寒河江ロータリークラブ／
岡山南 RC 社会奉仕委員長 宮地 敬幸／
橋本ロータリークラブ／明石西ロータリークラブ

30 視点 ガバナーのページ

第2600地区 望月 宗敬／第2610地区 柳生 好春
第2620地区 野口 英一／第2630地区 岡田 信春
第2750地区 水野 功／第2760地区 加藤 陽一
第2780地区 田中 賢三／第2640地区 辻 秀和

34 よねやまだより “よねやま”から広がる新しい世界 ⑭ お世話を買って出てみたら……

湯沢 RC 八田 順造
米山学友 ホアン・ディー・スーン

36 THE ROTARIAN 4月号から

ON BOARD 理事会にて

文: Kevin Cook
写真: Alyce Henson

46 2016年ソウル国際大会記念 「世界の子どもの図書館」のための 図書寄贈キャンペーン

47 Rotary いま…… 新年度の準備はお早めに

54 ロータリーの公式日本語 フェイスブックページが開設!

一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ROTARY
JAPAN 
Home Page 
www.rotary.or.jp



P36～45 R I 理事たちは、3日間の理事会で数多くの案件をこなします―

1 K. R. ラビンドラン会長、2 カレン K. ウェンツ理事、3 シャファク・アルバイ理事、4 マノジ D. デサイ理事、5 グレグ E. ボッド副会長、6 林修銘理事、7 ピーター L. オファー理事、8 サワラ・ラタナウィック理事、9 ジョゼッペ・ピアレ理事、10 ブラッドフォード R. ハワード理事、11 エドゥアルド・サン・マルティン・カレニョ理事、12 ジョゼ・ウビラシ・シルバ理事、13 ジョン F. ジャーム会長エレクト、14 ジェニファー E. ジョーンズ理事、15 杉谷卓紀理事、16 パー・ホイエン財務長、17 イアン・ライズリー会長ノミニ（サンドリンガム RC、オーストラリア）、18 ギーラー E. タマンガン理事、19 ジュリア D. フェルプス理事、20 ジョン・ヒューコ事務総長、21 ロバート L. ホール理事
※各理事の所属クラブおよび国名は、『ロータリーの友』7月号横組みP20～21をご覧ください。

ロータリーの友 委員会	特別顧問	中山 義之 (横浜南)	地区 代表委員	2500 森山 昌彦 (旭川北)	2830 平川 賢悦 (青森モーニング)	2650 小川 秀明 (京都南)
		神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)	2510 荒木 敏博 (岩見沢)	2840 松島 宏明 (桐生)	2660 庄野 晋吉 (大阪)	
		上野 孝 (横浜)	2520 三浦 一 (仙台泉)	2580 林 茂男 (東京ベイ)	2670 斎藤 賢治 (徳島)	
		安平 和彦 (姫路)	2530 星 遵一 (南相馬)	2590 荒木 彦次 (横浜)	2680 折戸 善信 (神戸西神)	
		片岡 信彦 (土浦南)	2540 佐野 公彦 (秋田北)	2600 西堀 恒司 (松本)	2690 江尻 博子 (岡山南)	
顧問		藤居 彰一 (日立)	2550 真尾 和夫 (足利東)	2610 小関 茂雄 (高岡)	2700 石村 優悟 (福岡)	
		大野 清一 (横浜東)	2560 高橋 登 (新潟南)	2620 佐藤 正幸 (甲府)	2710 藤里 隆 (宇部東)	
		田中 俊實 (鹿屋)	2570 細井 保雄 (行田さくら)	2630 前田 和也 (鈴鹿シティ)	2720 高宮 宏 (熊本南)	
		上山 昭治 (東京武蔵野中央)	2770 隅内 道三 (川口東)	2750 井上 直行 (東京町田サールピア)	2730 中島 司人 (福岡東)	
		大槻 哲也 (東京中央)	2790 中村 正見 (千葉)	2760 水野 吉紹 (名古屋北)	2740 新岡 正久 (唐津東)	
委員長	橋本 長平 (京都東)		2800 中村 隆志 (米沢上杉)	2780 桐本美智子 (平塚)		
副委員長	清水 良夫 (横浜)		2820 山崎 恭弘 (竜ヶ崎)	2640 寺下 卓 (海南東)	編集長	
R I 理事	杉谷 卓紀 (玉名)				二神 典子 (東京築地)	
R I 理事エレクト	斎藤 直美 (豊田)					

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,076、会員総数1,217,996人（2015年12月31日RI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,269、会員数89,053人（2016年1月末現在）となっています。

2015 - 16 RI テーマ



世界へのプレゼントになろう

Be a Gift to the World

ロータリーの目的

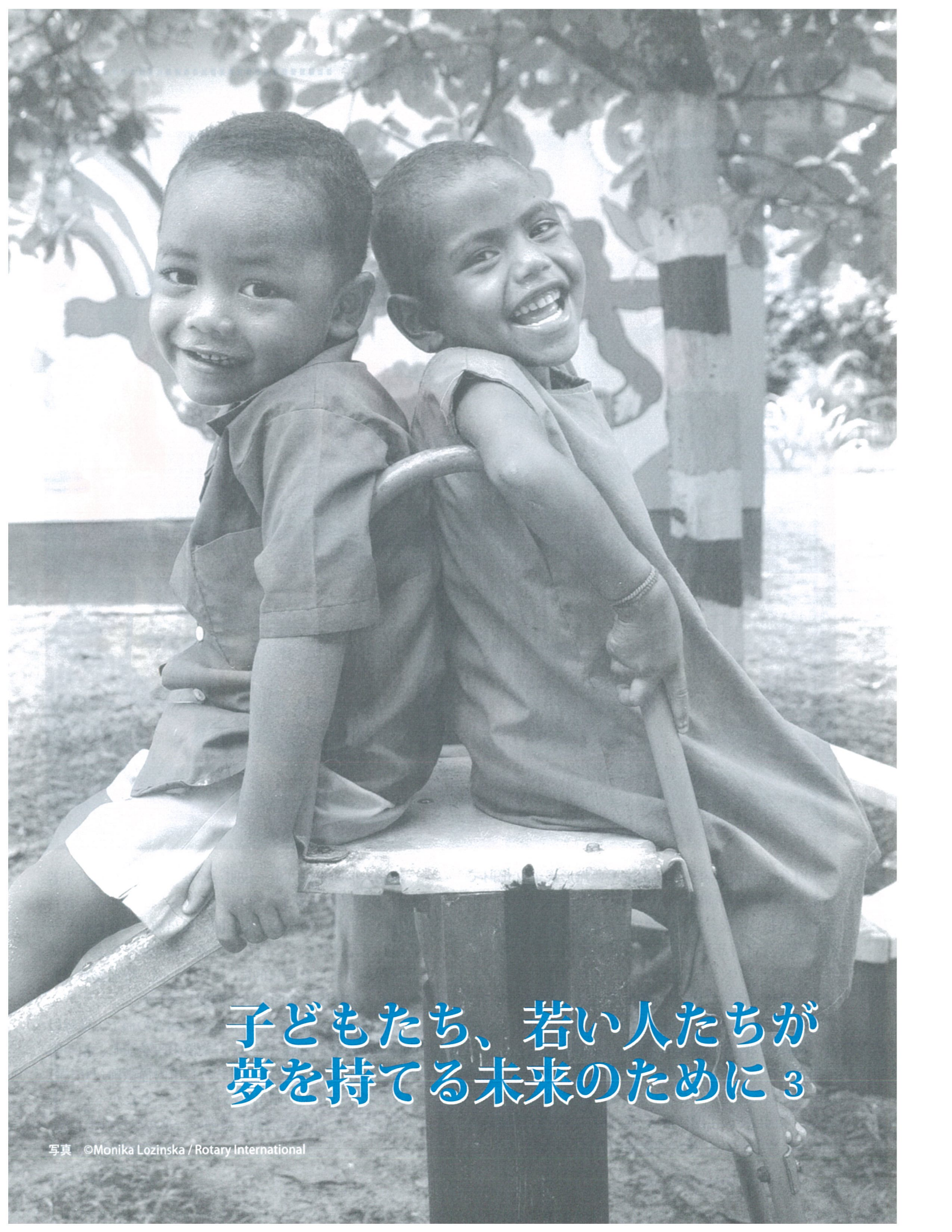
ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

A black and white photograph of two young children, likely of African descent, sitting on a wooden bench outdoors. They are both smiling and looking back over their shoulders towards the camera. The child on the left is wearing a light-colored short-sleeved shirt and dark shorts. The child on the right is wearing a light-colored long-sleeved shirt and dark pants. They are holding onto the wooden railings of the bench. The background shows trees and foliage, suggesting a park or outdoor setting.

子どもたち、若い人たちが
夢を持てる未来のために 3

中学校の淡路人形浄瑠璃傳承を支援

淡路三原ロータリークラブ



500年の歴史を誇り、国指定重要無形民俗文化財でもある淡路人形浄瑠璃は、わが郷土の伝統芸能です。地元の南あわじ市立三原中学校では、淡路人形浄瑠璃の伝統の継承を目的とした部活動を長年にわたり続けており、「人形、語り、三味線」の三つ全てを生徒自身がこなし、毎年、淡路島内外で30回を超える公演を行っています。しかし、使用する衣装や舞台装置などが古くなり、活動に支障を来し始めていると聞きました。

当クラブは創立53年のクラブですが、創立50周年以降「地域・文化・こころ」を主題として活動を行っており、今回はその主題に沿った活動として、地区補助金プロジェクトとして、その部活動の支援を計画しました。

淡路人形の衣装（鬼一法眼三略巻・五条橋の段「牛若丸」、伊達娘恋緋鹿子・火の見櫓の段「お七」）や、舞台装置（金屏風、毛せん、座布団、風呂敷、三味線駒）を寄贈ただけでなく、日ごろの練習の成果を発表する機会を提供することを目的に、11月1日、特別養護老人ホーム・翁寿園で訪問公演を開催しました。

入居者約40人と職員15人ほどの観客の前で三味線の連弾、戎舞、鬼一法眼三略巻・五条橋の段を演じ、拍手喝采を受けました。最後は、南あわじ市内最高齢（105歳）の入居者から花束の贈呈があり、「とても良かった。ありがとう」と、生徒に感謝と激励の言葉が送られました。

（第2680地区 兵庫県）

歓声に包まれた森 里山塾

松江東ロータリークラブ

子どもたちはもちろん田舎育ちの大人たちでさえ、里山体験が乏しくなっています。そこで今一度、里山や森の大切さを知り、人と自然の共生を考え、里山を生かす知恵を学ぶことを目的に、11月1日に体験施設・出雲かんべの里の協力を得て「里山塾」を開催しました。

参加者の子ども100人、大人50人、島根大学の留学生と家族を含め11人と、ロータリアン約20人の合計約180人が3班に分かれ、5時間で10種類の作業を行うコースを体験しました。

参加者は森の中に設けられた体験場に分かれた後、山の斜面から木製そりに乗せた丸太を協力しながらソロソロと慎重に降ろしたり、また、丸太を斧で割ったり、木の棒を板とこすり合わせて火を起こし、その火でバウムクーヘンを焼き上げて味わうなどの体験をこなしました。子どもたちにとって初めての経験と達成できた喜びの歓声に森は包まれました。

文明の発達した現代に、昔の知恵を知り、味わ

うことのできない体験を楽しみました。子どもたちの「面白かった」との感想から、この経験は生涯にわたる思い出として残るだろうと感じました。ロータリアンは裏方を務め、慣れない手つきで材料を運び、火をおこしてべっこう飴やバウムクーヘンづくりを煙に巻かれながら手伝いましたが、参加者の満足した顔を見て、共に充実感を味わう一日となりました。（第2690地区 島根県）



第10回よい音楽に親しむ会

平塚ロータリークラブ

10月19日、平塚中央公民館大ホールで、クラブ主催の「第10回よい音楽に親しむ会」を開催。この事業は地域の子どもたちへの情操教育の一環として始めました。今回は平塚シンフォニエッタによる弦楽アンサンブル四重奏を演目として、地域の小中学生約500人を招待しました。

前半はアントニオ・ビバルディ作曲の「四季」から「春」などのクラシック曲の演奏、間に弦楽器の紹介を挟み、

後半はディズニーソングなどおなじみの曲を中心に演奏したほか、ルロイ・アンダーソンの曲のピチカート演奏（弦を指で弾いて演奏する技法）も披露してくれました。

子ども向けの構成としましたが、大人も非常に満足できる内容でした。聴き手を飽きさせない！という気迫がコンサートマスターを中心に楽団から伝わってきたからです。子どもたちもそれに引き込まれたのか、非常に熱心に鑑賞してくれました。

終了後、子どもたちからはお礼の言葉を、平野達雄ガバナー補佐夫妻からはねぎらいの言葉をいただきました。こうした言葉を受けて、春から準備を担当してきた原田伊三郎社会奉仕委員長をはじめ当日の早朝から会場設営を担当した奉仕委員と親睦委員を中心とした会員たちは、「やって良かったなあ」とニコリでした。

後日、今回の様子を地元のケーブルテレビや新聞など、多数のメディアに紹介していただきました。この事業を継続することで、ロータリーの公共イメージ向上の一助となればよいなと思いました。（第2780地区 神奈川県）



Rotary Farm いもほり大会

八幡浜ロータリークラブ



の大きい芋が1,000個以上できました。11月1日、八幡浜少年ホームの子どもたち20人を招き、お隣の宇和島ロータリークラブも参加、総勢50人で「Rotary ふれあいもほり大会」を開催しました。子どもたちは土をかき分け、顔を真っ赤にして引っ張り抜いていもを掘り出し「やったー」「でっかい」と大喜び。さわやかな秋空の下でいい汗を流して、一緒に収穫の喜びと交流を楽しみました。

(第2670地区 愛媛県)

地域の子どもたちとの触れ合いと会員相互の親睦を目的に、春先から開いてきた100坪のRotary Farm。5月に植えたサツマイモ500株も大きく育ち、500gも

いていもを掘り出し「やったー」「でっかい」と大喜び。さわやかな秋空の下でいい汗を流して、一緒に収穫の喜びと交流を楽しみました。

メルヘンおやべランバイクレース

小矢部中ロータリークラブ

ランバイクとは、ペダルのない自転車で、足で地面を蹴って進みます。子どもたちの健全な心身を養うためレースを開催。2～8歳の幼児・児童を年齢別にクラス分けして、予選、準決勝、決勝へと進め、優勝者を決定します。体のバランスを使って上手にコーナーやカーブを抜け、応援にも力が入りました。県外からも大勢のエントリーがあり小矢部市の活性化につながればと思っています。

(第2610地区 富山県)



おやじが推薦！ この一冊

寒河江ロータリークラブ

「会員一人一人が主役です。青少年に目を向けよう」という若月仁会長の年度スローガンのもと、56人の会員が、今までに感銘を受けた本を「寒河江の中小企業のおやじが薦める一冊」として、寒河江高校と寒河江工業高校に寄贈しました。また、両校の図書委員に「今、読みたい本」を選定してもらい寄贈。可能なも

のは電子書籍も併せて贈りました。

ロータリアンの価値観を押し付けるものではなく、人生の先輩として、推薦した本から何かを感じ取り、共鳴するものがあればとの思いで企画しました。

会員からの推薦図書は、ビジネス書からリーダー論、ノンフィクション、SF、野球論と多種多様。もっと知ってもらいたいと、寒河江の歴史、人物、方言などの郷土関連書籍もありました。推薦理由をパネルにして、思いを込めて贈りました。

(第2800地区 山形県)

地元神社の看板整備と食を学ぶプロジェクト

岡山南R C社会奉仕委員長 宮地 敬幸

素晴らしい秋晴れとなった11月3日、瀬戸内市立の美和幼稚園と美和小学校の子どもと保護者ほか、当クラブ会員の計約100人が参加し、地区補助金を活用したロータリーデーの事業として4つの活動を行いました。

1つ目は、日本で最古と言われる大神神社を6世紀中ごろに勧請したという地元の美和神社で、宮司の矢野浩子氏から地域の歴史と風土のお話を聞きました。

2つ目は、当クラブが整備した同神社の案内看板を披露するため、神事後、小松原正吉会長と武久顕也市長で除幕を行い、大勢の地元の皆さんにも喜んでもらいました。この看板で美和神社を訪れる人が増え、より多くの人に当地の歴史を知っていただけたらと思います。

3つ目は、黒大豆の収穫体験として、行儀よくがんば

った子どもたちと一斉に畑へ突進。地元の方がこの日のために6月から育ててくれた畑で大はしゃぎ。当初秋山秀行会員の畑で収穫を予定していましたが、10月下旬にイノシシに荒らされてしまったとのこと。農業の苦労も学んでもらえたと思います。また、畑の隣にある備前焼窯元の前では、備前焼のルーツが見られる築山古墳、寒風陶芸会館で本物の須恵器（朝鮮半島伝来の土器）を見学しました。

4つ目は、地産地消と食育講座。黒大豆が、塩味だけでおいしいポークビーンズに変身することに、子どもたちは驚いていました。素材の良さがいかに大切かを実際の料理で学び、さらに講師による食べ物と排せつの話で食事の大切さを教わりました。（第2690地区 岡山県）



ネパールの学校建設を支援し、開校式に出席

橋本ロータリークラブ



昨年4月25日のネパール地震の発生を受けて延期になっていた、当クラブの学校建設支援プログラムとして、2014 - 15 年度支援のプラバット高等学校と、2015 - 16 年度支援のシルジャナ初等中学校の開校式に出席するため、喜多啓允会員、大沼郁夫会員、辻俊之会員の3氏が10月28日から11月9日までネパールを訪問しました。

今回は同時にカトマンズ・ロータリークラブ(RC)、パタン・ダルパール・スクエアRC、パルパRCを訪れ、第2640地区で募ったネパール震災義援金(約180万円)を届け、私たちの支援活動を現地でサポートしてくれて

いるパルパRCの垣見一雅会員にも届ける使命を担っていました。

ところが、9月にネパール憲法が制定された後、インド国境に近いマデシ系民族が州割に反対し、インドからの物資がストップしているとの情報があり、特にガソリン、軽油、プロパンガスが入手できないため、遠距離移動を要するパルパの学校に行くことができるかどうかが懸念されました。事前にエージェントに頻回に燃料確保を指示して、例年よりも日程に余裕を持たせて出発しました。また、南回り(パイラワ経由)は、

マデシ系民族の地域になるので、北回り(ポカラ経由)に変更し、タンセンへ向かいました。ガソリンスタンドでは2~3kmもの給油の車の行列ができていて、給油まで3日間もかかる状態でした。このため、幸か不幸か恒常的にある渋滞がなくなり、私たちはいつもよりスムーズに移動できました。

1校目のプラバット高等学校は、2014年の訪問時には、パルパ県との協同出資で、県予算の関係から未着工でしたが、今回は完工していました。2階建ての校舎で、2階部分が当クラブの支援した教室であり、大変立派なものでした。250人の生徒と先生、保護者の歓迎

ミャンマーへの教育支援

明石西ロータリークラブ

当クラブは2005年11月、ミャンマーの梅農園への農業支援(牛2頭と揚水ポンプ一式を寄贈)をして以来、

数回にわたって同国で教育関係の支援をしている。昨年11月には国際奉仕委員会と青少年奉仕委員会の会員が、

奉仕活動とミャンマーの人たちとの親睦を目的に現地を訪れた。

国際奉仕委員会はトウツカサエティー尼僧院学校に対し、4人掛け勉強机といす計20セット、先生用のいす5セットを



を受けました。14 年にも訪問していたので、旧交を温める機会となりました。

2 校目のシルジャナ初等中学校は、長距離通学を強いられる山の上にあります。160 人もの生徒が、どこから集まってくるのかと疑問に思うほどの場所で、険しい^{けものみち}獣道のような道を通学しています。開校式典では、子どもの民族舞踊で歓迎を受け、和やかな時間を過ごしました。式典後、ニワトリを潰し、年に何回かのごちそうとされるチキンダルバートをおいしくいただきました。

式典中、大沼会員が右目に障がいのある女子生徒を見つけ、手術で治癒できるなら都会の病院で治療するようにと費用負担を申し出て、保護者と校長先生に相談の上、後日連絡をもらう約束を交わしました。

両校に、当クラブの 2014 - 15 年度の吉田裕会長個



人の支援金を会場で披露し、橋本 R C 基金として有効に使ってくれるようお願いしました。パルパ地方では銀行の利息が 18% もあるので、利息で図書、学用品を購入できると喜ばれました。

ネパールの学校建設支援も計 4 校目となり、就学事情も少し理解できてきました。識字率向上のため学校建設を支援してきましたが、山間部ほど卒業まで就学を継続する生徒が少なくなります。それは成長につれて子どもの仕事が多くなるからで、例えば水くみ、燃料の新^{まき}拾い、家畜の餌やりなど、その仕事の軽減も含めたサポートも必要と痛感しました。

今後、クラブではバイオガス装置、共同水くみ場、ソーラー発電の設置などのインフラ整備で、子どもの仕事軽減につながる支援活動も進めていきたい、と考えています。

(第 2640 地区 和歌山県)



寄贈した。同校はヤンゴン郊外にあり、篤志家の支援により運営している恵まれない子どもたちのための学校で、子ども約 180 人が在籍し、先生 5 人、尼僧 17 人が教育に従事している。贈呈のセレモニーでは子どもたちから大歓迎を受けた。また、14 年 4 月には同じ地区の明石北ロータリークラブが校舎を寄贈している。

青少年奉仕委員会はティンミャンマーランゲージセンターに、日本語漢字辞書の出版費用の一部を贈呈した。贈呈後に先生と生徒代表らとの昼食会を開き、親睦を深めた。同センターは米山学友のティン・エイ・エイ・コ文学博士がヤンゴン市内で運営している日本語学校で、生徒は大学生約 150 人、社会人約 50 人が在籍。今回寄贈した日本語漢字辞書はティン氏らが編さんしており、ひらがなが五十音順に記載され、「ひらがな→漢字→ミャンマー語→漢字の用例→ミャンマー語」の順に検索できる。約 200 ページの辞書で、2,000 部を印刷し、



無償で日本大使館図書室、ヤンゴン外国語大学、マンダレー外国語大学、ヤンゴンの日本語学校などに配布する。

なお、ティン氏は日本語漢字辞書の出版費用調達に苦労されており、ロータリアンの支援を必要としている。連絡先は次の通り。E-mail : thin.tmlc@gmail.com

(第 2680 地区 兵庫県)

「家庭健康教育プログラム」始動

茅ヶ崎中央ロータリークラブ

AMDAとの出会い

「談論風発にして有言実行」。この言葉は Association of Medical Doctors of Asia (AMDA) の菅波茂代表がのちに茅ヶ崎中央ロータリークラブ(RC)の気風に感じた言葉です。AMDAの菅波代表との出会いは、2009年9月、当時クラブの国際奉仕委員長だった小川一雄会員が、第2780地区国際奉仕委員会セミナーで、AMDAの山上正道氏の講演を聴いた時です。

2010年1月に発生したハイチ大地震の折、クラブ独自に募金活動を開始し、ハイチで医療支援を行うAMDAに義援金を送りました。その年の8月には、地区補助金委員長になった堀川正夫会員の依頼により、菅波代表が地区ロータリー財団セミナーに講師として講演くださいました。ハイチへの支援はさらに地区も加わり、地区補助金を活用し、AMDAからの要望で義足研磨機をAMDAドミニカの協力でハイチに届けることができました。この義足研磨機は今でもAMDAハイチ支部で活用されております。

翌2011年2月には、第4グループガバナー補佐を務めたこともある池亀武士会員の依頼により、インターシティーミーティング(IM)で「緊急支援について」をテーマに講演をしてもらいました。その1か月後の3月11日、不幸にも東日本大震災が発生。いち早く現地入りしたAMDAの菅波代表から、使い捨てカイロの手配の要請が入ったのは2日後でした。この支援は、第2780地区との協同プロジェクトとして4月初旬まで続

けられました。

以降、AMDA菅波代表からは、茅ヶ崎中央RCのアドバイザーとして、さまざまな場面で助言をいただきました。

ポリオの実情を確かめにパキスタンへ

ロータリーでは、長年ポリオ撲滅活動に取り組んできました。寄付だけでなく、へき地や紛争地帯、異民族、異宗教など、いろいろな問題にぶつかりながらさまざまな活動をし、ポリオのない世界を目指し頑張っています。しかしながら、なかなかポリオが撲滅できない現状の問題点を探るために、私たち茅ヶ崎中央RCは、世界保健機関(WHO)、国際赤十字などのパキスタンへの資金援助について研究していたところ、資金提供先が判明しにくい実態があることに直面しました。そこで、AMDA菅波代表に、率直に資金援助の実態について問題提起をしたところ、まずは現地での支援活動を自分たちの目で見ることの重要性を強く投げ掛けられ、小川会員のほか、木村康治会員、前川義憲会員がこれに呼応しました。

菅波代表からは視察団派遣に当たり、事前調査のアドバイスをいただき、それを受けてクラブ内にプロジェクトチームが設置されました。クラブ創立30周年にあたり、記念事業としてパキスタンポリオ撲滅委員会(EP P委員会 End Polio In Pakistan)が立ち上がりました。

日ごろ、卓話をいただいている地元選出の代議士の方に相談したところ、快く外務省・厚生労働省、そして、在日パキスタン大使館とも連絡を取っていただきました。厚生労働省ではパキスタンでのワクチン接種環境について情報をいただき、外務省では現地の状況を踏まえて、在パキスタン日本国大使館、在カラチ日本国総領事館の支援体制を敷いていただくことになりました。

また、パキスタン大使館を訪問した際には、ファルーク・アーミル大使から、地元の意見として保健省大臣や日パ友好議員連盟の代表でパキスタン首相府でポリオ対策担当首相補佐官を務めるアイシャ・ファルーク氏との意見交換をするよう、アドバイスをいただきました。ロータリーでは、会員からの寄付がロータリー財団に集められ、ポリオ撲滅のための援助に回っているものの、その提供先については、アーミル大使も多くの寄付が本当に必要なところに行く前に、少し違った使途に使われて



パキスタンポリオプラス委員長アジスメノン氏(右から3人目)と

いることを感じていると言われていました。

国立国際医療研究センター国際医療協力局では、パキスタンで実際にポリオ撲滅にも携わった経験から示唆に富む情報やアドバイスをいただきました。

委員会立ち上げと同時に、クラブとして外務省の渡航禁止区域になっている国に会員を派遣すべきなのか、万一の際、クラブとしての責任はどうなるかなどの議論になりました。また、渡航を申し出た会員の中には、家族から強烈な反対を受けた人もいました。

2014年1月19日に、成田空港を出発した3人は、途中のタイでAMD A菅波代表と合流し、13時間40分をかけて首都イスラマバードに降り立ちました。自動小銃を肩から下げる民兵・私兵が辻々に立つ恐々とした環境の中、日本大使館では猪俣弘司大使、National Rural Support Programme (NRSP) 本部ではマッサド氏をはじめ多く現場で活動をする職員と、UNICEF職員、アイシャ・ファルーク氏、移動してカラチでは日本総領事館で大内見総領事、ASP (NRSPの姉妹団体) では、NRSPのトップでもあるバジュア総裁、そしてカラチRC (第3271地区) では、パキスタンポリオプラス委員長のアブデュール・アジスメノン氏などと意見交換を行ってきました。

最後にお会いしたアジスメノン氏からは、国際ロータリー (RI) からパキスタンポリオプラス委員会にポリオ撲滅活動に対する資金が提供されており、その資金は、広報 (映像作成、パンフレット)、常設トランジットポイント (国内を移動する人たちが通る主要道路や駅に設置) の設立、コールドチェーンの確立、子どもたちにポリオを教えるための本の作成、テレビ、ラジオなどでのポリオキャンペーンの広報活動、常設ポリオ接種会場の設立などに使われている旨を伺いました。

パキスタンポリオプラス委員会では、ポリオ以外の活

母子の健康



NRSPのオフィスで

動への寄付も受け付けており、直接受けるし、寄付者が望む使用の仕方 (例: 本作成など) をするが、なるべくロータリー財団を通していただくことを推奨しているそうです。しかし、問題点は、メディアや衛生知識との接触がない家庭が多くあることや、非識字の貧困層の存在です、と付け加えられました。

母親が知ることから家族の健康は始まる

帰国後、すぐにクラブにおいて報告会がもたれ、派遣会員から、地域に根付いた支援として、未婚女性への啓蒙活動を行うNRSPへの活動を、茅ヶ崎中央RCが直接支援していくことが、提案されました。

ポリオ発生率は減少していますが、北西部の辺境州など特定地域での発症が80%という特徴があります。都市住民は30%で残りの70%が貧しい農民で、彼らはテレビやラジオなどを持っておらず識字率は低い。部族社会で女性と子どもでは、女性にしか接触できません。

彼らに対するポリオ撲滅キャンペーンをどうするのか。NRSPが考え出したのが「女性健康普及員」のシステムです。教育を受けた女性健康普及員が各家庭を訪問してポリオワクチン接種の必要性を母親に教えるというものでした。

しかし、課題は彼女たちに対する必要な教育の提供と給与。月に1万円なので辞めやすいことと、またこのために十分な教育を受けた女性の確保が困難であること。さらに、ポリオ対策がアメリカのスパイ活動に利用されたとされ関係者が殺される事件が続いているといった問題もありました。





そこで、「家庭健康教育プログラム3か年計画」が提案されました。それは第2次世界大戦後に、日本において母と子の健康を守ってきた「愛育委員会」に共通します。女性が単に健康情報を得るだけでなく、得た知識を普及させる立場へと昇華させます。健康情報を持っている女性は子ども、夫、両親そして近所の人たちに伝達し地域においてその理解が浸透していくことを目的にします。

具体的には、若い女性に1日3時間で5日間の研修を行い、その内容は単にポリオだけを取り上げるのではなく、応急処置、避妊、出産前後のケア、衛生そして予防接種（ポリオを含む）など広く健康情報に関する研修を実施するのです。

参加者には500円が支給され、終了後の試験に合格すればさらに500円が支給されます。講師は認定試験に合格した女性健康普及員とし、報酬は15時間で1万円。1回の対象人数は10人で、1か月で40人。1年間で480人、3年で1,440人を目標とします。予算は1年間で100万円、3年で300万円としました。

3年間にパキスタン・タッタ県で1,400人以上の未婚女性を対象に家庭健康教育をNRSPが実施し、その費用を茅ヶ崎中央RCが拠出し、プログラム運用状態をAMD Aが管理サポートしていくというプログラムです。

対象地区には若い女性が約5,000人。3割の女性が健康情報を普及させる立場になれば、量から質への転換が期待できます。成功した地域モデルができれば、普及を加

速するためのシステムの基礎的構築が整う、と考えます。

多くの支援を受け家庭健康教育プログラムが始動

視察での情報を委員会の中で検討し、AMD Aや現地で活動されているNRSPとの調整の中での結論は、茅ヶ崎中央RCが資金を、NRSPが現地で活動を、AMD Aが両者の連絡調整役を担うということになり、協定書の草案が何度か書き換えられ、30周年の年度のぎりぎりとなる6月26日に調印式を迎えることができました。

アーミル大使の祝辞は、「これまでパキスタンは日本の人々や政府から支援を受けてきた。自然災害など困難な時の支援もあった。パキスタンの国の発展（教育やインフラ、衛生分野、ポリオ撲滅）を支えるための、日本からの誠実な支援も受けてきた。政府だけでなくNPOの支援もあった。ロータリークラブやAMD Aからも支援を受けている。日本からの支援に対しては、パキスタンだけでなく他の国々も感謝している。家族・健康・教育プログラムはパキスタンの発展や若者にとって重要である。パキスタンの女性がリプロダクティブヘルスに自分自身の権利を行使していくことが必要で、パキスタンの中で意識を上げていかなければならない。私たちの取り組みは、全体から見ればまだほんの一步を踏み出したばかりなので、皆さまからの関与に感謝している」というものでした。

NRSPのバジュア総裁からも今回の事業へのお礼がビデオレターで届けられました。そして調印式には、AMD Aグループの菅波代表、NRSPのアガ・アリ・ジ

ユバドゼネラルマネジャー、茅ヶ崎中央RCからは出山和夫会長が、英文・和文それぞれの調印書に署名し、パキスタン家庭健康教育プログラムが、実施される運びになりました。

7月から半年間の準備期間において事業がスタートしました。2014年11月9日に、友好クラブの「松江しんじ湖RC 20周年式典」に、倉澤条太会長はじめ20人で参加した際に、20周年記念事業として、茅ヶ崎中央RCの「パキスタン家庭健康教育プログラム」への協力ということで多額の協賛金をいただきました。松江しんじ湖RCの幡城太郎会長が医療従事者ということもあり、ぜひ協力したいと、茅ヶ崎中央RCのEPP委員会事業に協賛していただきました。

また、小川会員が支援要請のため、台湾の姉妹クラブである台北北門扶輪社を訪問。これに応じて2015年7月17日、同クラブの国際奉仕委員長を務める許敬燈氏が来日し、クラブ内で募った支援金を届けてくださいました。受領式において許委員長には、パキスタン現地で活動しているNRSPからの報告書が手渡され、茅ヶ崎中央RCからはこの事業への深い理解に基づいた支援への感謝を伝え、両クラブの末永い友好関係を誓いました。

NRSPからは、定期的に英文のリポートが送られてきます。翻訳版は茅ヶ崎中央RCのホームページに掲載しています。また、現地での家庭健康教育に使われているテキストも送っていただきました。これは、現地の言

語であるウルドゥ語でしたが、2009—10年度に米山奨学生となったパキスタン出身のアスラム・ムスリム君の協力で、翻訳をすることができました。また、同時に送っていただいた授業のビデオを見せたところ、ムスリム君は、首都イスラマバードに近い北部の出身で、今回事業が行われているシンド州の言語とはかなり違うのでわからないという話でした。何十もの言語があると聞いておりましたが、このこともポリオ撲滅を困難にしている遠因の一つであることが理解できました。

成功した地域モデルとして、国連経済社会理事会総合協議資格のあるAMD Aを通じて「家庭健康教育プログラム」を国連に政策提案し、成果として「世界家庭健康教育機構」の創設を目指します。（第2780地区 神奈川県）



「母子の健康」に関する取り組み

1990年から2010年にかけて、5歳未満の子どもの死亡数は、世界全体で1,200万人から760万人に減少。しかし、2010年の760万人という数は、一日に約2万1,000人の5歳未満の子どもが死亡していることを意味します。また、2012年の統計によると、一日に800人の女性が、妊娠や出産に関連する事柄で命を落としています。その死亡率は、都市部から離れた地域、貧困地域、教育の普及率が低い地域で特に高くなります。思春期に妊娠した場合、合併症や死亡につながるリスクが高まることがわかっています。なお、妊娠や出産に関連する母親の死亡数は、1990年から2010年にかけて、ほぼ半数に減少しました。

母子の健康を守るためには、出産時だけでなく、出産前後の時期に、正しい知識とスキルをもって対応する必要があります。ロータリアンは、母子の健康を長

期的に改善するために、「5歳未満児の死亡率と罹患率の削減、予防接種」「妊婦の死亡率と罹患率の削減」「地域社会での出産前・出産時のサポート（栄養食の提供、感染症の予防、保健教育）」「地域社会の文化に適した支援と、性と生殖に関する保健プログラム、家族計画のサポート」「母子の健康に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援」などの活動をしています。

より具体的には、「母子の健康に携わる保健従事者を対象とした研修」「不足している医療物資の提供」「地域社会での協力関係を築くことによる、医療ケアのアクセス拡大」「地域レベルと国家レベルの保健政策に携わる人たちの効果的な関係構築」「性と生殖に関する教育と家族計画のサポートと、支援の呼びかけ」「子どもの健康をサポートするための地域社会の参加を促進」の活動が挙げられます。

（国際ロータリーのウェブサイト My Rotary から抜粋）

米山梅吉記念館をロータリー日本の宝物に

今年4月28日が米山梅吉没後70年です

公益財団法人 米山梅吉記念館

米山梅吉の生涯

米山梅吉は1868（慶応4）年2月4日、江戸・芝、田村町植村家（大和国高取藩主）家中、父竹造、母うた（静岡・三嶋大社神官の娘）の三男として出生しました。1872（明治4）年、父竹造が高取町で逝去し、やむなく母の郷里三島に移り住みました。幼時から神童といわれた英才で、梅吉11歳の時に米山家から養子縁組を請われています。

映雪舎を終え、1881（明治14）年、沼津中学に進学。校長、江原素六の影響を受け文才に秀で、弁論を好み、雑誌を作り、また東京の雑誌に投稿もしていました。1883（明治16）年の暮れに東京に出て銀座の江南学校に通い、翌年、土居光華の門に入ります。1885（明治18）年、17歳で東京府吏員に採用されましたが、アメリカに渡るべく翌年には東京英和学校に入学し、アメリカ人ニコール・バックに語学を習っています。1887（明治20）年、米山藤三郎の養嗣子として入籍後、10月に念願かなって渡米しました。20歳でした。

そして8年、苦難を乗り越え、幾多のエピソードを残し、アメリカの知識をもって帰国しました。



33歳のころの米山梅吉

帰国翌年、米山はると結婚。一時は日本鉄道会社に入社しましたが、井上馨の口添えで三井銀行に入学し、ほどなく銀行業務視察で欧米に長期出張して、以後の日本における銀行業務の礎となり、とんとん拍子に出世して三井銀行を池田成彬^{しげあき}とともに発展させ、1923（大正12）年、55歳で常務取締役を辞し取締役になるまでの間、銀行家として大いに活躍しました。

翌1924年、三井信託株式会社を創立して、社長に就任。ここでの働きは、当時まだなじみの薄かった信託事業を日本に根づかせた「信託の父」と

して、金融界では尊敬をもって呼ばれています。信託での10年を終え、1934（昭和9）年三井報恩会理事長となり、三井が出資した3,000万円の豊富な資金を基に、疲弊していた東北の農村振興事業や医療・福祉、学術研究・実験助成など広範な福祉事業に献身したことは、米山晩年の奉仕実践として特筆すべきことです。

青山学院への奉仕も長きにわたって行われましたが、1937（昭和12）年に自費で行った青山学院緑岡初等部校舎建設と校長就任、そして幼稚園建設は、よくそれを表しています。1931（昭和6）年には郷里長泉へ、鉄筋コンクリート造りの図書館を建てて図書千冊とともに



養父母（藤三郎・さく）金婚の祝い（1913年10月 梅吉46歳）



緑岡小学校全児童・職員（現、青山学院初等部）



下土狩別邸前にて 米山一家による集い

寄贈したことも、この思いを同じくするものです。

ロータリーとの関わり

米山は、1917（大正6）年、目賀田種太郎男爵を委員長とする政府特派財政経済委員としてアメリカを訪れ、1918（大正7）年元日、ダラスに福島喜三次を訪ねました。経済調査のための訪問ですが、福島は当時ダラス・ロータリークラブ（RC）会員でしたから、ロータリーのことが話題に上ったことは十分に想像できます。ほどなくして福島の帰国に際し、ダラスRC会長リチャード・メリウェザーは、日本におけるロータリー創設について、地区ガバナーに書簡を送り、それがそのままシカゴに転送されました。

福島は国際ロータリークラブ連合会から日本におけるロータリークラブ創設の特別代表に任命されましたが、米山梅吉の大きな助力によって、1920（大正9）年10月20日、東京RCが誕生しました。米山が会長に、福島が幹事に就任して、ここに日本におけるロータリー運動が始まりました。米山梅吉52歳の時でした。

第70区RⅠ離脱とその後の米山梅吉

1940（昭和15）年11月6日、大連、奉天、京城RCなどを含む第70区内クラブにロータリー解散についての文書を送るまでの20年間、日本においてロータリーは発展を続け、よく活動し

て、「大連宣言」にみるように深まりを見せています。

しかし、1941（昭和16）年12月開戦の太平洋戦争に向かう国内世情からの圧力は次第に抗しきれないほどになり、やむなく国際ロータリー（RI）を離脱しました。米山梅吉をはじめ当時のリーダーたちは存続のための苦悩・努力を重ね、熱心に取り組んでただけに、大きな落胆があったことが推測されます。

その間にも米山は、三井報恩会理事長として、農山村振興や全国各所のハンセン病療養所の訪問など民生向上に努め、また個人としても青山学院初等部に関わり、戦争末期の空襲を避けての学童疎開をするなど、病気を押して献身しました。1945（昭和20）年8月、日本がポツダム宣言を受諾し終戦になった年の12月に、米山は長泉下土狩^{しもとがり}に帰りました。

そして翌1946（昭和21）年4月28日に逝去しました。戒名は聖徳院殿梅園浄香居士。享年78歳でした。

ロータリーと『新隠居論』の実践

米山梅吉は、まだロータリーに触れていない46歳の時に『新隠居論』を発表しました。海外の事情によく通じていた米山梅吉は、欧米の方々の人生設計で、功なり名遂げた人はできるだけ早く隠居し社会のお役に立つという生き方をよしとして、事業での成功を得たらそれを早く次の世代に譲り、他者に奉仕する道を歩もうと呼びかけました。隠居と言っても、日本流の盆栽など眺めて日なたぼっこしている隠居像とは違い、お金も活動も社

米山梅吉関連写真は、発行人・米山聰『人物写真集 米山梅吉翁』より転載



旧米山梅吉記念館は、米山文庫こども図書館となり、子どもたちの図書館として親しまれている



1998年に新築された新館



半年に一度開催される例祭



ロータリー関連の資料が展示されている



米山梅吉の遺品も多い



「いさかひもなき漫々の青田かな」の句碑

会奉仕にささげようということです。

米山自身、『新隠居論』を実践しました。銀行業務がどういふものかも定かではなかった時代に、欧米の銀行業務をつぶさに修得し、分厚い報告書で日本における銀行業務の基礎を築き、銀行家として三井銀行を背負って立ちました。また自身の奉仕感性と合致した信託分野を切り開いて、56歳で三井信託株式会社を創業。事業上の奉仕と考えていた日本においての信託業務を軌道に乗せます。66歳で一切の現業から手を引き、三井財閥が当時のお金で3,000万円、諸説ありますが現在に換算すれば推定800億～900億円超と言われる資金を出資

して作った三井報恩会理事長として、窮乏著しかった東北の農村救済事業をはじめ、ハンセン病棟の建設と慰問、がんや結核などの疾病対策、また自費での青山学院初等部校舎建設と校長としての幼時期教育など、語り始めればきりがなほの奉仕活動を行っています。

米山梅吉は都合9回外遊していますが、これらの奉仕活動は、当時進取的にアメリカやヨーロッパに行き、何か月もの滞在を通して欧米の事情を視察してきたことが大いに影響していたのではないのでしょうか。

米山梅吉は国際感覚や知識に秀で、奉仕観念の成熟した誠の奉仕者でした。



理事長インタビュー 米山梅吉記念館の 現状と今後

米山梅吉記念館 理事長

渡邊 脩助

米山記念館のこれまでについて教えてください。

47年前の1969（昭和44）年9月に最初の記念館がつくられました。当時米山家の旧家屋などが取り壊される状況から、なんとかこれを残したいと有志が集まり保存活動を行ったのが発端です。家屋そのものは取り壊されましたが、新たに鉄筋コンクリート造りの記念館を新築しました。

その後、その記念館が手狭になったことから新しい記念館建設の機運がたかまり、1998（平成10）年4月に現在の記念館が新築され今に至っています。

旧記念館の建物は現在、米山文庫こども図書館としてお子さんたちや、地域の方々に利用されています。

館の運営はどのようにしているのでしょうか。

よく米山記念奨学会と混同されるのですが、この2つは全く別々の法人です。米山記念奨学会は内閣府所管の広域的な公益財団法人ですし、記念館は静岡県所管の公益財団法人で、従って会計も全く別々です。

記念館は東京ロータリークラブ（RC）や米山記念奨学会、第2620地区はじめいくつかの地区やクラブ、個人からの寄付金で運営されています。第2620地区内の長泉町にありますから、同地区からの援助金は大きなウェイトを占めています。

また、第2620地区では地区組織として記念館運営委員会があり、館の近くせんていのクラブが主体となって来館者への対応や庭木の剪定作業など、実際の運営に関わり維持管理に努めてくれています。

春季・秋季例祭の様子をお聞かせください。

毎年、春季例祭は米山梅吉翁の命日であり今の記念館が落成した4月28日前後、また秋季例祭は館創立記念日の9月16日前後に開催しています。多くの皆様にご参加いただき、式典、記念講演、アトラクションや懇親会などで友情を深め、楽しく意義ある一日になっています。

今年の春季例祭は4月23日（土）に行います。東京RCの直前会長で国立公文書館館長の加藤丈夫氏による

「時を貫く記録を守るー世界に誇る公文書館の実現に向けてー」という講演と、アトラクションとして紙切り作家・水口千令氏の紙切りパフォーマンスを予定しています。登録料無料、懇親会も予定しています。ロータリアンならどなたでも参加いただけますから、皆さまのおいでをお待ちしております。ご案内は『館報』でお知らせしています。

今年は米山梅吉没後70年に当たり、2018年は米山梅吉生誕150年、また2019年には記念館創立50周年を迎えます。記念事業の計画はあるのでしょうか。

生誕150年記念事業として、机上にはいろいろ乗っていますが、一例として、米山梅吉の言葉を多くの方々に知っていただくために、米山の名言を集めたものを作ることができれば、と思っています。

創立50周年は記念館としても大きな節目ですから幾つかの計画があり、すでに『米山梅吉ものがたり』の発行については出版社と契約を交わし、2018年、生誕150年をめどに発刊の予定です。誰にもわかりやすい文章で梅吉の人生が語られるものと思います。小学校の教科書にも掲載されるような内容を期待しています。

記念事業として、ほかにどのようなことをお考えですか。

まずは展示室を充実させたい。展示室のリニューアルや展示品の入れ替えなどを検討しています。

全国ロータリアンの皆さまに、この記念館を広く知っていただくための広報活動に力を入れたいと思います。現在は年2回発行の『館報』が主な媒体ですが、より多くの方の目にふれるように、検討を重ねています。ホームページの充実にも取り組みたい。また『ロータリーの友』や各地区『ガバナー月信』などにも協力いただき、広報を展開できれば幸いだと思っています。館の5年後、10年後のあるべき姿を共有しながら取り組みを進めていきたいと思っています。

少し長期的な目標があるようですが？

米山梅吉記念館を「日本のロータリーの学術拠点」と位置づけて、全国のロータリー研究者の皆さまにご協力いただき、皆さんが欲しいと思う論考をこの記念館が主体となって集積し、必要な情報をわかりやすくご覧いただけるような仕組みを構築していければと思っています。全国のロータリアンの皆さまにご認識いただけるような取り組みを重ね、日本のロータリーの宝物として、ロータリーの発展に寄与できれば幸いだと思っています。

World Roundup

世界のロータリーニュース



フィリピン

フィリピンのマバラキャット・ロータリークラブ(RC)とインドのコインバトールサイシティRCによる支援を受けて、2012年以来、フィリピンの子ども20人がインドに渡り、先天的心臓疾患の手術を受けています。この支援活動では、インドのロータリアンとコインバトールにあるシュリ・ラーマクリシュナ病院が資金の大方を工面し、フィリピン・アンヘルズ市のクラーク・センテニアルRCも資金調達に貢献しました。一方、マバラキャットRCでは、クラブが提供しているラジオ番組を通じて呼びかけ、最も切迫したニーズがある患者の特定に当たりました。「われわれは幸運なことに、子どもの出生記録、パスポート、医療ビザを手配するために、地元の旅行代理店の協力を得ることができました」と、マバラキャットRC会員のロン・ネザーカット氏は話します。



フランス

1780年、フランスの帆船ハーマイオニー号が、アメリカの独立戦争を支援するために大西洋に乗り出しました。それから235年後、3本のマストを持つ木造船が復元され、再び海を渡ってアメリカ東海岸の複数の都市を訪れました。

フランスのロシュフォールシュールメー・ロータリークラブ(RC)と第1690地区内の他のクラブは、1万1,000ドル(約132万円)で、ボランティアの乗組員2人のスポンサーとなり、復元プロジェクト委員会のメンバーとなったロータリアンもいます。31日間の航海が終わると、18世紀当時の造船技術によってロシュフォールで建造した帆船は公開され、見学者たちはデッキを歩くことができました。

高さ185フィート(約56m)、全長216フィート(約66m)のハーマイオニー号の航海は、大西洋をまたぐ親睦の機会をロータリアンにもたらしめました。アメリカ・メリーランド州アナポリスに帆船が停泊していた6月、地元のパロールRCは、ロシュフォールのロータリアンと市長を含む10人の代表団のホスト役となりました。パロールRCの会員、バーノン・ペンナー氏は、建造中の船をひと目見て魅了されま

ハーマイオニー号
の船体とマストの
建造には、2,000
本の樫の木が使用
されました。

した。数年後、アメリカ就航の際、訪問地に地元アナポリスが含まれることを知り、クラブの仲間とともに、ロシュフォールのロータリアンと交流することを提案しました。メリーランド州のロータリアンは名所旧跡の観光案内や宿泊、食事の手配をし、フランスからの来客をもてなしたほか、セント・ジョンズ・カレッジと、独立戦争のために命を犠牲にしたフランスの兵士と航海士をたたえるフランス記念碑への祝賀行進を行いました。 —ブラッド・ウェバー

5人に1人のアメリカ人に何らかの障がいがあり、その半数以上が重度の状態であると報告されています。



アメリカ

身体障がいのある人には、ちょっとした動作でも大きな困難が伴うことがあると、テリー・フィリップ氏（ニューヨーク州・第7190地区パストガバナー）は自身の人工股関節置換手術から回復するまでの間に学びました。車の乗り降りも困難で骨の折れることを知ったフィリップ氏は、地元のスケネクタディにあるサニービュー・リハビリ病院の支援に乗り出し、11月、同病院のリハビリ患者2,500人が安全に車の乗り降りの練習ができるシミュレーター装置を設置しました。この装置には、患者が退院後も車を使えるように、あらゆる形状の車にも対応できる6通りの調節が可能な電動式シートが付いています。この支援プロジェクトでは、第7190地区の6クラブと2人のロータリアンから1万5,000ドル（約180万円）の寄付が寄せられたほか、地元業者から1万ドル（約120万円）相当の業務・サービスが無償提供されました。



オーストラリア

ビクトリア州ホーソン・ロータリークラブ（RC・第9800地区・ビクトリア州）は、地元の低所得者用コミュニティ住宅を支援する際に植物のセラピー効果に注目し、同地区内のキューRCと協力して2つの植物用温室を作りました。プロジェクト資金5,500ドル（約66万円）の一部は、キュー・ガーデニング・デザインフェスティバルにホーソンRCが参加して得た収入が充てられました。ホーソンRCの会員シェリダン・ブラウン氏は次のように話します。「コミュニティ住宅の居住者は、社会的、経済的、身体的、精神的に、さまざまな苦しい立場に置かれているため、作業療法の効果がある温室を提供しました。植物を増やして苗を売ることもでき、少しずつ得られる収入を住居施設の改良に使うこともできます」

つなぐ、ローターアクター②

—こんな活動をしています

若者たちのリーダーシップの力と奉仕の心を育むローターアクトクラブ。彼らは日ごろ、どのような活動をしているのでしょうか。今回は、ローターアクターの活動を紹介します。

地域に貢献し、世代間で交流する——アクトの日～世界で1枚！にぎやか特大壁画

第2560地区ローターアクト代表 伊比浩太郎

2015年9月6日、新潟市内にある施設「いくとびあ食花」を会場に、小学生との交流活動「アクトの日～世界で1枚！にぎやか特大壁画～」を実施しました。施設内の動植物を観察し、大きな紙にみんなで絵を描いて壁画を作るイベントです。第2560地区のローターアクターやインターアクターに顧問の先生、ロータリアン、小学生と保護者ら総勢133人が参加しました。

当日は、まず行事の流れや注意事項を確認した後、一緒に活動する小学生と対面。ローターアクターと小学生の2人組、もしくはローターアクター、インターアクターと小学生の3人組をつくり、少し緊張しながらも、自己紹介をし合いました。

プロローグでは「昔はかわいい動物やきれいなお花でいっぱいだったいくとびあが、今は寂しい土地になってしまっている……。僕たちで動物やお花を探しに行こう！」というストーリーの映像を流しました。かわいらしい映像に、子どもたちはくぎ付け。子どもたちの気持ちが高まってきたところで、探検開始です。

まずは、動物か花か、子どもに好きな方を選んでもらい、そこで見つけた動植物をスケッチしました。ローターアクターとインターアクターは、子どもたちの描いたスケッチのすてきなところをたくさん褒め、子どもが見つけた「なぜ？」「どうして？」の気持ちを大切にして、一緒に観察しました。「どうしてこの花は触るとおじぎするんだろう？」「アルパカはどうして毛を刈っちゃうの？」。そんな子どもたちの疑問に答えたのが、冊子『植物・動物ミニ図鑑』。これは、この日のためにローターアクターがすべて手作りで作成したもので、施設内の植物と動物の特徴やマメ知識などを紹介しています。ローターアクターやインターアクターは、このミニ図鑑を見ながら、子どもたちの好奇心を膨らませるアドバイスをしました。動植物を夢中でスケッチする子どもたちの様子や、新しい発見があった時のキラキラした笑顔が印象的でした。「もっと見たい！」と子どもたちの喜ぶ姿があちこちで見られました。

そして最初の部屋に戻り、大きなロール紙にスケッチしてきた動植物の絵をクレヨンと指絵の具を使って描きました。「新しい発見」「子どもとの触れ合い」「懐かしい子ども心」など、それぞれの喜びを形に表しました。みんなで観察してきた動植物をカラフルにそしてダイナミックに表現し、最終的には大人も子どもも交じってみんなで描きました。総勢133人の思いが大きな紙に表現されます。

そうして完成した絵を前に並べ、エピローグです。「みんなのおかげで、いくとびあはかわいい動物やき

①プロローグで流した映像にくぎ付け。②オジギソウをスケッチ。③アルパカを観察。④『植物・動物ミニ図鑑』



⑤指絵の具は、直接指に付けて描くことができます。⑥指によって付ける色を変えたり、手のひらや側面を使ったりと、さまざまな工夫が見られます。⑦植物や動物でいっぱいのすてきな壁画、完成！⑧ローターアクトもインターアクトも子どもたちと一緒にって絵を描きます。⑨小学生から大人まで、幅広い年代の人たち全員で力を合わせることができました。



れいなお花でいっぱいのすてきな場所になりました！」と、音楽と映像に合わせてナレーションが入ります。子どもたちは自分や友達の描いた絵をキラキラした瞳で見つめていました。

今回の「アクトの日」プロジェクトは、7か月前の2月から準備を進め、東京学館新潟高校、長岡工業高等専門学校の2校のインターアクトクラブの協力も得て、新潟県の青少年活動の新しい可能性を見いだすとともに、お互いに良い刺激を受けることができました。一人でできることは限られていても、大勢の力を合わせることで大きな目標も成し遂げられるということ、身をもって実感しました。参加者はここで得た経験や刺激を、今後の活動や仕事に生かすことと思います。ローターアクトやインターアクト、そして子どもたちの喜びいっぱいの笑顔が輝くすてきな一日でした。

その後、インターアクトから「小学生と関わる経験は普段できないので、とても貴重な経験ができました。ありがとうございました」「子どもたちとの接し方、一緒に楽しむ気持ちなど、将来の仕事のためにも、たくさんのことを学ばせていただきました」といったお礼のメッセージが届きました。

7月開催のインターアクト年次大会に私が参加した

り、12月のインターアクトクラブの献血運動にはローターアクトが参加するなど、インターアクトとのつながりは強まっています。

小学生からは、ローターアクト宛てにお礼の手紙をいただきました。地区役員の元には、保護者から「こんな素晴らしいクラブがあるんですね」「若い方々がご自身の時間を社会貢献に使われていて、うれしい気持ちになりました」などのメッセージが届きました。

この行事を後援してくださった新潟市教育委員会にも詳細を報告するとともに、自分の本職である教員の研修でも、地域社会と教育をつなげる行事として発表を行いました。会場のいくとびあ食花からは、「いくつもの団体が協力してつながることで、これまでになかったダイナミックなイベントとなりました。今後の行事の参考にさせていただきます。また、今後もよろしければ定期的な行事として開催してはどうですか？」とお声掛けいただきました。次年度については検討中です。（新潟県）

アクトの日とは、アク(9)ト(10)にちなみ、日本では9月10日前後の休日を中心に、ローターアクトたちがさまざまな活動を行っています。ローターアクトの仲間意識を高め、地域社会に貢献したり、専門知識を習得したり、ローターアクトを広報したり、目的はその都度異なります。

太鼓と三味線で心の復興を

川崎大師RC 幹事 須山 文夫

10月23日、宮城県南三陸町の戸倉小学校へ太鼓と三味線を寄贈した。物品の支援かもしれないが、これを利用して南三陸の震災を経験した子どもたちが少しでも震災の時のつらい思い出を乗り越え「心の復興」ができればと願う。

戸倉小学校は南三陸の入り海の奥に位置している。普段は穏やかな入り海ではあるが、震災時にはそれが災いし甚大な被害となった。この4年半に2回移転し、2校の学校を間借りし勉強してきた。10月初旬に以前の場所から高台に新築の校舎が竣工。当初、学校の復旧はもっと遅くなる予定だったが、学校を復旧することにより地域のコミュニティーを復旧させ、町を復興させる意図があるとのことで、校舎の完成を急いだ経緯がある。

学校ができ児童が戻って、周辺に住宅が徐々に造られていくさまが、よくわかった。この寄贈した太鼓と三味線を使って、少しでも学校周辺のコミュニティーで活用してもらい、児童だけでなく周囲の人たちの「心の復興」に役立ってほしいと考える。本事業を遂行するに当たって、第2590地区の地区補助金を活用した。

そして、今回南三陸町長との縁を結んでいただ

いた佐沼ロータリークラブ（第2520地区・宮城県）の会員皆さまのおかげで実施にこぎつけた。この事業は当クラブだけで行えた事業でなく、地区内外を問わず多くのロータリアンの力添えによって成し得たもの。しかし、「プレゼント」をしようとしたロータリアンが、元の学校に戻ってきた子どもたちのキラキラした笑顔と大きな声でのあいさつを受けてすがすがしい気持ちになってしまい、訪問したわれわれが子どもたちからとっておきの「プレゼント」をもらったのではないだろうか。

（第2590地区 神奈川県）



浅草神社でフラダンス奉納公演

東京浅草中央ロータリークラブ



10月11～12日、浅草神社神楽殿において、2,000人を超える来場者の中、当クラブ主催の「フラダンス奉納公演」を実施しました。本事業は社会奉仕活動として被災地復興支援の一環で、東日本大震災以降、被災地か

ら感謝と笑顔を全国に届けたい、という思いから各地で公演活動を展開する、福島県立好間高等学校のフラダンスチーム「ウィラニ・オーラパ」を浅草に招待し、「祈り」である踊りを披露する機会を提供させていただいたものです。今回はロータリー財団の地区補助金を活用し、また地域各団体の後援を得て、まさにロータリアンによる浅草の街を挙げての支援活動となりました。

会員はローターアクターとともにチラシを配布し、会場内での誘導・警備などを行い、ウィラニ・オーラパのメンバーに下町浅草の風情を知っていただくべく屋形船での懇談会も行いました。フラガール自ら手話の動きを披露しつつ来場者とともに踊る場面もありました。彼女たちは人との、地域との、そして社会とのつながりを学ぶことができ、われわれロータリアンにとっても、被災地に思いを寄せる素晴らしい機会となりました。

（第2580地区 東京都）

海岸防災林の再生と花壇の整備

名古屋みなとRC 社会奉仕委員長 室原 國彦



10月6日に、宮城県東松島市矢本地区海岸防災林再生と石巻市のおがつ店こ屋街広場花壇整備の2事業を実施。ロータリー財団地区補助金を利用して、名古屋みなとロータリークラブ(RC)と仙台レインボーRC(第2520地区)が合同で実施し、名古屋中央ローターアクトクラブ(RAC)からも協力を得ました。

10月5日からの前泊組は、朝から東松島市矢本地区の現地で、基本的な植林の方法について専門家の指導を受けながら作業を開始しました。3,400㎡の広大な土地に、1,700本のクロマツを植林するというかなりハードな作業でした。

同時に石巻では仙台レインボーRCとのもう一つの協同事業「おがつ店こ屋街花壇除幕式」が杉江豊文会長、山内靖雄幹事、山川克彦広報委員長が出席し盛大に行わ

れました。

午後からは、当日参加組が、自衛隊松島基地のブルーインパルス^{ブルーインパルス}の訓練飛行の歓迎を受けながら合流。参加人数が50人になって作業も飛躍的にはかどり、日暮れまでにすべての植林を完了することができました。

当日の夜は合同親睦会を開催し、「大変だったが充実感があつた」と多数の方から感想をいただきました。今回の事業は、1年前の現地視察から始まり、深谷友尋実行委員長を中心に企画、推進してきました。

名古屋みなとRC(35人)、仙台レインボーRC(8人)、名古屋中央RAC(4人)、その他多くの方々の支援を得て、成功させることができました。この事業が東北復興の一助になることを願います。

(第2760地区 愛知県)

子どもたちの夢を育む「こむこむキッズワークショップ号」

福島南RC 会長 菅原 節子

東日本大震災・原発事故で被災した多くの子どもたちの心のケアを支援するため、年間2,235回(2014年度)のワークショップを実施している子どもの夢を育む施設「こむこむ館」に、ワゴン車を寄贈しました。

地区復興補助金を活用させていただき、福島南ロータリークラブが支援し実現しました。このワゴン車は、学校では実施しにくい体験学習で使用する展示物や道具・機材などを運搬でき、ふるさと福島^{ふるさと福島}の未来を担う子どもたちのために科学や芸術・文化にふれる豊かな学習体験を提供できます。また、飯館村や浪江町、相馬市から、福島市に避難している子どもたちをはじめ、年間26万人余りの親子が利用している、ふれあい学習を支援する貴重なプロジェクトとなりました。被災地の子どもたち

の学習の一助になるとともに、公共イメージの向上にもつながればと願っております。(第2530地区 福島県)



—東日本大震災

宮城県石巻市立雄勝中学校への震災支援

大阪リバーサイドロータリークラブ



当クラブは東日本大震災当時から現在にわたり、宮城県石巻市雄勝地区を中心に東北被災地復興支援を行っています。同地区は津波などで甚大な被害を受け、住民はいまだ仮設住宅での生活再建途上の厳しい環境です。雄勝中学校校舎も損壊し現在は石巻北高校飯野川校の一部を間借りして学校生活を送っています。

非常に厳しい環境で、地元住民、雄勝中学校の生徒や保護者は心の支えとして、昔から地元で継承されている「雄勝・伊達黒船太鼓」を、震災以降も継続しています。太鼓などの演奏用具も津波で流されましたから、震災後当初は古タイヤにラップを張り、太鼓代わりに練習を行っていました。その後、当クラブを含めた支援団体から和太鼓などの寄贈を受け、練習に励んでいます。

当クラブでは、数回にわたる寄贈支援活動の最中、子どもたちの疲弊している心のケアになればと思い、昨年度は他クラブに呼びかけ協賛いただき、雄勝中学校全校生徒 24 人を大阪にあるユニバーサル・スタジオ・ジャパンに 2 泊 3 日で招待しました。

今年度は 10 月 10 日、地元住民（希望の鼓雄輪会）と中学生が日々練習に励んでいる太鼓演奏を披露する支援活動として、1 泊 2 日で大阪に招待し、大阪市立緑中学校で演奏会を開催しました。緑中学校の全校生徒、教員、保護者（約 700 人）の前で太鼓演奏を披露し、また、震災から現在に至るまでの写真や映像による講話を行いました。大阪の人たちにも再度大震災を思い起こしてもらい、さらに、生徒同士の交流を深めることができ

たと思います。

大阪の中学生が涙するシーンもあり、生徒の一人は「力強い太鼓の演奏に、震災から立ち上がる力が感じられます。被災地の雄勝中の生徒を励まそうと思っていましたが、私たちが勇気と感動をいただきました。震災で学んだ教訓、今後震災に対してどう向き合っていくべきなのか、テレビの画面で映し出されていることは、決して他人事ではないことをあらためて学びました」と話していました。

今回の支援活動では友情の輪を広げ、一つの思いが一つずつつながり、交わり、絆に結びついた意義のあるプロジェクトであったと思います。今後ともでき得る限りの「思いと行動」を継続していきたいと考えています。

（第 2660 地区 大阪府）





第2660 地区

2015 年 12 月 4～5 日
大阪国際会議場ほか
ホスト 大阪 RC 登録者 3,613 人

立野純三ガバナー 「高潔で高い道德観で自らの生業を社会のために発展させるのがわれらの使命」と話す水野正人 RI 会長代理夫妻歓迎晩餐会からスタート。翌日は「夢のデュオコンサート」を堪能。続いて、「ポール・ハリス劇場」でロータリー活動の始まりを学び、立野ガバナーの「世界の出来事を傍観せず自らが行動すべき」との思いから、特別シンポジウム「究極の職業奉仕」「関西発の医療イノベーションー最先端研究から創薬へ」を開催。内容を効率化しつつも地区方針「変革を！ロータリーを通じて奉仕(プレゼント)を！」を示す大会でした。



第2790 地区

2016 年 2 月 6～7 日
アパホテル&リゾート東京ベイ幕張
ホスト 千葉 RC 登録者 1,850 人

櫻木英一郎ガバナー RI 会長代理の派遣要請をしない形で開催。大会目標は「会員交流と友愛」です。1 日目は「ロータリーのタベ」と題し、ウクライナの民族楽器バンドウラの演奏を聴きながらの会員交流の宴を開催。2 日目は日本サッカー協会最高顧問の川淵三郎氏の記念講演「夢があるから強くなる」、ホームカミング制度で来日した米山学友の報告がありました。友愛の広場では櫻木ガバナーも持参の刀剣愛好会の刀の展示や、地区の二輪車同好会による大型バイク 4 台の展示など、にぎわいのある大会となりました。



第2750 地区

2016 年 2 月 23～24 日
ザ・プリンス パークタワー東京
ホスト 東京飛火野 RC 登録者 2,172 人

水野 功ガバナー RI 会長代理に竹内正幸氏を迎え開催。青少年活動報告では映像を使いながらロータリー学友たちの活動を紹介したり、友愛の広場ではクラブの活動や地区委員会の活動をパネルで紹介するなど、地区内会員の情報共有に力を入れた大会となりました。ジェイク・シマブクロ氏の軽快なテンポのウクレレ演奏に聴き入り、アジアの発展途上国を中心に貧困層への医療に従事している吉岡秀人氏の記念講演は、聴衆に感銘を与えるとともに、ロータリアンとして何ができるかをあらためて考える機会になりました。



第2580 地区

2016 年 2 月 24～25 日
ホテルニューオータニ
ホスト 東京武蔵野中央 RC 登録者 2,124 人

鈴木 喬ガバナー タイから迎えた RI 会長代理のビチャイ・ラタクル氏は、ロータリアンとしてのあり方を述べ、多くの参加者に感銘を与えました。この大会で鈴木ガバナーの思い入れが一番強かったのが「職業奉仕の今日の課題と持続企業」というテーマのパネルディスカッション。老舗企業を経営する会員と老舗学の研究者・前川洋一郎氏により、具体的な事例をふんだんに織り交ぜてのディスカッションは、企業を存続するためのヒントが多く盛り込まれ、企業のかじ取りをしているロータリアンへの示唆(しさ)となりました。

交換学生の皆さんに 白銀の世界の感動を！

第 2600 地区

望月 宗敬 ガバナー
(松本 R C)



感動・感激・感謝の言葉に包まれたガバナーとしての幸せな一年が進行中です。「青少年交換学生白馬スキーの集い（以下、スキーの集い）」もまさにその一つです。

スキーの集いは毎年 3 月末に長野県の白馬岩岳スキー場で開催されています。愛知と長野が分割して新たな地区編成となった後も、両地区の変わらぬ絆を深めていくとの願いから継続されているものです。昨年は、第 2620 地区（山梨・静岡）、第 2630 地区（岐阜・三重）が加わり、4 地区から青少年交換学生、長野県白馬高等学校の生徒、ロータリー地区役員など 130 人余が参加し、快晴の中で開催されました。白馬ロータリークラブがホストですが、14 人の会員がフル回転でがんばってくれました。

神秘的な白銀の中で交換学生同士、あるいはサポート役の地元の高校生たちと、雪に戯れながら和気藹々（あいあい）の中で、喜々として飛び回りはしゃぐ姿は爽快です。まさに国際交流の神髄がここにあるのだと感じました。交換学生の中にはブラジルからの学生もあり、雪は見たこともない、スキーは初めてとのことで、興味津々の様子で楽しんでいました。白馬高校の生徒の中には、2014 年ソチオリンピック女子ジャンプ日本代表の山田優梨菜さんもあり、一緒に楽しんでいました。

フランスから派遣された女子交換学生が、どこで手に入れたのか、“みの笠にみのがっぱ”の粋な姿？で「ジャパニーズ・スタイル」とにこやかに現れたのには驚きました。本当に愛らしく、不思議に似合っていました。即、人気者となり本人もご満悦でした。

白銀が取り持つ独特の雰囲気、舞台は最高です。素晴らしい価値ある国際交流の場だと思います。当地区としては、今後もこの事業を支援し継続していきたいと思えます。他地区の交換学生の皆さんもふるってスキーの集いにご参加ください。

(税理士)

第 5 回日台ロータリー 親善会議開催

第 2610 地区

柳生 好春 ガバナー
(野々市 R C)



第 2610 地区は 6 月 5 日に金沢において第 5 回日台ロータリー親善会議を開催します。ゲストスピーカーに田中作次元国際ロータリー（R I）会長、黄其光直前 R I 会長を迎えて盛大に行います。この会議は隔年で日本と台湾で開催しているもので、日本では東京、京都に続いて 3 回目となります。昨年 3 月に北陸新幹線が開通し当地域が人口に膾炙（かいしや）すると同時に、台湾において今でも慕われている八田興一技師（台湾・烏山頭ダム建設者）の出身地（金沢市）ということで注目されています。

当初、台湾からの出席者を 200 人ぐらいと予想していましたが、台湾での反響が大きく、今のところおよそ 300 人の出席が見込まれています。

開催地の石川第 1 分区は 13 のクラブから成りますが、当日を合同例会として分区内約 750 人が参加する運びとなりました。当日まで金沢市の「金沢百万石まつり」が催され、また富山県・立山の「雪の大谷」など、観光としても十分楽しんでもらえるものと確信しています。

日台ロータリー親善会議は第 2580 地区が中心となり第 1 回が東京で開催されました。その目的とするところは「国際ロータリーの趣旨に基づき、両国の親善と相互の理解を深め、両国の発展と世界平和に貢献する」であります。

2 月 6 日の台湾南部で起こった地震に当たって第 2610 地区ではいち早く各クラブにお見舞金を募りました。この件について台日国際扶輪親善會初代理事長の林士珍氏から「心配はいりません、見舞金は無用です」との言葉を当地区のバスターガバナー宛てにいただきました。僭越（せんえつ）ながら、その人間性の深さに頭が下がる思いがしました。

この会議を通して日本と台湾のロータリアンの友情が一層深まることを祈念するものです。

皆さまのお越しを心からお待ちしています。

(私塾経営)

大学で奉仕する ロータリアン

第 2620 地区

野口 英一 ガバナー
(甲府 R C)



富士山頂はどちら側か、あるいは富士山のどちら側が表か——。静岡、山梨両県の間には古くからそんな論争がありますが、静岡・山梨をエリアとする第 2620 地区は、78 クラブ、会員約 3,000 人が裏表なく、協力して奉仕活動に当たっています。

富士山以外にも、当地区にはガバナーとして胸を張れることがいくつかあります。ここではロータリアンが大学で教鞭^{べん}を執る事業についてご紹介したいと思います。

静岡ロータリークラブ (R C) による静岡大学での教育連携講座は 2013 年 4 月から開設されています。90 分の講義を年 15 回、会員 15 人が専門分野を生かしたテーマで 1 回ずつ担当し、履修学生には毎回レポートの提出を求めます。講義の組み立てからすべてのレポートを評価するところまでをロータリアンが行います。計画では 5 年間で全会員の 7 割以上が講義を担当することになります。静岡 R C の取り組みは、日本のロータリークラブが国立大学で正規講座を担当する極めて珍しいケースとなりました。藤枝 R C は 2008 年 4 月から静岡産業大学で同様の寄付講座を設けています。年 12 回のシリーズ講座は、地域や学生にロータリー活動を理解していただく絶好の機会となっています。これら先駆的な連携講座はそれぞれ大学側から高く評価され、他地区のロータリアンからも注目を集めております。2016 年は地元大学との同様の連携講座が第 2600 地区 (長野県) や第 2830 地区 (青森県) で始まる予定です。

さて、富士山の頂上が静岡か山梨かという問いに答えはありません。両県の境界線は 8 合目以上は未確定のままとなっているからです。ちなみに山頂一帯はある神社の社有地になっています。富士山が世界文化遺産となって 3 年目を迎えますが、当地区はこれからも「世界の宝」の環境保全に努め、皆さまのご来訪をお待ちしております。

(新聞発行)

明るく楽しく元気よく、 そして適当に

第 2630 地区

岡田 信春 ガバナー
(鈴鹿シティ R C)



早いものでロータリアンとなってから 25 年の歳月が流れました。鈴鹿ベイロータリークラブ (R C) 入会 7 年目に、鈴鹿シティ R C の創立に立ち会い、初代会長に就任したことが、つい昨日のこのように思い出されます。そうこうするうちにガバナー補佐を拝命し、やがてガバナーに。四六時中ロータリーと向き合うようになりました。

親睦^{しんきう}の輪も飛躍的に広がり、斯界^{しかい}は何と魅力的な人材に満ちあふれていることか、あらためて実感しています。そして各地域社会で果たしている奉仕活動の多様さ・意義深さを再認識するにつけ、ロータリアンであることを誇らしく思う毎日です。

ところで、当たり前の話ですが、会員は皆それぞれにさまざまな事情を抱えています。会社の経営状況の悪化に思い悩む人、家族が病気になり心を痛めている人、他の所属団体との兼ね合いに苦勞している人など、ロータリー専一に打ち込めない状況は、どなたにも起こり得ます。

一方、例会がマンネリ気味でつまらない人、役職の忙しさを重荷に感じている人、改革の方向に戸惑っている人など、現状に不満を持つ人もあるかもしれません。

皆さん、世の中は往々にして理不尽なものです。何が正解なのか判然としないことばかりです。迷い、悩むはずです。時には面倒になって逃げ出したくなることも。そんな時は一度肩の力を抜いて、「適当」にまいるでしょう。「手を抜いて」ではありません。無理はせず、性急に解決を求めず、簡単には諦めず、バランスを取りながら。「明るく楽しく元気よく」前向きな気持ちでロータリー生活をお続けください。やがて皆さんにとって大切な何かが、大きく育まれるはずですよ。

(事務用品製造)

公式訪問を終えて

第 2750 地区

水野 功 ガバナー
(東京飛火野 R C)



年度が始まると同時に、わずか 1 年前のことがはるか昔に感じられるほどスケジュールに追われました。同時に何とも言えない充実感と高揚感、そして素晴らしい多くのロータリアンとの交流に幸福を感じています。

現在、当地区には国内 91、国外 9、計 100 のクラブがあります。公式訪問も 10 月末に無事終了し、あらためてわが地区の多様性と活力を実感しました。特にパシフィックベイスングループの力むところのない、ゆったりとしたクラブライフに触れ、国内クラブの例会の在り方についてさまざまな試みがあってよいのではないかと感じています。また、楽しみながらファンドレイジング(活動資金の調達)して地域に根差した奉仕活動を積極的に行う様子には感動しました。トラックラダーン・ロータリークラブ(RC)はわずか 8 人の会員でしたが、歓迎夕食会にシンディー S・モリ会長の粋な計らいで、4 人の新会員が加わるなど、ガバナー冥利に尽きる経験をすることができました。

また、多くのクラブの周年記念式典などに参加できました。中でも東京恵比寿 RC の 20 周年記念事業では、アメリカ橋公園に渋谷区と協同で照明デザイナー・石井幹子氏デザインの街路灯を寄贈。地域社会と一体となった事業に深い感銘を受けました。

青少年奉仕委員会では、蒲島郁夫熊本県知事など豪華な講師陣をお迎えして充実した R Y L A (ロータリー青少年指導者養成プログラム) セミナーを開催。インターアクト年次大会では初めて中国・上海からインターアクトを迎え、国際色豊かな大会となりました。

就任以来、公式訪問では「未来に向けてロータリーの原点・心を大切に」ということを一貫して話し、クラブにとって「出席」と「職業分類」の重要性を強調しました。残された期間を多様性に富んだ素晴らしい人々とともに未来へのプレゼントを実践していきたいと考えます。

(貨物運送)

ワールドフード＋ふれ愛フェスタ

第 2760 地区

加藤 陽一 ガバナー
(瀬戸 RC)



第 2760 地区の事業「ワールドフード＋ふれ愛フェスタ」について紹介します。この事業は、2013 - 14 年度からスタートし、昨年度からは地区事業として大々的に行うようになりました。その目的は、

- ・国際奉仕(ミャンマーへの水事業支援と識字率の向上として教材を提供する)
- ・ロータリー財団のポリオ撲滅
- ・これらの活動のための資金確保
- ・一般市民へのロータリーの公共イメージの向上としています。

会場は、名古屋市の中心、栄にある久屋大通り公園を借り、ロータリアン、ロータリー家族が一丸となり、飲食、物販など合計 58 店舗、ならびに第 2760 地区として 8 分区分や委員会でもブースを設け、ポリオ撲滅の PR および募金活動を行いました。また、ボランティアで、インターアクトクラブの高校生たちが会場内のごみ拾いを行い、来場者から高い評価を受けました。2 日間で約 7 万人のロータリアン、一般の人たちの来場があり、公園内は一日中身動きできないほどの大盛況で、多くのポリオ撲滅に対する寄付金をいただくことができました。

結果、264 万円の収益を得て、ポリオプラス基金に 1 万ドル、ミャンマーでの水事業および教育支援金 193 万円を達成。特に 2 日目は「ジャパン・ロータリーデー in 愛知」とし、地区内外のガバナーやバストガバナーをはじめ多くのロータリアンが参加しました。

期間中は晴天に恵まれ、一般市民の来場者が 60% にも上り、ロータリアンともども多くの交流がありました。大盛況のイベントとなり、ロータリアン、ロータリー家族、また、一般の来場者に感謝の気持ちでいっぱいです。なお、今年も 10 月 22 ~ 23 日の 2 日間開催する予定です。ぜひ、全国のロータリアンの皆さまの来場をお待ちしています。

(電気絶縁物製造)

行動すると夢が生まれる

第 2780 地区

田中 賢三 ガバナー
(茅ヶ崎 R C)



当地区では 2 年前の相澤光春ガバナー年度から奉仕の実践としてポリオ撲滅キャンペーンを強力に推進しています。そこで、今年度最初のインターシティミーティング (IM) 第 9 グループ (小田原・箱根) の事例を紹介します。

ご存じの通り、小田原・箱根地域は火山活動により大変厳しい状況でしたが、おかげさまで徐々に回復に向かっています。そこで、IM 当日には「エンド・ポリオ・ナウ with 箱根応援キャンペーン」を実施、IM までの約 1 か月間、会員の事業所や箱根町の観光協会、箱根湯本芸能組合、箱根温泉旅館ホテル協同組合、小田原市商店街連合会を巻き込んで事前キャンペーンを行いました。特筆すべきは、この間に、市民篤志家から特別な寄付の申し入れがあり、会員に大きな感銘を与えたことです。IM 当日の 1 月 21 日の午前中は、箱根湯本駅、小田原駅でキャンペーンを展開し、市民に訴えました。

午後の IM では、地元出身、二宮尊徳の 7 代目子孫・中桐万里子氏 (国際二宮尊徳思想学会常務理事) の講演がありました。二宮尊徳の教えは、ロータリー哲学と多々共通点もありますが、あらためて「超我の奉仕」の簡潔な表現の素晴らしさを実感し、ロータリー精神の不朽不滅を印象付けたものでした。講演には、小田原青年会議所など、将来ロータリアンとして有望な市民を招待し、ロータリーの PR が効果的になされました。多くの会員が真剣に考え、真面目に実践することによって生まれた素晴らしいロータリー活動の一例となりました。

何事も行動しないで口先だけでは不平不満が先行します。行動すると夢が生まれ、ロータリーの未来は極めて明るくなっていきます。さあ皆で世界のために行動しましょう。

譲って損なく 奪って益なし 二宮 尊徳
ロータリアン 奉仕するもの 報われる 筆者
(精麦 MD)

地区の再生に向けて

第 2640 地区

辻 秀和 ガバナー
(河内長野 R C)



地区では、会員の皆さま一人ひとりの貴重な経験や知識を、自身だけの「宝」とせず、世界の人々のために駆使して、奉仕活動の実践に取り組むように、ガバナーとして推奨しています。当地区は、ここ数年来の混乱の中、心あるロータリアンたちの努力により、徐々に改善の兆しが見え始めていますが、決して良好な状態ではありませんでした。新年を迎え 2015 - 16 年度地区大会の本格的準備が始まり、本大会を機に、「地区再生に向けて進もう」という意識が急速に、しかも自然と関係者を中心に広がっていききました。長年にわたり、当地区に対しご指導いただきました国際ロータリー (RI) 会長特別代表のご支援と、ガバナー会の皆さまのご温情と^{よしみ}誼にて、本地区大会では、地区内外から、かつて経験したことの無いほどの、大勢のガバナー、パストガバナーの皆さまが、全国各地から駆け付け、地区再生に向けて心強い、温かいエールを送ってくださいました。

よく引用されますが、『論語』にある孔子の言葉に、「温故知新」とあります。「ふるきをたずねて新しきを知る」あるいは「ふるきをあたためて新しきを創造する」、つまり、過去の出来事を十分に熟知して、そこから新しい秩序を確立する。今、地区はその時なのです。決して後戻りをしてはいけません。

本大会において、RI 会長代理夫妻、地区役員、大会実行委員会、サポートして下さった皆さま全員の力で、有意義でしかも大きな成果を上げることができました。地区内のロータリアンの皆さまに、確かな「^{あんじ}安堵」と近未来に向けての「希望」と「勇気」が、授けられたのではないのでしょうか。私たちは、授けられたものを、今、世界の人々のために生かしましょう !!

いまさらながら、「ロータリーの友情」の真の力、ありがたさが身に染み入ります。すべてに、感謝 !! 感謝 !! でございます。

(石材加工)



“よねやま”から広がる新しい世界 ⑭

お世話を買って出てみたら……



湯沢 R C

(第 2540 地区 秋田県)

カウンセラー

八田 順造 さん

クラブで初の米山奨学生

スーンちゃんは、湯沢ロータリークラブ（R C）が迎えた初めての米山奨学生です。秋田市から湯沢市までは電車で片道 1 時間半以上、本数も 1 時間に 1 本と少なく、これまでは、大学が集中する秋田市、または由利本荘市周辺のクラブが世話クラブを引き受けてくれていました。しかし、クラブが今年 10 月に創立 60 周年を迎えるにあたり、当クラブ会員で米山記念奨学会理事でもある伊藤壽々雄パストガバナーから、「われわれも世話クラブを経験しようじゃないか」との呼び掛けがあり、数年前から受け入れの雰囲気づくりを始め、2014 年 4 月、待ちに待った米山奨学生を迎えました。

私がカウンセラーを打診されたのは、「パーマ屋の八田さんなら、女の子の扱いに慣れておるだろう」という安易な理由から（笑）。もともと、わが家では米山奨学生、特にベトナム人に大変良い印象がありました。数年前、クラブに出張卓話に来てくれたゲン・ドゥック・フーン君という米山奨学生を、当時会長だった私が自宅に泊めたことがあります。娘たちとも意気投合し、深夜まで宴会が続きました。翌朝、誰もいないはずの台所から物音がし、妻が恐る恐るのぞくと、ゲン君が一人、昨晚の皿を洗っていたのです。妻は大感激し、以来、彼とも家族ぐるみの付き合いをしています。そんな経緯もあり、スーンちゃんはわが家の 3 人目の娘だと思って世話をしています。彼女の存在は娘や息子、孫にもいい刺激となっているようで、こんな出会いが生まれたのもロータリーに入ったおかげと、心から感謝しています。

世話クラブだって懸け橋の一つ

スーンちゃんは例会に出席するため、月に 1 回、大学を休まなければなりません。2 年間よく頑張ってくれました。当初は乗り物酔いで、毎回青い顔で電車から降りてきました。けれどもいつしか、「お父さん、今日は雪で真っ白だったよ」「田んぼの緑がきれいだった」と、車窓から見える秋田の風景を目を輝かせて話してくれるようになりました。湯沢 R C は男性ばかり 60 人のクラブなので、スーンちゃんが出席し、近況を報告してくれる例会は、会場に優しい顔が広がり、雰囲気緩和になるのがわかります。スーンちゃんが風邪気味だとわかれると、体調を気遣い、質問責めにするほどです。

湯沢 R C の歴史は古く、世話クラブの経験はなくとも米山への寄付はしてきたつもりです。しかし、今回初めて世話クラブを引き受けたことで、日本のロータリアンならば、もっともっと米山に関心を持たなければならないと、そんな意見が飛び交うようになりました。

私たちはよく奨学生に「日本と母国との懸け橋になってほしい」と言いますが、世話クラブになったことで、私たち会員も奨学生とロータリー、ベトナムと日本との懸け橋の一つになれたのではないかな、と思います。長いようであつという間の 2 年間でした。これからも、スーンちゃんの夢を応援していきたいと思います。



曲木家具の日本唯一の専門工房を見学

創立 60 周年を迎える湯沢ロータリークラブに、初めての米山奨学生がやってきました。秋田大学で学ぶベトナム出身のホアン・ティー・スーンさんは、往復 5 時間をかけて例会に参加し、会員や会員家族との交流を深めました。米山奨学生がクラブに来る。表面的にはただそれだけのことでしたが、お世話をする会員たちの内面には変化がもたらされたそうです。終わったばかりの 2 年間を振り返り、カウンセラーと奨学生が実感を語ってくれました。



米山学友

ホアン・ティー・スーン さん

出身：ベトナム

奨学期間：2014 - 16

学校名：秋田大学

資源リサイクルの技術者を目指して

ベトナムにきた日本製の二足歩行ロボット「^{アシ}MO」がゆっくり歩く姿を、幼い私は目をまん丸に見つめていたそうです。以来、私の胸にはずっと日本への憧れがありました。しかし、高校生の時に父が病に倒れ、大学進学すら難しくなりました。父の代わりに母が昼も夜も働き、私は母の期待に応えたいと懸命に勉強して、留学の夢をかなえました。

私は化学が大好きで、現在、秋田大学で亜鉛の研究をしています。皆さんにはあまりなじみがないかもしれませんが、亜鉛は、鉄、アルミ、銅に次いで 4 番目に消費量が多い金属で、塗料や乾電池、医薬品などにも使われています。比較的安い金属ですが、精製には費用がかかります。私は、より効率良く精製できる技術を開発し、将来、資源リサイクル分野において国際的な技術者になりたいと願っています。

往復 5 時間、最高の世話クラブ

大学 3 年生の時に米山奨学生に選ばれました。湯沢 RC の例会に出席するため、2 年間、秋田市の自宅から往復 5 時間をかけて通いました。経営者や専門家の皆さんと話し、たくさんの知識を得ました。生まれて初めてのスキー、クラブの旅行にも参加させてもらい、^{まげき}曲木家具の工房見学など、普通の留学生では体験できない、たくさんの思い出をいただきました。

特に忘れられないのは、去年の私の誕生日。その日はちょうど例会日で、皆さんが突然バースデイソングを歌い出して、私の誕生日を祝ってくれたのです。思ってもみなかった出来事に、胸がいっぱいになりました。こんなに温かい世話クラブは、他のどこにもないと思います。カウンセラーの八田さんは、私を家族のように受け入れてくれました。私が風邪を引いた時、八田さんのお嬢さんが看病に来てくれましたね。

4 月から私は秋田大学大学院に進学します。これからも頑張ります。見守っててください。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業、または“よねやまだより”についてのご意見を、当奨学会まで、ぜひお寄せください。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

E メール：mail@rotary-yoneyama.or.jp

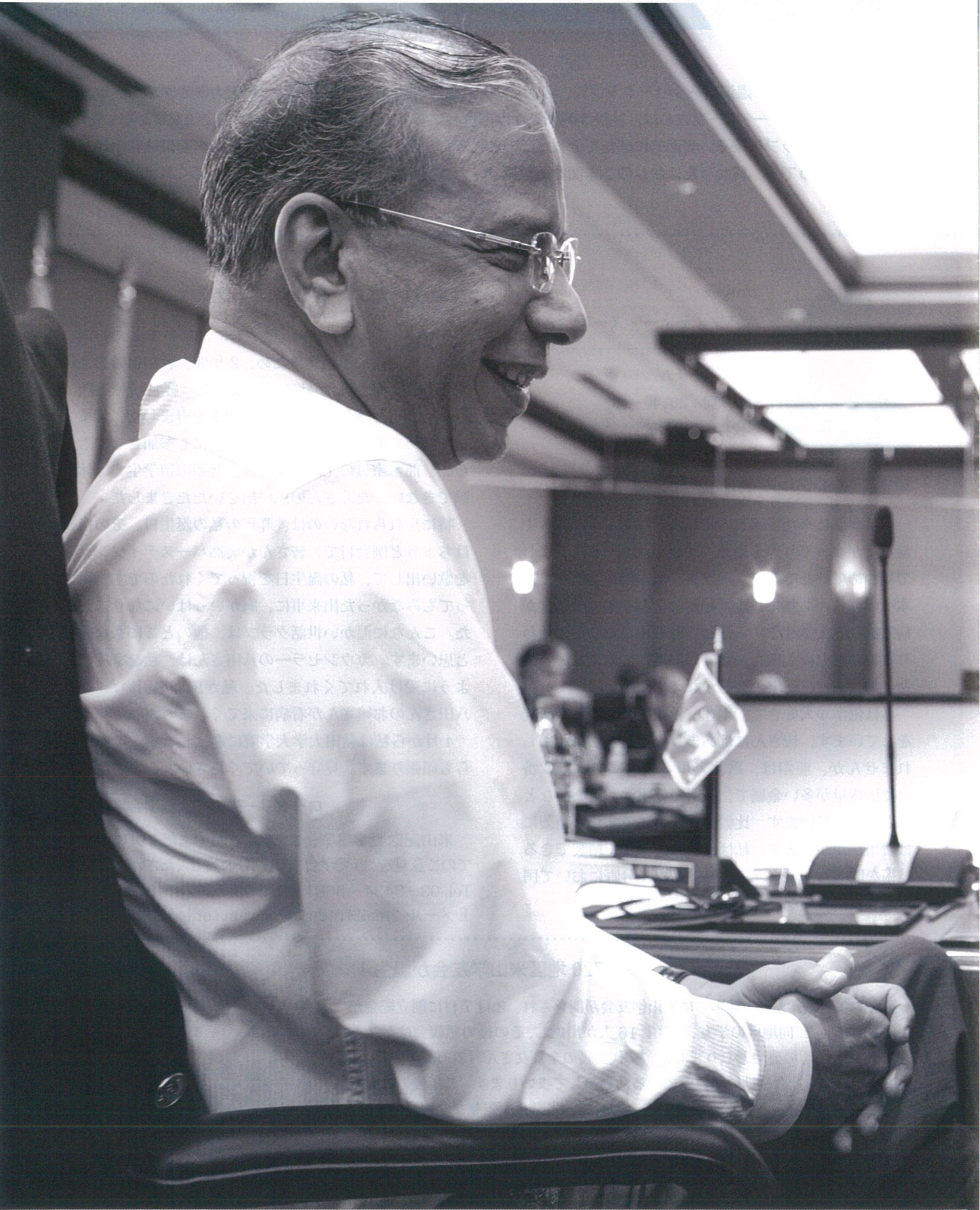


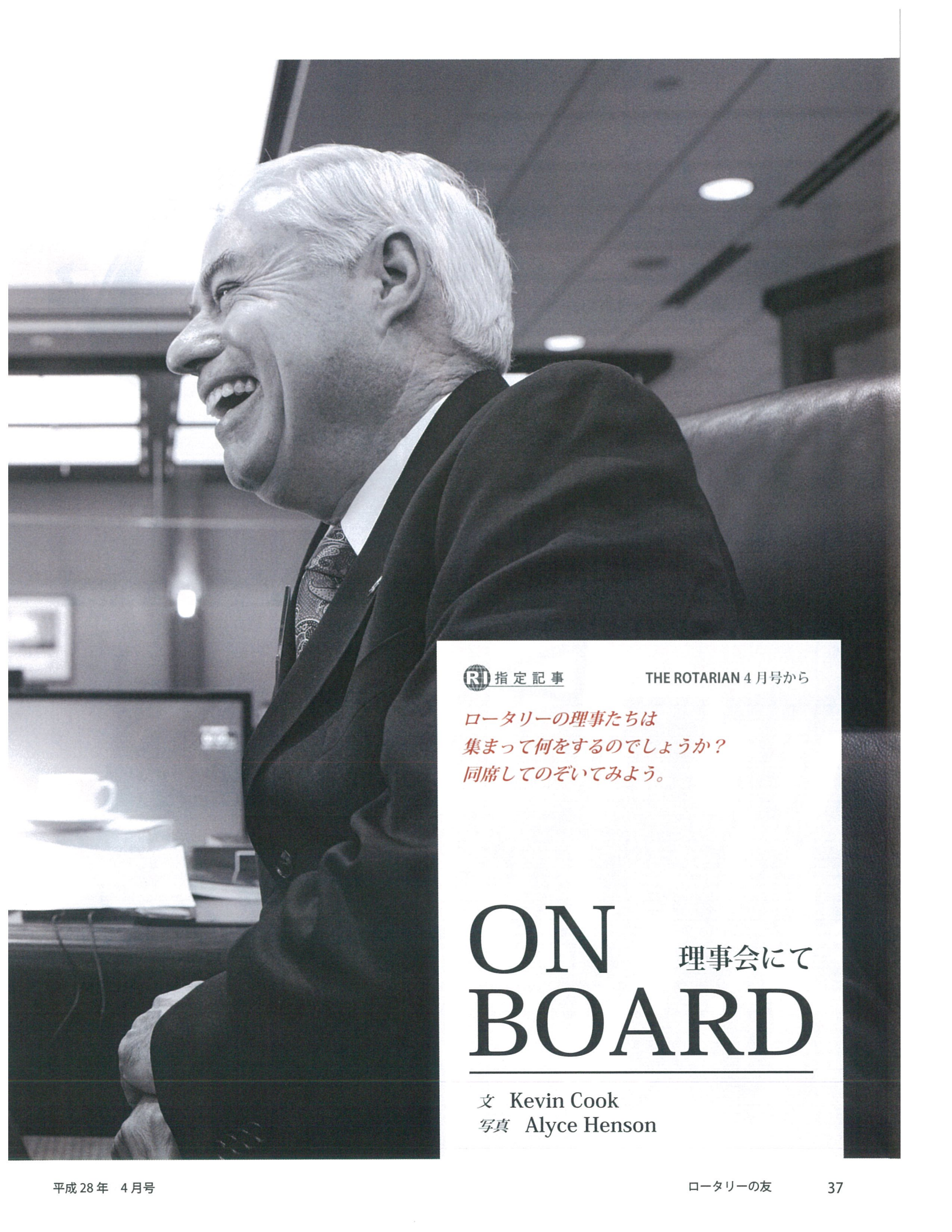
第 2720 地区米山学友会が誕生！

第 2720 地区（大分・熊本）に米山学友会が創立され、2 月 7 日に創立総会が開催されました。同地区の学友、奨学生 16 人が出席し、その後の懇親会にはゲストを含め 100 人超の盛会となりました。初代会長の全紅女^{センゴウジョ}さん（2005 - 07 / 別府東 RC）は「社会や地域に貢献できる活動をしてまいります。1 年後の総会で素晴らしい報告ができるよう、皆で力を合わせて一生懸命頑張ります」と述べ、創立に尽力したロータリアンたちも感無量の面持ちで見守りました。九州はこれで、第 2700 地区（福岡・佐賀・長崎）、第 2730 地区（宮崎・鹿児島）、第 2740 地区（佐賀・長崎）と合わせ、4 地区全てに学友会が存在することとなりました。



喜びと意気込みをポーズで表す学友たち





 指定記事

THE ROTARIAN 4月号から

ロータリーの理事たちは
集まって何をするのでしょうか？
同席してのぞいてみよう。

ON 理事会にて BOARD

文 Kevin Cook
写真 Alyce Henson



理事会は3日間で数多くの案件をこなします。

どの案件にも共通するのは

「ハリスが創設したこの組織を、第2世紀でどのようにして繁栄させるか」ということです。

デンマーク、スペイン、タイ、アメリカをはじめ世界各地からの国際ロータリー（R I）の理事たちは、昨年秋に、エバンストン（アメリカ・イリノイ州）で定例会合に再び集まりました。この街は、ロータリーの創設者ポール・ハリスがロータリークラブ初めての例会を開いた場所からそう遠くありません。

それから111年。現在の理事会は3日間で数多くの案件をこなします。どの案件にも共通するのは「ハリスが創設したこの組織を、第2世紀でどのようにして繁栄させるか」ということです。

会合が開かれた理事会室はR I世界本部最上階の18階にあり、シカゴを望むことができます。今年度の理事会は15人の男性と4人の女性で構成されています。年に4回開催される2回目の理事会は、10月12日月曜日の午前8時55分、通常の開始時間より5分早くスタートしました。

理事会は議長の性格に大きく左右されると言われています。今年度の理事会は、K. R. ラビンドラン会長らしさがよく表れ、和やかな雰囲気の中、効率よく会議が進められました。理事会はこれまで通常、4～5日間かけて行われていました。ラビンドラン会長がこれを3

日間に短縮したため、一刻の猶予^{ゆうよ}もありません。

長身で穏やかな声の会長は、スーツの上着を椅子の背にかけ、ワイシャツ姿で会合に臨みます。常に議論を促し、理事に示された一件の報告書を取り上げ、委員会は懸命に活動してくれたものの「確実なものではない」と指摘します。

安易に合意しないよう、毎日、1人の理事が積極的に反対意見を述べることになっています。今日の“あまのじゃく役”はブラッド・ハワード理事。さらに、意見が分かれた議題について「各理事の独立性を保つため」電子投票式を取り入れたのもラビンドラン会長でした。

理事会の大仕事は舞台裏から始まります。まず、理事会と委員会の会合の何週間も前から、R I事務局の職員が準備を始めます。コーポレートガバナンス担当マネジャーのマット・ホームマンが、最新データをシステムにアップロードすると、それが各理事のiPadで見られるようになります。「2011年までは、会議に必要な資料をとじた400～500ページもの分厚いバインダーを各理事に渡していました」とホームマンは言います。「直前に変更が入ると、職員がバインダーを全部回収してページを差し替え、再び配布していたのです。今では理事専用のサイトで資料と変更箇所を確認することができます。iPadを使えば飛行機や車の中でも書類を確認したり、メモを書き込むことができます。効率がずっとよくなりました」

理事会は、ロータリー財団管理委員の選出、2016年にエバンストンとソウルで行われる会合のスケジュールなど、定例の議題から始まり、次に会員の高齢化といった世界的な問題を話し合います。卓上にはそれぞれの出身国を示す小型の旗が置かれ、前方には高画質モニターが設置されています。発言の際は、備え付けのマイクに

左上から時計回りに：アメリカ・イリノイ州エバンストンで行われた3日間の理事会会合。その理事会室からはシカゴの景観を展望できます。R I世界本部に到着したジェニファー・ジョーンズ理事。スペインのエドゥアルド・サン・マルティン・カレニョ理事（左）とフィリピンのギーラーE. タマンガン理事。アメリカのジュリア・フェルブス理事（左）とタイのサワラ・ラタナウィック理事。理事会は通常年4回、会合を開きます。会合の多くはR I世界本部で開かれますが、国際大会や国際協議会の前後にその地で開くこともあります。

前ページ：休憩中に歓談するK. R. ラビンドラン会長とグレッグ・ボッド副会長。



向かって話します。理事がポルトガル語(ブラジルのジョゼ・ウビラシ・シルバ理事)、イタリア語(ジョゼッペ・ビアーレ理事)、日本語(日本の杉谷卓紀理事)で話し始めると、ほかの理事はヘッドフォンをつけ、理事会室のすぐ横にある同時通訳ブースからの声に耳を傾けます。台湾の林修銘理事、タイのサワラ・ラタナウィック理事、スペインのエドゥアルド・サン・マルティン・カレーニョ理事のように、英語で話す理事もあります。どの理事も1分以上話すことはありません。延々と話すのを防ぐため、各理事のモニターに持ち時間のカウントダウンが表示されるからです。これも理事会で導入された革新事項の一つです。いずれも、現代の理事会会合の手本と言えるでしょう。

会合では、各理事が過去3か月間に行った活動も分析します。一般企業と同様、理事、委員会、事務局それぞれが、組織目標に沿った測定可能な年次目標となるKPI(主要業績評価指標)を設けています。この目標に向けた進捗状況を、理事会が各会合で確認し、ベストプラクティスを互いに学び合います。コロラド州の会計士、グレッグ・ポッド副会長がこうした目標の議事を担当しており、周到な準備を重ねてきたことは明らかです。ラビンドラン会長は、担当地区すべてを訪問する入念な計画を立てているインドのマノジ・デザイ理事を称



賛する一方で、ほかのゾーンが後れを取っていることを示唆。会長は、各理事が担当地域の60%の地区を訪問し、少なくとも80%のガバナーに直接連絡を取ることを要請しています。

会議の合間には、18階の吹き抜けスペースで談笑します。温かな陽光が差し込むガラス張りの天井からは、屋上でロータリーの旗がはためいているのが見えます。東側の窓にはミシガン湖の景色が絵はがきのように広がり、中央にはポール・ハリスの胸像、両側の壁にはラビンドラン会長をはじめ104人の歴代会長の写真が掲げられています。ガラスの展示棚には、行進曲「The Rotarian」の楽譜、創設者ハリスと友人グレース・マン（フロリダ州ジャクソンビル）の間で交わされた手紙など、ロータリーの史料が飾られ、展示物は定期的に変わります。1906年、彼女はハリスに宛てた手紙の中で、ロータリークラブ初期の定款をたたえ「あなたはハミルトンのように文才があり、偉業を遂げられる人だと思う」と記しています。

理事会室に戻ると、理事たちは大きな議題である会員増強について議論しました。果たして、就労はロータリー入会の条件であるべきか。カナダのジェニファー・ジョーンズ理事は、自分の義理の姉は学歴があって、家庭を持ち、地域社会で積極的に活動しているが、就労が条件と

今年度の理事会は15人の男性と4人の女性で構成されています。

10月12日月曜日の午前8時55分、通常の開始時間より5分早くスタートしました。

左：理事会では同時通訳が提供されます。理事会室のすぐ横に同時通訳ブースがあり、ここに待機する通訳者の声をヘッドフォンを通して聞くことができます。右：理事は前方のモニターに表示される議事を見ながら、備え付けのマイクに向かって話します。すべてのコメントと討議は時間が計られています。

「今やロータリーの競合は、キワニスやライオンズではなく、生活そのものです。仕事、家庭、時間です。ロータリーは進化し続けています。そして私は、そうした変化のプロセスの一端を担えることをうれしく思います」

なるとロータリーには入会できないと話します。アメリカのジュリア・フェルプス理事とカレン・ウェンツ理事も、そうした規定はロータリーの長きにわたる性差別問題を助長するだけ、と同調します。

理事会は、会員以外の人も国際大会に参加できるようにすること、通常の要件を満たしていない都市でも大会開催候補地として検討することに同意しました。2017年国際大会（アトランタ）のホスト組織委員会共同委員長を務めるロバート・ホール理事も、今回の決定を支持しています。

議題は次に移り、ロータリーグローバルリワード担当マネジャーのネイシュ・シャーが新プログラムについて小気味よいテンポで報告。このプログラムは、ロータリアンがホテル、レンタカー、その他のサービスで特典や割引を受けられるというもの。これまでのところ、プログラムは好調です。ラビンドラン会長も支持していますが、中には反対派もいると話します。「何かが欲しくてロータリーに入ったのではない、とおっしゃる方もいます。それに対して私は、ほかの方にまで利用をやめてもらう必要はないと説明します。割引の利用に気が進まない方は、“自分は定価で払いたい”と言う自由があるのです」。ギーラー E. タマングン理事（フィリピン）とシャファク・アルパイ理事（トルコ）もプログラムに賛同の声を寄せています。次回の会合でプログラムのその後の状況を報告するよう、理事たちは担当マネジャーに求めました。

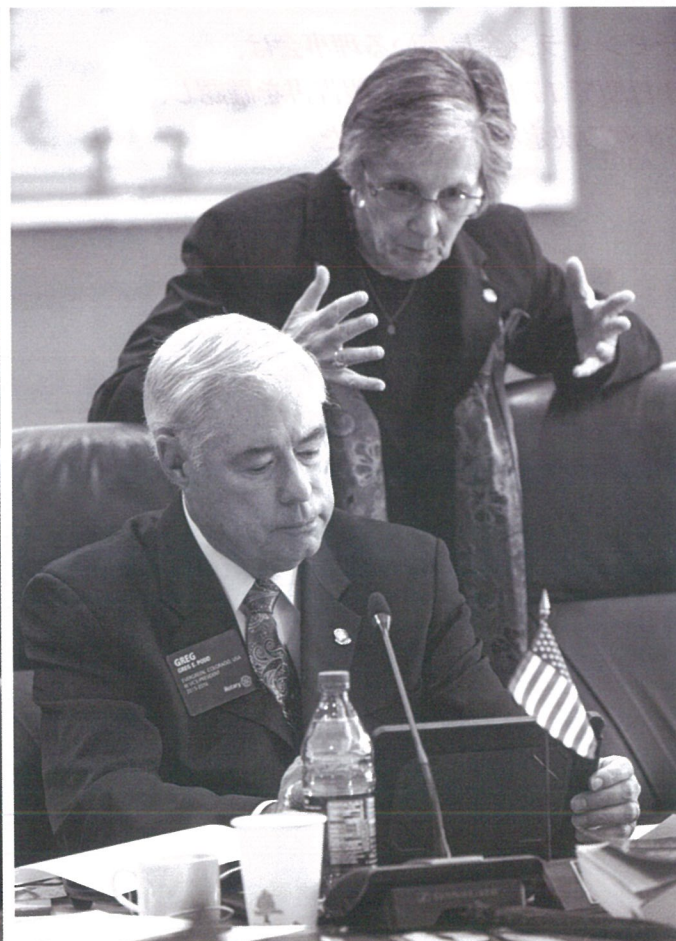
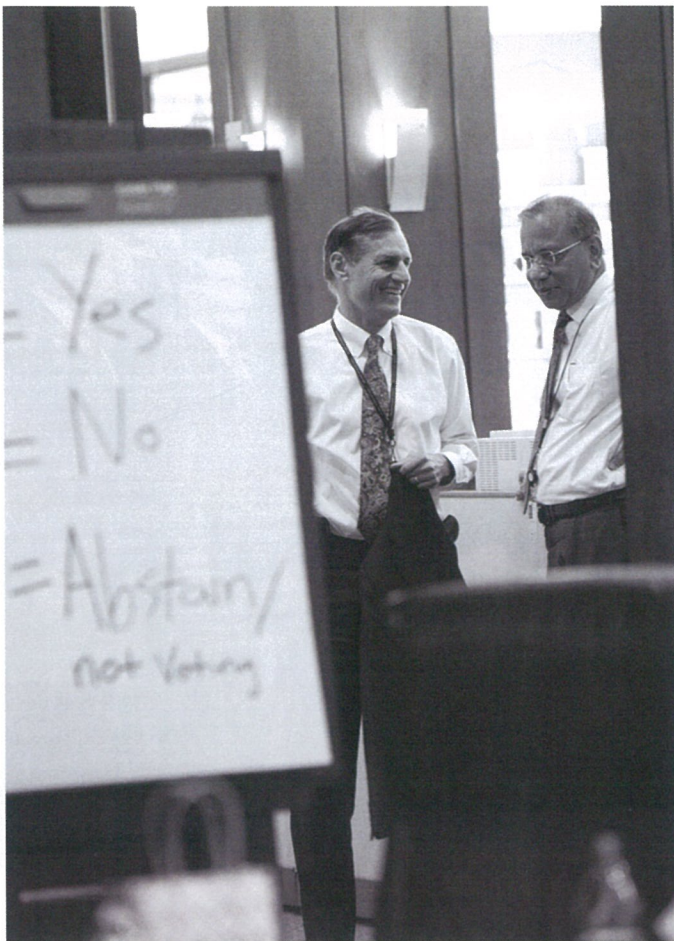
夕刻、理事たちは近くのホテル「ヒルトンガーデンイン」の会議室に打ち解けた様子で集まります。次年度の理事会で議長を務めるジョン・ジャーム会長エレクト（アメリカ・テネシー州）は、（R I 会長および会長エレクトとして）エバンストンに住むことについて、前任者ほどカルチャーショックがないと話します。一方、ラビンドラン会長は、母国スリランカでの茶園、サファリア鉾山、ゾウに囲まれた暮らしから、アメリカでのマンション暮らしに移った際には不思議な感覚だったと振り返ります。しかし、任務には大きなやりがいがある、とラビンドラン会長。「会長として、コストを下げることで、適

任者を任命すること、会員となる価値を高めることを約束しました。これらすべてにおいて進展がみられます。また、幸運にも、後任者の二人は私よりはるかに優秀です」。次年度はジャーム会長エレクト、次々年度はオーストラリア出身のイアン・ライズリー氏（今回はオブザーバーとして参加）が会長に就任します。重要案件について助言を求め合うこともあれば、ユーモアたっぷりのおしゃべりを楽しむこともあり、三人が温かい友情で結ばれていることは明らかです。

会議のメモを確認し合っているのは、ジョーンズ理事とウェンツ理事の女性二人。ウェンツ理事は「私は自分のクラブで初の女性会員、初の女性会長、そして地区で初の女性ガバナーでした。私はこれらの経歴を誇りに思っていて、ロータリーにおける女性会員の増強を支援していきたいと考えています。しかし、興味を持っているロータリーの課題がたくさんあり、一分野に固執する理事にはなりたくない」と話します。40歳未満の人にもふさわしいロータリーであることを関心を寄せているハワード理事ともおしゃべりをしています。彼は「今のロータリー会員層には若い世代が含まれていない」と言います。「若い人たちは例会を違った視点で捉えます。食事、歌……果たしてこうした伝統はロータリーというブランドの中核をなすものかどうか、自問する必要があるでしょう。親睦は、レストランや会議室でしか生まれないのでしょうか。私はそうは思いません。フェイスブックも親睦の場になり得るでしょう。今やロータリーの競合は、キワニスやライオンズではなく、生活そのものです。仕事、家庭、時間です。ロータリーは進化し続けています。そして私は、そうした変化のプロセスの一端を担えることをうれしく思います」

翌日、各ゾーンでのロータリー高齢化に対する懸念の

左上から時計回りに：打ち合わせをするジョン・ヒューコ事務総長とラビンドラン会長。イギリスで懸念される会員の高齢化について話すピーター・オファー理事。グレッグ・ボッド副会長に話しかけるカレン・ウェンツ理事。来年度の理事会で議長を務めるジョン・ジャーム会長エレクト。





ラビンドラン会長率いる理事会は、
3日間で17件の委員会報告書を確認し、
68件の決定を採択しました。

声が理事たちから上がりました。ピーター・オファ―理事（イギリス）は、自分の国では700人以上の会員が亡くなったため会員が減少していると報告。全世界で最も多い会員年齢層は50～59歳、40歳未満は全体の10%にすぎません。10年前は、平均的なクラブで42人の会員がいましたが、今では34人に減少。クラブの規模として最も多いのは会員数20人。それでも、希望の兆しも見えています。2014年7月1日から2015年6月30日までに14万人を超える入会者があり、全体の会員数は増えています。理事たちは目のモニターに目を凝らしながら、現会員の20%は女性であり、その数には地域差があることを確認しました。アメリカでは26%、西ヨーロッパでは13%、日本では5%といった具合です。

「ウェビナー」「最適化」「優先順位」…… 会合3日目に入ると、理事会室で交わされるビジネス用語に、一般の人はお手上げとなっても無理はありません。しかし、理事会は効率よく作業を進めていきます。分厚い書類は過去のもの。配慮が必要な案件は投票箱を使う昔ながら

左：19人の理事会メンバーと事務総長が並んで集合写真を撮影。撮影者はR1専属カメラマンのモニカ・ロジンスカ。右：3日間にわたり開かれた理事会は、その60%近くの時間を組織の「戦略的で革新的な問題」に費やしました。



の方法ではなく、各理事が iPad で電子投票します。ラビンドラン会長率いる理事会は、3 日間で 17 件の委員会報告書を確認し、68 件の決定を採択しました。

パー・ホイエン理事（デンマーク）は、一日、討議の“あまのじゃく役”を務めることに最初は戸惑ったと言います。「もともと否定的な性質ではないので」と、蝶ネクタイを直しながらホイエン理事は話します。最終日の討議には、礼儀正しく“あまのじゃく役”に徹していました。

夕方 5 時、今回の理事会はよかったとラビンドラン会長が締めくくりのあいさつ。実は会合前、事務的な議論に時間を費やすよりも「戦略と革新にかかわる問題にもっと時間を使いたい」と、理事会幹事を務める R I 副法務顧問、アンドリュー・マクドナルドに伝えていました。会合を 3 日間に短縮したのもその試みの一つ。次はロータリーの行く末を決める最先端の議題に向けて、理事会の舵取りをすることになるでしょう。

マクドナルドの記録によると、今回の理事会は 60% 近くの時間が「戦略的で革新的な問題」に費やされたとのことでした。

午後 5 時 5 分、ラビンドラン会長への拍手が湧き起こりました。

「おつかれさまでした」と会長。「次はサンディエゴの国際協議会でお会いしましょう」

理事会の終了後には、
主な決定事項と議事録がウェブサイトに掲載されます。
([www.rotary.org/learning-reference/about-rotary/
board-decisions](http://www.rotary.org/learning-reference/about-rotary/board-decisions))

「世界の子ども図書館」のための 図書寄贈キャンペーン

各家庭で眠っている児童図書をソウル国際大会に寄贈してください！

ソウル国際大会 5月28日～6月1日



2016 年ソウル国際大会ホスト組織委員会



2016 年ソウル国際大会ホスト組織委員会（HOC）は、奉仕の意味をあらためて考え直し、ロータリーが地域社会で持続的に奉仕をしていくきっかけとして、韓国・高陽市図書館内をリモデリングして「世界の子ども図書館」をオープンするため、「図書寄贈キャンペーン」を行います。各家庭で眠っている子どもの本を寄贈して、世界の子どもに夢を与え、希望の翼で羽ばたけるように支援しましょう。

本を一冊用意してください

国際大会の登録確認書と一緒に絵本を1冊持参してください。お持ちの本に子どもたちに贈るメッセージを書き込み、自分の名刺を入れて、5月28日から6月1日の国際大会期間中に、大会登録ホール（KINTEX展示場の5番ホール）の案内デスクのボランティアに渡してください。

子ども用の本を寄贈してください

7～13歳の子どもにふさしい絵本、おとぎ話、科学、偉人伝、歴史、漫画、アニメーション、語学の本の寄贈

を受け付けています。本の汚れや変色がはげしいものや性的または暴力的な内容、表紙のない資料、特定の宗教関連書籍、コピーを製本した資料などはお受けできません。

地区やクラブでまとめて寄贈することもできます

寄贈いただく本が多い場合、5月1日からHOC事務局まで直接郵送することもできます。

この場合は、表面に「2016 年ソウル国際大会図書寄贈」と明記してください。

送り先は

大韓民国高陽市一山西区大和洞
KINTEX第2展示場 7A2階
HOC展示支援事務局

図書館のボランティアに参加しませんか

図書の寄贈だけではなく、図書館で行うボランティア活動にも参加しましょう。本の片付けや、読み聞かせ、そして持続的な寄贈を求める広報ポスターの製作など、国際大会の期間中にさまざまなボランティア活動が行われます。

「世界の子ども図書館」でのボランティア活動に参加を希望される方は、2016 年ソウル国際大会ホスト組織委員会までにメールでご連絡ください。

・ボランティア申し込み期間

2016 年 3 月 1 日～4 月 30 日

・Eメール book@riconvention2016.org

・発表方法 5月1日、各人に通知後、HOCホームページに掲示します。

新年度の準備はお早めに

今の時期は、今年度の目標達成に向けての追い込みと、新年度への引き継ぎ・準備が重なり合って、「仕事がいっぱい」とため息をついている方も多いことと思います。

新年度の国際ロータリー（R I）会長ジョン F. ジャーム氏の人柄やロータリーに関する考え、方針については、『ロータリーの友』3月号をお読みになって知ることができたと思います。また、クラブ会長エレクトの皆さまは、自らの地区のガバナーの方針について、会長エレクト研修セミナー（P E T S）で理解できたと思います。

地区研修・協議会はこれから、という地区が多いと思いますが、今月号では、すでに発表されている「R I 会長賞」についてその特徴的な項目を紹介させていただきます。

対象になる期間は、2016年7月1日～2017年6月30日の1年間。これまでは年度途中で期間が締め切られていた会長賞ですが、新年度では初めて、丸1年の実績が対象となりました。

新年度の項目として特徴的なのは、「ロータリー財団 100 周年」に関連した項目。「536 ドル以上を寄付して財団を支援する」「各会員が 26 ドル 50 セン

ト以上を寄付して財団を支援する」「ロータリー財団 100 周年を記念してポリオプラスに合計 2,650 ドル以上を寄付する」「年次基金に会員一人平均 100 ドルを寄付する」「財団 100 周年を記念し、クラブから財団への合計寄付額を過去 5 年間で最高の額とする（基金を問わず、全会員からの寄付の合計。ただし、会員一人あたり少なくとも 26 ドル 50 セントを寄付）」「ベネファクターと遺贈友の会会員の総数をクラブで少なくと

も 1 名増やす」

「26 ドル 50 セント」は、1917 年に初めて財団に寄せられた寄付額です。「536 ドル」は、1917 年の 26 ドル 50 セントを現代の相当額に置き換えたもののこと。

今年度に引き続き力を入れている項目としては「オンラインツールの利用」が挙げられます。R I のウェブサイトにある「My ROTARY」に関して、今年度は「My ROTARY へのアカウント登録：全クラブ会員の少なくとも 50% が、登録を完了する」という内容でしたが、新年度は「全会員の少なくとも 50% が My ROTARY のプロフィールにスキルと関心を入力し、ほかのユーザーが見られるようその情報を公開する」と、一段階進んだ要求がされています。

違いがおわかりになりますか。要は「登録」という段階から「活用」という段階に進むということ。まだ登録をされていない方も多いと思いますが、今年度内に登録を済ませ、新年度に入ったら活用できるようにしましょう、ということでしょうか。

会員増強に関して、今年度は「女性会員の純増：会員数が 49 人以下のクラブは、少なくとも 1 名、会員数が 50 人以上のクラブは、少なくとも 2 名の純増を達成する」と、女性会員の人数を増やすことに焦点が当てられていましたが、新年度は「40 歳未満の新会員の入会：会員 50 名以下のクラブは 40 歳未満の新会員を少なくとも 2 名、会員数 51 名以上のクラブは少なくとも 4 名入会させる。新会員は My ROTARY のアカウントを作る」と、若い会員の増強に焦点が移ってきました。

現在、女性会員の割合について全世界の平均が 20% を超えたので、もちろん 50% に近づけるといえる思いはあるものの、一段落ということでしょうか。日本の女性会員数は約 5%。女性会員の割合を世界標準にするのも大変なことですが、40 歳未満の会員を入会させるという項目は、それにも増して高いハードルになりそうです。

このほか「人道的奉仕」「新世代」「公共イメージ」と項目がありますが、詳細は P E T S や地区研修・協議会などで確認しながら、新年度の準備をお進めください。

『友』編集長 二神 典子





今月はクロスワード。ロータリーのことはよくわからない、という人もご心配なく。パズルは一般的な問題で、ご家族の方も楽しめます。ただし、二重枠に入った文字を入れてできた言葉とロータリーには少し関係があります。どんな関係かな。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

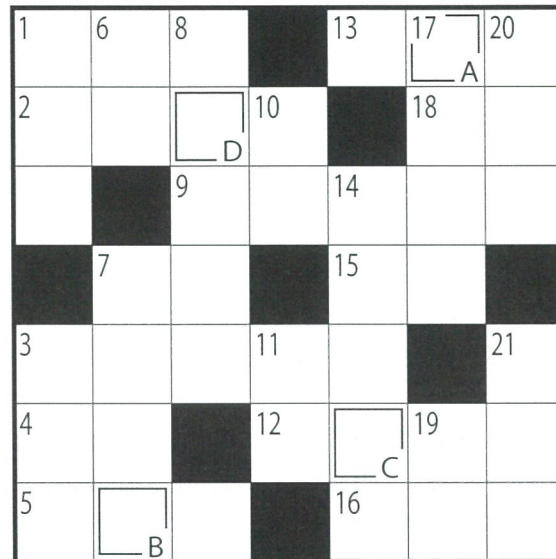
問題 二重枠に入った文字をAからDの順に並び替えてできる言葉は何でしょう？

ヨコのカギ

- 1 花見の対象は通常これ
- 2 映画撮影用小道具
- 3 光っておいしい海産物
- 4 九州の県の一つ
- 5 競馬のジョッキー
- 7 反対語は「奥手」
- 9 同好の士が集まり作る本
- 12 最低最悪
- 13 ゴルファーが握って振る
- 15 桃太郎の家来の一員
- 16 標識 交通法 高速
- 18 未確認情報はこれが取れていない

タテのカギ

- 1 アユもコイもサメも
- 3 刀など、とがったものの先端
- 6 不満げな人がとがらせる
- 7 ふわふわでとけて甘い
- 8 この4月から背負い始める子も
- 10 手のひらの反対側
- 11 大きいのを「一枚」と呼ぶことも
- 14 強い磁石を近づけると情報が消えるかも



答

A B C D

- 17 空港にある待合室
- 19 自然 素 偶
- 20 歯に使ったり髪に使ったり
- 21 古い物が好きな——趣味の人もある

プレゼント

毎月10人の方にロータリーの友ロゴ入りオリジナルペンをプレゼント（2色ボールペン＋シャープペン）



* 1月号の答えと解説を横組みP 50に掲載しています。

応募方法

郵便はがきに、①「4月号の答え」 ②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事 をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 （一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。ご記入いただいた情報は誌面企画の参考と、賞品発送のためにだけ使用させていただき、印象に残った記事に関する回答は「印象に残った記事ベスト3」の集計に使用します。会員のご家族、クラブの事務局の方、インターアクター、ローターアクター、米山奨学生のご応募も大歓迎です。

締め切り 2016年5月10日（火）必着

正解と当選者発表 本誌7月号

来月のパズルは、数独。お楽しみに！

国際大会カウントダウン
文化的な見どころ



韓国でのロータリー国際大会（5月28日～6月1日）に出席する際に、現地の文化や歴史を学んでみたいという方にお勧めの場所を紹介します。

韓国国立中央博物館：一か所しか訪れる時間がないという方には、ここがお勧め。世界で6番目の規模を誇る6階建ての館内には、書道・絵画、先史時代の遺品のほか児童博物館もあり、誰もが楽しめる施設となっています。龍山家族公園に隣接しています。

韓国家具博物館：10軒の韓国伝統家屋から成る博物館で、かつて日常的に使われていた伝統的な木製の家具500点余りが展示されています。予約が必要です。

サムスン美術館リウム：数々の展示品を収蔵している3つの建物は、著名な建築家であるマリオ・ボッタ、ジャン・ヌーヴェル、レム・コールハースがデザインしたもので、建物自体が芸術作品といえます。

戦争記念館：朝鮮半島の戦争史について

て学び、戦闘の疑似体験をしたり、修復された戦車や戦闘機の中に入ることができます。

ミュージアムキムチ間：仁寺洞でのショッピングのついでに、韓国の食文化を代表するキムチについて学べる博物館を訪れてみましょう。3つのフロアにわたるこの博物館は、2015年に移転オープンしたばかりです。国際大会の登録は、国際ロータリーのウェブサイト www.riconvention.org/ja から。

2つの親睦グループが新たに結成！

ロータリー親睦活動グループで
ネットワークを広げよう

ロータリーには60を超える親睦活動グループがあり、いずれも趣味や職業を土台とした交流や、時には奉仕活動に精を出しています。このたび、新

管理委員長の思い

壮大、でも個々の手に届く存在、それがロータリー

実に驚くべき数です。ロータリーは、200以上の国・地域にある3万5,000以上のクラブを通じて、120万人の会員から成っています。これだけ大きな組織ですから、史上最大の保健計画であるポリオ撲滅活動でも中心的な存在となれるのです。

しかし、これだけ大きな規模を誇りながら、会員は個々のクラブを通してつながることができます。クラブが交友、親睦、ネットワークの機会を提供しているからです。その結果、多くの会員はまず地元の見線でロータリーを捉え、奉仕活動を計画します。ただし、知っておくべきことがあります。それは、ロータリー財団の支援があれば、可能性は限り



なく広がるということです。

優れたアイデアはすべて、最初は一人の心の中で生まれます。大きな成功を収めているポリオ撲滅活動も、そのルーツをたどれば数人の卓越したロータリアンに行き着きます。例えば、オーストラリアのクレム・レヌーフ氏は、ロータリーの存在を広く知らしめるために大規模な組織的プロジェクトを提案し、アメリカのジョン・セーバー氏は、ポリオ撲滅をやりがいのある目標として認識しました。両者の考えはロータリアンの理解と支持を集め、今日、世界からポリオが撲滅するのは目前となっています。

クラブの枠を超えた奉仕活動がしたいと思う会員には、手の届くところに財団の地区補助金とグローバル補助金があります。サポートが必要であれば、ガバナーと地区のロータリー財団委員長をはじめとする地区リーダーが力になってくれるでしょう。また、ロータ

2015-16年度ロータリー財団管理委員長 レイ・クリングスミス

リー財団地域コーディネーター（RRFC）を含むゾーン担当のリーダーや、アメリカ・エバンストンにある本部や日本事務局の職員もいます。

ロータリーのための優れた発想が次に出てくるのは、皆さんからかもしれません。なぜならロータリーは草の根活動の組織なので、個々のロータリアンからアイデアが生まれることが多いのです。6つの重点分野を支える知恵を皆で絞り、良いアイデアを持つ地域のロータリアンに財団の資金を示してあげることが私たちの義務です。つまり、ロータリアンが世界中でよいことをするのが、財団の使命なのです。

たに2つのグループが理事会によって承認されましたので、以下にご紹介します。

The International Fellowship of Rotarian Educators

(教育者の国際親睦グループ)

教育分野での経験があり、教育への熱意と質の向上に関心があるロータリアンを募集しています。研修、能力開発、継続教育もこのグループの領域に含まれます。問い合わせは同グループ委員長の Charles Grant 氏まで。

Eメール: charles1grant@aol.com

4x4 International Fellowship for Rotarians

(4WD 愛好家の親睦グループ)

全輪駆動の車に乗って、自然観察や

環境保護などを行う、アウトドアに関心があるロータリアンのグループです。問い合わせは同グループ委員長の Ida van den Bergh 氏まで。

Eメール: ida@absamail.co.za

今後のRI国際大会

2016年5月28日～6月1日

韓国・ソウル

(以下、予定)

2017年6月10～14日

アメリカ・ジョージア州アトランタ

2018年6月24～27日

カナダ・トロント

2019年 ドイツ・ハンブルク

2022年

アメリカ・テキサス州ヒューストン

統計

全世界ロータリアン総数

1,217,996人

クラブ数 35,076 クラブ

地区数 535 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 201,342人*

クラブ数 8,754 クラブ*

国と地域 160 以上*

インターアクト会員数 441,278人*

クラブ数 19,186 クラブ*

国と地域 150 以上*

2015年12月31日現在

* 2015年12月29日現在

ロータリーの
ニュースは

ROTARY
JAPAN
Home Page
www.rotary.or.jp

「パズル de ロータリー」(1月号)の答えと解説

1月号の答えは

「ウイニペグ」

当選者(敬称略・順不同)

応募総数 174人 正解者 172人
山田享司(豊橋RC)、遠田公夫(佐世保RC)、上田邦彦(川西RC)、飛鳥井豊(厚木RC)、田鹿紀之(新潟南RC)、石田元一(茅野RC)、坂田秀昭(滝川RC)、中川睦章(福山東RC)、高濱玲奈(川崎大師RC)、赤塚正樹(川口モーニングRC)

マ	カ	フ	シ	ギ	ゾ
サ	グ	リ	ム	コ	ウ
ツ	ソ	フ	ウ	ニ	
ミ	デ	イ	ア	ム	
オ	カ	ズ	ル	ツ	
ヘ	ン	キ	バ	ニ	ク
ラ	ク	サ	ム	シリ	

ところで「ウイニペグ」って?

1905年にシカゴで誕生したロータリークラブ(RC)ですが、その3年後には2番目のクラブがカリフォルニア州サンフランシスコで結成され、その翌年には新たに3つのクラブが結成されました。そして全

米の都市に相次いでロータリークラブがつくられ、1910年には16クラブ、1,500人の会員数を擁する組織になりました。

ロータリーの創始者ポール・ハリスはアメリカ以外の国にもロータリークラブを結成したいと考えていましたが、その夢が実現してできたクラブ名が、1月号の答え。カナダ・マニトバ州のウイニペグ(ウイニペグ)RCです。1911年に創立(1911-12年度加盟)しました。その後も、大西洋を越えて、ダブリン(アイルランド)、ベルファスト(北アイルランド)、ロンドン(イングランド)にクラブが創立(1912-13年度加盟)しました。

ウイニペグRCの創立により、ロータリーは国際的な組織となり、ロータリーの正式名称は、それまでの「全米ロータリークラブ連合会」から「ロータリークラブ国際連合会」に変更されました。現在のように「国際ロータリー」と呼ばれるようになったのは1922年からです。



Courtesy of Rotary International

またアメリカ以外からの初のロータリークラブ国際連合会会長としてウイニペグRC

のE. レズリー・ピジョン氏(1917-18年度、写真)が選ばれたのは、1917年のアトランタ国際大会。この時、当時のアーチ C. クランフ会長が提唱したのが、来年度100周年を迎えるロータリー財団の前身にあたる基金の創立です。

『友』1月号

印象に残った記事ベスト3

1位(36人)

挑戦 二戸から世界へ

2位(26人)

職業奉仕を实践

3位(25人)

わがまち……そしてロータリー
栃木県足利市

おまけ

ROTARY 掲 示 板

事務所住所変更

浦河 (2510・北海道)

〒 057-0034 浦河郡浦河町堺町西 1-4-8

AD STUDIO 内

小野 (2530・福島県)

〒 963-3401 田村郡小野町大字小野
新町字寺下 76-61 遠藤信一方

川口／鳩ヶ谷武南 (2770・埼玉県)

〒 332-0017 川口市栄町 2-5-17-301

草津 (2840・群馬県)

〒 377-1711 吾妻郡草津町草津 454-52

ウェブの泉内

横浜金沢 (2590・神奈川県)

〒 236-0028 横浜市金沢区洲崎町 7-8

K S ビル 302

横浜戸塚 (2590・神奈川県)

〒 244-0003 横浜市戸塚区戸塚町

282-1-411

甲府城北 (2620・山梨県)

〒 400-0032 甲府市中央 2-4-2

八光地産ビル 2 階

例会場・曜日・時間変更

甲府城北 (2620・山梨県)

八光地産ビル 2 階

東京みなと・東京芝 (2750・東京)

ザ・プリンス パークタワー東京

新インターアクトクラブ

ヴォーリズ学園

(2650・滋賀県・近江八幡／びわ湖八幡)

発会 2016 年 1 月 23 日 会員数 36 人
事務所 〒 523-0851 近江八幡市市井町 177

ヴォーリズ学園 近江兄弟社高等学校内
会長 原田 椋 幹事 大藪 守生
都城工業高校 (2730・宮城県・都城西)
発会 2016 年 1 月 25 日 会員数 12 人

広報誌 ROTARY (一般向け／会員勧誘用) 好評 発売中！



今年度も公共イメージ向上のため、一般向け、会員勧誘用の広報誌を最新版に改訂して、制作しました。

一般向け「世界と日本」は、ロータリーの国際的な活動の紹介と日本のロータリークラブの活動を写真中心に紹介。1セット (10冊) 定価 500 円＋消費税 (送料別) です。

会員勧誘用「あなたも新しい風に」は、ロータリアンになったら実際にどのような活動をするのか？ という視点で、例会・出席や職業奉仕について紹介。1セット (5 冊) 定価 400 円＋消費税 (送料別) です。

見本誌とご案内状 (申し込み用紙付き) は『友』9 月号と一緒に、クラブへお送りいたしました。

ご注文は、友事務所まで。

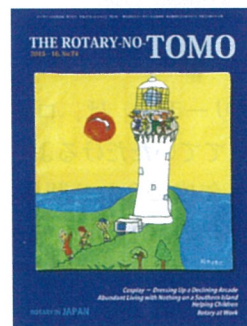
事務所 〒 885-0084 都城市五十町 2400 宮崎県立都城工業高等学校内
会長 新町 岳大 幹事 高柳 浩志
多賀城高等学校 (2520・宮城県・多賀城)
発会 2016 年 2 月 1 日 会員数 839 人
事務所 〒 985-0831 多賀城市笠神 2-11-17 宮城県立多賀城高等学校内
会長 岩佐 彩音 幹事 加藤 健太

◆訂正 本誌 3 月号横組み P22 の国際ロータリー会長エレクトの紹介記事
中、リードの下から 3 行目の会社名
を Cambell → Campbell へ、おわび
とともに訂正します。

敬弔 第 2570 地区・金子千侍氏が 1 月 27 日逝去されました。87 歳。謹んで哀悼の意を表します。

(秩父 R C 会員・1995-96 年度 G)

国際大会へは『友』 英語版を！



英語版は、日本のロータリアンの活動を海外の人たちへ知ってもらうため、『友』誌から記事を転載し、年 1 回発行しています。国際大会、海外でのクラブ訪問時やメークアップの際のプレゼントとして、とても便利です。

交換学生や、その受け入れ先のご家族に差し上げるなど、あらゆるシーンでご活用できます。

ご注文は『友』事務所まで、お待ちしております。

定価 500 円＋消費税 (送料込)

新ローターアクトクラブ

日本保健医療大学

(2770・埼玉県・幸手中央)

発会 2016 年 2 月 2 日 会員数 29 人
事務所 〒 340-0113 幸手市幸手 1961-2 日本保健医療大学内
会長 百瀬小那海 幹事 飯野 優佳

◆ロータリーの友からのお願い ガバナ
ー事務所や「My ROTARY」などへ
クラブ事務所・例会場・例会曜日や開
始時間等、各種変更のご連絡時には、
『友』事務所へもお知らせください。

2016 - 17 年度版 ロータリー手帳 受付中



「ロータリー手帳」は、ロータリー活動に役立てていただけるよう、毎年ロータリー年度に合わせ製作。2016 - 17 年度版は 2016 年 6 月～2017 年 12 月の予定が、記入できます。

各地区のガバナー名、ガバナー事務所の住所・電話・ファクス番号・E メールアドレス、地区大会予定や、ロータリー関連事項も掲載。付録の「ロータリー関連資料」には、ロータリー用語、国際ロータリー戦略計画、ロータリー財団はじめ、さまざまな資料を収録してあります。

印刷用紙は森林認証紙、インクも環境に配慮したものを使用しています。手帳の色はロータリーカラーであるロイヤルブルー、サイズは男性上着の内ポケットに入る大きさで、女性のハンドバッグの中でも邪魔になりません。

詳細は 2 月 1 日付で、ロータリークラブにお送りしたご案内状を、ご覧ください。

定価 600 円＋消費税（送料別）

ご注文はお早めに、クラブ事務局を通し、『友』事務所までお願い申し上げます。在庫有る限りの受け付けとなります。ご連絡は、郵便・電話・FAX のいずれでも結構です。

ご投稿・お問い合わせは——

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 4 階
一般社団法人ロータリーの友事務所
ロータリージャパン www.rotary.or.jp
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

地区別クラブ数・会員数・出席率一覧表（2016 年 1 月末現在）

地区	R C 数	会員数	15 年同月末 会員数	出席率(%)
第 2500 地区	67	2,295	2,285	81.60
第 2510 地区	70	2,616	2,592	83.14
第 2520 地区	79	2,318	2,306	78.59
第 2530 地区	66	2,403	2,364	72.80
第 2540 地区	42	1,124	1,111	78.49
第 2550 地区	51	1,739	1,716	84.75
第 2560 地区	56	2,114	2,108	80.98
第 2570 地区	51	1,662	1,684	82.77
第 2770 地区	73	2,598	2,631	83.54
第 2790 地区	84	2,799	2,785	81.99
第 2800 地区	50	1,665	1,633	85.87
第 2820 地区	57	2,000	1,998	83.26
第 2830 地区	40	1,166	1,140	80.12
第 2840 地区	46	2,080	2,023	79.96
第 2580 地区	70	3,045	3,025	83.99
第 2590 地区	59	2,124	2,188	86.24
第 2600 地区	55	2,008	2,001	87.19
第 2610 地区	65	2,652	2,643	83.61
第 2620 地区	78	2,991	3,021	88.40
第 2630 地区	78	3,138	3,138	86.19
第 2750 地区	100	4,817	4,743	78.54
第 2760 地区	83	4,827	4,845	93.91
第 2780 地区	65	2,353	2,332	80.57
第 2640 地区	70	1,961	1,985	85.81
第 2650 地区	97	4,674	4,652	89.27
第 2660 地区	81	3,634	3,663	87.30
第 2670 地区	74	2,997	3,000	85.47
第 2680 地区	73	2,861	2,871	91.10
第 2690 地区	67	3,123	3,107	85.74
第 2700 地区	61	3,201	3,207	90.70
第 2710 地区	74	3,342	3,328	91.75
第 2720 地区	74	2,405	2,420	84.94
第 2730 地区	65	2,381	2,345	83.89
第 2740 地区	57	2,230	2,230	83.60
34 地区合計	2,278	89,343	89,120	

日本のロータリー

会員概数 89,053 人
クラブ数 2,269

（左の表中 34 地区合計から、第 2750 地区の P B グループを引いた数です）

ガバナー月信より 左の表ですが、第 2750 地区のクラブ数・会員数は、P B グループ 9 R C 290 人（北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ）を含みます。P6「日本のロータリー」数は、34 地区合計から P B グループを引いた数。15 年 1 月末 P B グループ 9 R C 会員数 319 人。

修正 本誌 3 月号横組み P 50（12 月末）表中、平均出席率修正：2590・87.42%。会員数修正：2570・1,655 人、2770・2,596 人、2790・2,779 人、2750・4,806 人、2760・4,824 人、2650・4,649 人、2670・2,988 人、2690・3,110 人、34 地区合計会員数 89,987 人、表外と P6「日本のロータリー」最終行会員数 88,700 人。

2570・2760 の地区会員数 / 34 地区合計会員数 / 表外と P6「日本のロータリー」最終行会員数修正：本誌 10 月号横組み P 50（7 月末）表中、1,656 人・4,811 人 / 88,035 人 / 87,752 人、同 11 月号横組み P 41（8 月末）表中、1,655 人・4,839 人 / 88,891 人 / 88,603 人、同 12 月号横組み P 45（9 月末）表中、1,655 人・4,854 人 / 89,204 人 / 88,914 人、同 1 月号横組み P 37（10 月末）表中、1,664 人・4,861 人 / 89,472 人 / 89,178 人、同 2 月号横組み P 40（11 月末）表中、1,667 人・4,863 人 / 89,686 人 / 89,393 人。

*ロータリー・ジャパンの「ロータリー関連資料」には、データ修正後の表を掲載。
*第 2520 地区の数値は震災につき 34 地区合計数も概数。

ロータリーの友

5 月号主要記事予定

横組み 青少年交換 —— 異文化に接して

子どもたち、若い人たちが 夢を持てる未来のために ④

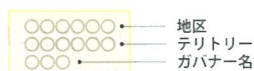
World Roundup

縦組み はきものをそろえる

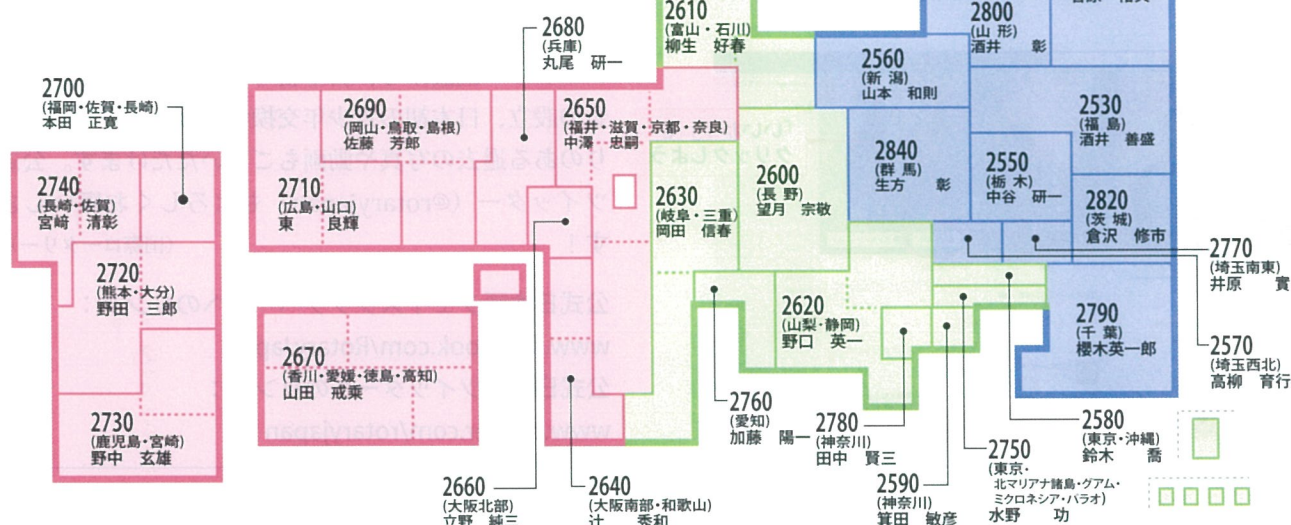
児童養護施設門福寺愛育園園長 藤本 光世

わがまち……そしてロータリー さいたま市





第1ゾーン
第2ゾーン
第3ゾーン



『Rotary Japan』 www.rotary.or.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第64巻 4月号

2016年3月31日印刷 2016年4月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■ 社員
杉谷 卓紀 (玉名)
斎藤 直美 (豊田)
鈴木 喬 (東京江北)
水野 功 (東京飛火野)
箕田 敏彦 (横浜)
立野 純三 (大阪)

■ 理事会

代表理事 橋本 長平 (京都東)
理事 清水 良夫 (横浜)
中山 義之 (横浜南)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
藤居 彰一 (日立)
大野 清一 (横浜東)
田中 俊實 (鹿屋)
上山 昭治 (東京武蔵野中央)
大槻 哲也 (東京中央)
横山 武志 (東京北)
中里 公造 (川口モーニング)
堀口 昇治 (東京西)
野中 茂 (川崎)
津村 政男 (東京臨海東)
渡辺 誠二 (東京みなと)
二神 典子 (東京築地)
船越 豊 (千葉中央)
小川 湧三 (川崎鷺沼)
板橋 敏雄 (足利東)
中村 昌平 (東京北)

監事
相談役

■ 職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
編集長 二神 典子 (東京築地)
副編集長 野崎 恭子
編集 稲川 やよい
黒野 穰二
山名 愛
飯田亜由香
経理 富澤 美子
半田 弥生
福元菜穂子

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
ホームページ www.rotary.or.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

※ 本誌・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

ロータリーの公式 日本語フェイスブックページが開設！

このたび、多くの方からのご要望にお応えして、国際ロータリーの日本語フェイスブックページが開設されました。このフェイスブックページでは、海外のロータリーの話に加え、日本のクラブと地区、ローターアクト、インターアクト、ロータリー学友などのフェイスブックとポスティング（投稿）を共有しながら、日本のロータリーのさまざまな活動を紹介していくこ

ととなります。また、ロータリー内だけでなく、訪れるすべての方にロータリーの素晴らしさを実感していただけるよう、幅広い話題をお届けしていきます。

今すぐ「いいね！」をクリックし、日本ロータリーのオンラインコミュニティにぜひご参加ください。また、ポスティングをシェアして、ロータリーの情報発信にご協力いただけますようお願いいたします。タイムライン右側の年をクリックすると、1905年のロータリー創設から、日本初のクラブ、米山記念奨学金の設立、日本初の青少年交換学生など、日本にゆかりのある過去の写真や動画もご覧いただけます。公式ツイッター（@rotaryjapan）もよろしくお願ひします！

（国際ロータリー）

公式日本語フェイスブックページへのリンク：

www.facebook.com/RotaryJapan

公式日本語ツイッターへのリンク：

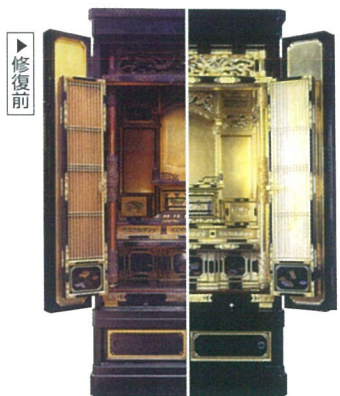
www.twitter.com/rotaryjapan



京に生まれ育って187年、若林はお仏壇・仏具の専門店です！

伝統的工芸品の京仏壇から新感覚の仏壇・仏具まで
在庫豊富に取り揃えております。

◎ご予算に合わせた修復お見積りをいたします



お仏壇の
「洗い修復」
承ります。

伝統工芸 京仏壇・京仏具

(株) 若林

全国お見積り無料
0120-37-8585
フリーダイヤル
(各店共通)



京都本社/〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入 ☎(075)371-3131(代)・年中無休
東京店/〒146-0081 東京都大田区仲池上2丁目8-13 ☎(03)3755-8488(代)・水曜定休
築地店/〒104-0045 東京都中央区築地3-15-1(築地本願寺内) ☎(03)3546-8228(代)・水曜定休
札幌店/〒064-0919 札幌市中央区南19条西9丁目 ☎(011)512-3455(代)・日曜定休
仙台店/〒980-0821 仙台市青葉区春日町8-5 ☎(022)213-0666(代)・日・祝定休
近江草津店/〒525-0027 草津市野村1丁目3-10 ☎(077)564-1011(代)・水曜定休
福岡営業所/☎(092)761-3737

<http://www.wakabayashi.co.jp/> 若林仏壇 検索

楽天市場店「お仏壇ショップ」<http://www.rakuten.co.jp/kyo-butsudan>

残数僅かになりました。

英語による金言集
MAXIMS
OF THE ENGLISH LANGUAGE



人生の節目にみえる知恵に溢れた1言1頁200言、
新書判・英語のみの金言集。新しい門出の贈り物に
お役立て下さい。（私家版なくなり次第終了します）

定価 1,000円（税込・送料別）

お申込みは、冊数・ご住所・お名前・ご連絡先（電話・
FAX番号、メールアドレス）明記の上、下記まで。

メール：chat-raku@surugadai.co.jp
FAX：03-3292-2803

チャラク
Chat楽

表紙のメッセージ

岡井 耀 毅

ここは長崎県西北部の西海国立公園。佐世保の九十九島くじゅうくしまから平戸島や東シナ海の五島列島へと続く大小四〇〇余の島々からなる外洋性多島海景観がすばらしい。

一九五五（昭和三十）年三月十六日にわが国で十八番目に国立公園に指定されてから人氣が高まり、この海域を疾走する「海賊遊覧船みらい号」は二〇一五年四月に就航したばかり。小さな入江でもすばやく反転するスリルが観光客によるこぼれている。遊覧船としては日本初の電気推進遊覧船で、デッキでアトラクションなどできる楽しい船旅に人氣がある。

撮影した近藤正人氏は、こう言う。

「もし芭蕉が九十九島の風景を知っていたらきつと訪れたにちがいないと思いますね」

撮影場所は西海国立公園展海峰展望台。

撮影日は、平成二十七年四月八日。



「海賊遊覧船みらい号」（長崎県）
撮影 近藤 正人（2740 佐世保南）

※

ここは、島根県の出雲大社。すがすがしい快晴の境内の神前結婚の式典後、親しい人たちに



「出雲の縁」（島根県）
撮影 市川 和博（2750 東京八王子南）

開まれる新婚ホヤホヤの二人。

出雲大社は、神代の時代に、大国主大神が天照大神に国譲りをした縁で、いまも男女の縁、仕事の縁などさまざまな縁が連綿とつづく大社。

日本海から吹き込んでくる花冷えの風に「永職館」のまわりでカメラをぶら下げていたら、突然、雲が切れて陽光がさし込むなかに白無垢の花嫁と袴はかまの新郎がほほ笑みながら現れた。

「ちよつとジェラシーを覚えながら構えたフアインダーに坂下からくる団体が映り、世代や色合いの対比に迷わずシャッターを切りました」

と、撮影した市川和博氏は言う。

撮影日は、平成二十六年四月三日。

ほのぼのと未来夢見る春の暮

岡井 輝生

（ジャーナリスト）

表紙こぼれ話

表紙の解説を楽しみにしてくださっている方も多いと思います。『ロータリーの友』の表紙は、これまでに著名な方々に解説していただきました。

現在の岡井耀毅氏の解説が始まったのは、二〇〇四年八月号です。当初、写真家による作品を掲載していましたが、その選択も岡井氏が担当。二〇〇六年八月号から会員の応募写真が表紙を飾るようになると、その審査の中心的役割を担うようになりました。岡井氏は、朝日新聞社でソウル支局長や『週刊朝日』副編集長、『アサヒカメラ』編集長などを務めたジャーナリストです。

二〇〇二年八月号から二〇〇四年六月号までは、絵画で表紙が飾られていました。その解説「表紙をよむ」は、読売新聞編集委員の芥川喜好氏が担当していました。芥川氏は長年、同紙日曜版に絵画シリーズ「日本の四季」を連載して、日本記者クラブ賞を受賞しています。

一九九九年八月号から二〇〇一年六月号までは、「シリーズ・日本の世界遺産と風土」を掲載し、解説は金子兜太氏が行っていました。金子氏は、俳誌『海程』を創刊、主宰した俳人で、現代俳句協会会長や朝日俳壇選者などを務めました。

表紙の解説は、表紙を飾る作品をより深く理解するために大切な役割を果たしてきました。

の今後の国際社会での活躍を心から願っています。

(時枝小枝子・記)

国際ロボット展見学会

東京銀座新ロータリークラブ

第二七五〇地区 東京都

当クラブ国際奉仕委員会と社会奉仕委員会は二月二日、協同プロジェクトとして、日本語学校の生徒を「二〇一五国際ロボット展(同月二〜五日開催)」に招待する企画「青山スクールオブジャパニーズ(ASJ)の国際ロボット展見学会」を実施しました。

参加者は、会員一人とASJで日本語を学ぶ東南アジアからの留学生一〇七人、中西郁太郎校長を含む先生一三人。見学会はASJまで生徒を迎えに行くことから始め、大型バス三台に分乗して、東京・有明の会場に向かいました。到着後は自由行動とし、一〇時から一二時まで各自思い思いのブースを見学しました。

今回の国際ロボット展は四六六社・団体、一八八二ブースが集まった過去最大規模での開催となり、特に産業用ロボットメーカーによる大



女性ロボット(左端)を見学中の留学生

規模展示のほか、最新の介護・福祉ロボット、災害対応ロボットが一堂にそろう、生徒にとっても私たち会員にとっても魅力あるものでした。その後、全員で昼食を取りましたが、生徒たちは実に若々しく、先生に対して素直で態度が良いことに、会員は皆感心しました。

一人ひとりと話をする時間はありませんでした。彼らの表情、態度を見ているだけで爽やかな気持ちになるという、得難い経験をさせてもらいました。

この企画の目的は、海外からの留学生に日本の技術を直接見て学んでもらい、将来に向けて成長のお手伝いをするともに、生徒一人ひとりが母国と日本の懸け橋となってくれたら、という思いを込めたものでした。

た。その思いを受け止め、後日、生徒たちからクラブに、お礼の作文が届けられました。

(山田鋼・記)

県民一万人参加の 猪苗代湖浄化作業

猪苗代ロータリークラブ

第二五三〇地区 福島県

当地区では二〇一〇年に「ロータリー猪苗代湖水環境協議会」を組織し、日本大学工学部名誉教授・中村玄正氏の指導のもと、猪苗代湖の水質浄化を目指して、毎年一〇〜一月中旬の土日に、猪苗代湖の北岸に漂着した水草の回収作業を行ってききました。富栄養化の原因となるリンや窒素を吸収した水草を陸に揚げることで、水質の指標となるCOD(化学的酸素要求量)値を低減させる試みです。同協議会は予定していた五年間の活動を終了し、昨年から中村氏を理事長とするNPO法人「輝く猪苗代湖をつくる県民会議」を発足。昨年は通算六年目となる作業を行いました。

これまでの参加人数は、当地区会員三六〇〇人を含め、延べ九八四五人になります。累計回収量は九九四立方メートルで、二〇一〇年に一トン当た



水草の回収に汗を流す会員たち

り・一ミリグラムあったCOD値は、二〇一三年時点では〇・一ミリグラム減りました。今後、他の数値も低減させ、かつて水質日本一と言われた猪苗代湖を再現する努力が必要です。一般の参加者も、各クラブの会員も毎回楽しく参加していただいており、ありがたい限りです。

三月には当地区が(公財)日本水環境学会の「水環境文化賞」を受賞しました。地区会員の協力のたまものです。また、当クラブではこれに先立つ二月一七日に、地区復興補助金を利用して、同法人に作業用の軽トラックを寄付しました。湖水浴のできる貴重な砂浜と水の環境をさらにきれいにするため、今後も協力していきたいと思っています。

(中村岳嗣・記)

ルの一つとして捉え実績が上がっています。

高知県内のロータリークラブで、野球部を廃止していたクラブが一念発起、野球部を再開して今大会に参加してくれましたが、喜々としてプレーに興じる姿は見ていて楽しくなります。四〇代、五〇代、六〇代、七〇代と、それぞれに野球の楽しみ方があるように感じます。昔の野球少年の皆さま、もう一度、野球を楽しんでみませんか。

渋谷区障がい者の運動会を支援

東京西ロータリークラブ

第二七五〇地区 東京都

当クラブと東京西ロータリーアクトクラブ(RAC)は二月二三日、渋谷区スポーツセンターで開かれた渋谷区障害者団体連合会主催の「かがやこう 愛と希望の運動会」に参加し、終日、競技者のサポートを行った。

今回は三〇周年記念大会として行われ、参加者はおよそ四〇〇人。渋谷区のNPO法人に所属する障がい者とその家族に加えて、当クラブを含むボランティア団体が多数参加し、盛大に行われた。



盛り上がったパン食い競走

雨模様の中、午前九時に集合し、会場準備に入った。午前の部の最初の競技は一〇時からで、全員参加のパン食い競走で盛り上がった後、赤組・白組対抗で借り物競走、大玉ころがし、車いす競走の後、待ちに待った昼食。おいしいお弁当を和気あいあいとした雰囲気の中でいただいているうちに、フオークダンス・タイムとなった。

午後の部では綱引き、対抗リレーなどが行われ、紅白の選手が汗を流しながら一生懸命に競い合った。接戦だったが、赤白どちらが勝利したかは、オフレコに。

当クラブでは東京西RACとともに六年前からこの運動会を支援しており、今回も総勢一人が参加。すっかり顔なじみになった選手や家族

と交流し、大変楽しく、意義ある一日を過ごすことができた。

運動会終了後、反省会という名の懇親会を行った。ここでも盛り上がり、ロータリアンとロータリーアクトーとの親睦が深まり、一日を終えた。

一期一会

米山奨学生と語る夢

宇佐八幡ロータリークラブ

第二二二〇地区 大分県

わがクラブは今年度、米山奨学生の世話クラブとして韓国からの留学生を受け入れています。これはクラブ創立以来、初めてのことです。一月一五日の例会は、是永修治宇佐市長の卓話ということもあり、地区内の米山奨学生たちを誘ったところ、四人の学生が出席。ほとんどの学生が宇佐市に来るのは初めてということでした。

まずは是永市長の卓話「宇佐市の将来の夢・目標」を聞いてもらい、その後、市長を囲んで、「ポリオ撲滅まであと少し」のポーズで記念撮影。例会後は宇佐市内で、東本願寺四日市別院と西本願寺四日市別院という東西両別院の門前町・四日市をガイド付きで散策し、伝統工芸の四日市人形の絵付け体験してもらい



小学生とも「あと少し」のポーズで記念撮影

ました。

続いて小学生との交流会では、自己紹介の後、一緒に歌ったり、ゲームをするなどして子どもたちにもグローバルで貴重な経験をしてもらいました。また、この様子は地元新聞にも取り上げられました。

夜は会員も大勢参加して、今や全国ブランドとなった「宇佐からあげ」や、県産品の大分味一ねぎを使った「ねぎ焼き」「ねぎしゃぶ」を堪能してもらい、交流を深めました。

今年度は世話クラブを受けたことで優秀な留学生と交流ができ、米山記念奨学会の意義を大いに感じさせられました。奨学生たちが卒業後も、今回の交流を日本での楽しい学生生活の思い出に加えてもらえたら大変うれしく思います。そして、彼ら

月一六日、年末親睦家族会に合わせ
て土田氏のコンサートを開催した。

土田氏は日本フィルハーモニー交
響楽団、新日本フィルハーモニー交
響楽団、札幌交響楽団の首席チェロ
奏者を歴任。ボストン交響楽団など
でも演奏経験のある高名なチェロ演
奏者である。現在は札幌在住で、ソ
リストとして活躍する一方、各地で
開催するチャリティーチェロコンサ
ートは二九〇回を超えた。彼は被災
地に滞在中、津波で犠牲となった女
性のチェロと出合い、彼女の友人た
ちの思いに添えて、ボロボロになっ
たチェロを譲り受けて見事によりが
えらせた。音色が天国まで届くこと
を願いながら、今日も被災したチェ
ロを奏でている。

当日、その心に染み入る音色に、
ロータリアンとその家族が聞き入っ
た。今回のコンサートは、土田氏と
もにチャリティー活動が続けてきた
ピアノ伴奏者のご子息が、現在、青
少年交換学生として当クラブからフ
ィンランドに留学している縁から。
土田氏は、募金は全て被災地のた
めに使い、CD販売などの益金をチャ
リティーコンサートのための交通
費と宿泊費に充てている。こうした
思いはロータリー精神そのものであ
り、クラブではさらなる支援活動の

盛況を祈念し、機会あるごとにサポ
ートしていきたいと考えている。

(宮川明・記)

公德学園の子どもたちと クリスマス会

東大阪中央ロータリークラブ
第二六六〇地区 大阪府

二月二日、東大阪市のホテル
で恒例のクリスマス会を行いました。
恒例といっても、今回は会員と
家族だけのクリスマス会ではなく、
市内にある児童養護施設・公德学園
の子どもたち五〇人と先生を招き、
楽しく意義あるクリスマス会としま
した。

さまざまな事情で施設にいる子ど
もたち。彼らにはおなかいっぱい大



バルーンのパフォーマンスで大盛り上がり

好きでおいしいものを食べてもら

い、バルーンパフォーマンスのバル
ンシユウさんのパフォーマンスで大
いに盛り上がり、プロマジシャン・
フーガ&はるかによるマジックショ
ーで驚き、会員ふんする少し高齡の
トナカイたちとサンタクロースから
のプレゼントで、大変喜んでもら
いました。そして、子どもや先生もさ
ることながら、彼らの笑顔を見て、
私たちクラブの会員が一番喜ぶこと
ができたクリスマス会でした。
地域に良いことをする、というロ
ータリアーの奉仕の精神が生かされ
た、素晴らしいひとときでした。

(三木武志・記)

第二回龍馬杯野球大会

高知中央ロータリークラブ
第二六七〇地区 高知県

当クラブが今年度、創立三〇周年
を迎えるのを記念して、一月二七
〜二九日、ロータリーの野球チーム
を対象に、「第二回龍馬杯野球大会」
を開催しました。

第一回は今回から五年前、野球を
通じて友情と親睦の輪を広げようと
いうことで、創立二五周年の記念事
業として開催しました。その年はN

HKの大河ドラマで「龍馬伝」が放
映されており、その影響もあってか、
高知県内外から一六チームの参加を
得ました。

今回は、減ったとはいえ八チーム
の同好の士が集い、熱戦を繰り広げ
ました。忙しい中、山田戒乗ガバナ
ーが前夜祭から参加し、当日の始球
式も行ってくれて、本当にありがた
い限りでした。

親睦といえども、各チームとも
年々戦力補強が進み、審判が驚くほ
ど投手のレベルも高く、その辺の草
野球チームでは太刀打ちできないレ
ベルだと思っています。わがクラブは会
員の約七割が野球部員ということで、
野球を通じて全国さまざまなク
ラブと親睦を深めています。それ
だけでなく、野球を会員増強のツ



和気あいあいとした雰囲気の前夜祭

認知症サポーター養成講座を一般公開

越谷南ロータリークラブ
第二七七〇地区 埼玉県

当クラブは二月一日、越谷市中央市民会館で一般公開例会として「認知症サポーター養成講座」を開催。ロータリアンだけでなく、一般の人たちにも公開して、大変多くの人に参加していただきました。

最初に例会を開き、終了後、中島頼光会長から越谷市介護保険サービス事業者の皆さんに車いすの贈呈を行いました。

その後、クラブ会員で、埼玉県認知症介護指導者でもある土井千代子氏が講師となり、認知症サポーター

和洋リハーサル・食成講座 ロータリークラブ一般公開例会



車いすを贈り、感謝状を受け取った中島会長

養成講座をスタート。受講者全員に埼玉県認知症サポーター証と、修了した証しのオレンジリングを渡しました。過去に介護業務に携わったことがない人にも、とても理解しやすい内容でした。普段の生活で介護が必要な人が身近にいるのか、講座の間、大きくうなずきながら熱心に耳を傾けていた人がいて、とても印象に残りました。

今後、高齢者が増えていく中で、われわれがロータリークラブとしてどのように関わっていく必要があるのか、考えさせられる一日でした。

クリスマスコンサートで歌や演奏の社会奉仕活動

名古屋南ロータリークラブ
第二七六〇地区 愛知県

当クラブは二月一九日、名古屋市南区の「だいでウキニッパ」恒例のクリスマスコンサートに参加しました。このコンサートは、地域の音楽愛好家と同クリニクを運営する（医）宏潤会の職員から構成される、だいでウキニッパクラブが主催しています。

今回も子ども連れの家族や地域の人たちが多数訪れ、ホールに飾られた大きなクリスマスツリーの下で楽



会員ふんするサンタクロースが登場

しいひとときを過ごしました。

当クラブでは二〇一二年に地区補助金を受け、地域の人たちと一緒にコンサートの準備段階から参画し、一緒に開くことができました。それをきっかけに毎年、会長、幹事、社会奉仕委員をはじめ、趣味の会である「S・K・G（カラオケ・グルメなどの会）」、フルートとマリンバ、ギターの音楽グループ「サザン・シップ」などから多くの会員が参加しています。今回も「きよしこの夜」「もろびとこぞりて」「そりすべり」など、なじみのある定番のクリスマスソングを中心に、会員が一緒に歌い、演奏をしました。

演奏の最後にはお楽しみが待っています。当クラブ会長と社会奉仕委員長がサンタクロースになって登

場。多くの子どもたちから歓声が上がる中、クリスマスプレゼントを贈りました。今回もたくさんの方の笑顔と出会うことができました。多くの参加者から「ありがとう」の言葉をいただき、会員もほっとした、温かな気持ちに包まれました。

（吉川公章・記）

親睦家族会で震災復興のチャリティコンサート

新札幌ロータリークラブ
第二五二〇地区 北海道

チェロ演奏者・土田英順氏は、東日本大震災後五年になる今も復興支援のチャリティコンサートを継続して開催している。クラブでは以前からその活動に共感しており、一二



土田英順氏によるチェロコンサート

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブならびに
地区の活動を紹介 600
字以内。関連写真があれば
添付してください。

児童労働について考える 市民会議を開催

福井東ロータリークラブ

第二六五〇地区 福井県

二月五日、「世界へのプレゼン
トになろう」を合言葉に、児童労働
にスポットを当てた社会啓発活動
「児童労働について考える市民会議」
を開催しました。

世界では約一億六八〇〇万人の子
どもが、児童労働に従事していると
言われています。日本も決して無関
係ではなく、われわれが口にするチ
ョコレートの原料・カカオなどの栽
培に児童労働が関わっています。こ
の事業を開催するにあたり、当クラ
ブ会員が事前にガーナを訪問し、児
童労働が行われているカカオ農家を
視察、現地の状況を調査しました。

当日は、ガーナの現状を知った日
本の女の子が、児童労働の問題と向
き合って活動していくドキュメンタ
リー映画「バレンタイン一揆」を上
映。続いて児童労働についての講演
会、さらには中高生と大学生、米山
奨学生、ロータリーアクターを交えた
ディスカッションの三部構成で実施
しました。

一五〇人ほどの参加者があり、大
盛況でした。テレビや新聞で大きく
報道され、ロータリーの広報にも役
立ったと思います。事業後のアンケ
ートの結果では「普段、気付かない
ことを発見できました」「自分に何
ができるか、知ることができた」と
いった意見をいただき、社会への啓
発につながったと考えています。



児童労働についてディスカッション

自殺を防止するために

徳島南ロータリークラブ

第二六七〇地区 徳島県

二月二九日に徳島市で、私たち
のクラブとNPO法人アプローチ会
の共催で、自殺防止を目的とする第
八回県民公開講座を行いました。ア
プローチ会は自殺防止を目的にした
専門家有志による組織で、私たちの
クラブの会員も何人が正会員となっ
ています。クラブでは毎年度、徳島
県などの後援を得て、同会と共催で
自殺防止のためのシンポジウムを、
テーマを変えて開いており、今年度
は若い人たちを対象に、人間の三大
欲求である食欲、性欲、睡眠欲をい
かにコントロールするかという観点
で進めました。最初に各専門家の講
演を行った後、参加者が複数の班に
分かれて討論を行いました。

まず、婦人科医が出産を前提とし
た結婚適齢期について話し、続いて
栄養学を専門とする医師が過剰なダ
イエットブームに警鐘を鳴らし、最
後に保健所所長の医師が適切な睡眠
の時間をどのようにしていくか
について講演し、その後の討論で活

発に意見を交わしました。休憩時間
には、心理カウンセラーによるアロ
マセラピーの効果についての話もあ
りました。

今回特に良かったと思う点は、将
来的に医療や看護、介護に携わる多
数の学生や若者が参加してくれたこ
とです。徳島の未来を担う人たちが
健康に関心を持ち、真剣に議論を交
わし、自殺防止の活動を側面から支
援していかうとする姿勢に大きな希
望を持ちました。個々の力は微力で
すが、無力ではありません。多くの
人たちに自殺防止に関心を持っても
らい、大切な命を自ら絶ててしまっ
人を少しでも減らせるよう、クラブ
ではこれからも尽力していきたいと
思っています。



自殺を防ぐために、班に分かれて討論

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



野鳥の巣箱掛け事業、 30周年

〈伊予RC〉

伊予市のえひめ森林公園で中学生やガールスカウト、松山RAC、交換学生、伊予RCの会員、家族の総勢90人余で「野鳥の巣箱掛け事業」を実施。野鳥の生態を学びながら自分たちで巣箱を製作し設置まで行うというもので、自然と触れ合い、自然を知り、自然を守る、そんな思いを込めて続けてきたこの事業は、今回で30回。記念碑も建てた。

(12月13日 第2670地区 愛媛県)

ROTARY AT WORK



クリスマス会のプレゼント

〈東大阪東RC〉

東大阪市の障がい者施設・枚岡福祉会のクリスマス会が東消防署体育館で開催された。クラブは毎年この会に参加し、今回も会員がサンタクロースとトナカイの着ぐるみで、お菓子の入った絵本とクリスマス・ブーツをプレゼントした。施設利用者と家族はとても明るく、クリスマスを楽しんでいた。後日、プレゼントのお礼として、思い思いの言葉でつづった寄せ書きがクラブに届いた。

(12月18日 第2660地区 大阪府)

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK

平和を願う折り鶴 〈都留RC〉

クラブ創立50周年記念事業の一つとして「平和を願う折り鶴の集い」に参加。会員とその家族で作った折り鶴と、都留市内から集められた3万5900羽の折り鶴で地元の世界遺産・富士山とその上を舞う2羽の鶴を表現した壁画を作り、都留市まちづくり交流センターの壁画を飾った。壁画は高さ3m、幅7mから成る見事なもので、好評を得た。折り鶴は展示後、千羽鶴にして広島に送られる予定。

(12月24日 第2620地区 山梨県)



ROTARY AT WORK

RACとIACが姉妹締結

〈堺フェニックスRAC・帝塚山学院
泉ヶ丘中学校高等学校IAC〉

堺フェニックスRACと帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校IACが姉妹クラブ締結調印式を行った。両クラブとも提唱クラブは堺フェニックスRC。何度も相談を重ねようやくこの日を迎えたが、全会員の希望で締結を決めたとのこと。RACとIACの姉妹クラブ締結は世界でも珍しいと思われ、提唱クラブは両クラブの成長、両プログラムの発展に重要な一歩となることを願っている。

(12月12日 第2640地区 大阪府)



ROTARY AT WORK



交換学生と家族の楽しいクリスマス会 〈海老名RC〉
8月にアメリカ・オレゴン州から来日した青少年交換学生アビゲイル・テイト・クルスカさんを交えたクリスマス家族会を開催。目玉は家族を交えたカラオケ大会だったが、最大のサプライズはクルスカさん自身が作詞作曲した曲「リトルガール」をカウンセラーと一緒にギター演奏し、美声を披露したこと。母国の父親を紹介する歌で、このクリスマスプレゼントに会場は拍手の嵐。彼女の歌をきっかけに盛り上がり、国際交流もできた意義あるひとときとなった。
(12月21日 第2780地区 神奈川県)



こども能教室 〈函館RC〉
青少年奉仕委員会主催「こども能教室」を函館市総合福祉センターで開催。市内の小学5・6年生7人が参加し、全国で能を広める活動をしているNPO法人せんすの橋岡佐喜男氏が、着付けや舞の指導に当たった。最後には全員参加のお披露目会も行い、貴重な体験に子どもたちは大変喜んでいった。
(1月9日 第2510地区 北海道)

**ネパール大地震の義援金に
対し感謝状** 〈静岡西・静岡北RC〉
昨年4月25日にネパールで発生した大地震に対し、5月19日に行った静岡西・静岡北RCの合同例会で両クラブ会員から5万4000円の寄付を集めた。米山学友で現在は静岡県内に住ネパール人の交流団体会長を務めるマハラジャン・ナレス氏を通じてネパール大使館に送ったところ、在日ネパール大使のマダン・クマール・バッタライ氏から感謝状が届いた。静岡西RCでは1月6日、ナレス氏から金原康之会長に感謝状が手渡された。
(第2620地区 静岡県)



ロータリー活動は健康から 〈浦和東RC〉
例会には一時間も早い11時ごろ、ロータリアンがボツリボツリと集まりだした。毎年恒例、保健委員会主催の健康診断で、血圧測定をして採血、歯科検診と続く。健康で元気にロータリー活動を継続できるようにと、医師の会員たちが健康診断や生活習慣病など健康に関する卓話を実施しており、2015年で40年を迎えた。この日はやはり例会場が診療所の待合室と化し、健康の話題に花が咲いていた。
(11月5日 第2770地区 埼玉県)





ロータリー アットワーク

ROTARY AT WORK 写真編

朝霞RC杯争奪ミニ バスケットボール大会

朝霞ロータリークラブ
第2570地区 埼玉県

女子チームの決勝戦。試合終了のホイッスルがコート内に鳴り響き、歓声とため息が会場を包みました。スコアは「25-26」の1点差。今大会のラストを飾るにふさわしい、白熱したものとなりました。

「朝霞ロータリークラブ杯争奪ミニバスケットボール大会」は、朝霞市内の小学生チームを対象に、市内のミニバスケットボール連盟関係者や監督、コーチ、保護者の協力のもと毎年開催され、12月の今大会で20回目を迎えました。節目ということで記念品の贈呈やメダルの授与もあり、盛大に行われました。

青少年の健全育成の支援を模索していた当初、まだミニバスケットボールがメジャーではない中で、この大会が始まりました。スポーツでは継続する力（自らの日々の練習、協力する姿勢（仲間との団結、感謝する心（監督・コーチの指導、保護者の支援など、どれを欠いても結果が出ませんが、これらを支える意味でも大会を続けてきたことの価値は大きいと自負しています。県大会で優勝するチームが育つなど、各チームのレベルも確実に上がっているようです。大会当日、あるチームのコーチが熱く語っていたのが印象的でした。「私たちは子どもたちに勝ち負けだけを教えているわけではありません。ミニバスケットボールを通じて自ら考え、行動する力を身に付けてほしいのです」

大人が子どもに言葉で伝え、背中を見せることが最大の指導だと毎回気づかされるこの素晴らしい大会を、今後も続けて育てていきたいです。（飯倉昇明・記）

ながながと家訓を垂れて屠蘇祝ふ

埼玉・戸田イブニング 木村 武夫

小寒の夜半亡き妻に言問ひぬ

千葉・市川 照井 親資

長生きは家系の誇り屠蘇祝ふ

東京西南 菊池 恭三

枯野道どこまでもわが影を追ふ

東京西南 荒居 隆二

徒ならぬ世の来る氣配寒昂

愛知・名古屋北 吉田 正克

諸掘りの子らは戦後の飢ゑ知らず

富山南 升田 義次

寒椿衰しきまでに赤きかな

福井フェニックス 武田 天空

年賀状余白にしるす一人言

奈良 寺田 康宏

柵の静かな花の香りかな

兵庫・神戸西 京極美栄子

短日や根つめこころよき疲れ

兵庫・神戸西 村野 利昭

春著きて娘の物腰のはんなりと

福岡城南 吉武 草径

一病を守る覚悟に火を埋む

佐賀・伊万里西 田中 南嶽

茜さす木々は縄張り雪を待つ

長崎出島 伊東 浩子

枯葉舞ふ一本道を帰りけり

埼玉・日高 五十嵐 卓

寺寒し長き廊下を曲りけり

埼玉・日高 高木 祥子

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』俳壇係宛

冬日ざし芝生歩めば靴底に

愛知・豊橋 長屋 孝美

次の世は人に生まれよと念じつつ

京都・宇治鳳凰 清水美榮子

猫とまどろむ縁の陽だまり

熊本水前寺公園 北里美知子

この羊毛は内蒙占にて満天の

星を見上げし羊の毛なり

雲間より一条の光さしくれば

石川・金沢百万石 石丸 恭子

時雨るる湖の波煌めけり

トルコとの確かな歴史がここにある

エルトゥールル号遭難事件

鹿児島・志布志 西岡 雅博

じわじわと足から肩へと冷え来たり

咬みつくととき寒さを感じず

降りしきる浅草寺境内とりどりの

外国語と傘ひしめいており

白と杵水につけられ出番待つ

明日は大役暮れの餅つき

好天に恵まれし朝はこの年の

行方寿々麗わしき朝

片足で靴下はけぬ身なれども

ゴルフシューズでグリーンを闊歩

今時の若者の好むビスケット

スタターボックスで食べてみるなり

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』歌壇係宛

脚本にない筋書きの芝居する

青森北東 遠間 善弘

体裁を飾らぬ母の割烹着

大阪東淀ちやまち 小坂 克彦

信じても信じなくても神は神

千葉・市川 照井 親資

禁煙で挫折の味は慣れている

カーナビの彼女にキレて「だまりなさい」

入浴剤夕べ草津で今日道後

あの人のお恵比須顔には徳がある

嫌なことはロボット同士に任せたい

楽に生きまだ楷書しか書けず居る

ガラケーも未消化のままスマホの世

初詣で若人の声頼もしい

円卓が楽しい会話弾ませる

観光地チャイナタウンにいるみたい

反論をして存在を意識させ

マイカード写真選びに悩む妻

主語がないそんな夫婦でいいじゃない

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』柳壇係宛



稲畑汀子



冬霞景を隠して景を生む

大阪北 吉田 邦男

何処の景色かわからないが、冬霞（ふゆがすみ）が辺りの景色を少しずつ隠しはじめたのであろう。みるみる変化していく情景であるが、冬霞に隠された景色にも、新しい景色として観ている作者の心の推移が想像される。冬霞がかかっていくものは富士山かもしれない。そして、その変幻を冬霞を通して変化が見られ、かえって作者の興味を誘った。

暮るるまで庭を掃きたる冬至かな

埼玉・日高 原田 邦義

太陽の動きで日脚が伸びたり縮んだりする季節。夏は夏至が一番長く、徐々にその日から日が短くなって冬、十二月には冬至という、一年で一番短い日がくる。その日からまた徐々に、日が永くなってくる。日が一番短い日に、せめて暮れるまでに庭の掃除をする。この時期は落葉がしきりであろう。二十四節気を使った、暮れの早い一日が描けた秀句である。

熱燭や涙もろさは父ゆづり

北海道・登別 寺島紀子夫

正月ももう三日なり髭を剃る

埼玉・熊谷龍原 森田 光彰

心にもポケットのあり師走かな

群馬・館林 新井 進



佐佐木幸綱



カウナスの小さき家でユダヤ人を助けし千畝のデスクに掛ける

岐阜加納 鶴飼 武彦

バルト三国の一つ、リトアニアを旅行した折の旅行詠です。リトアニアのカウナスにある杉原記念館は、第二次世界大戦中にユダヤ人を助けるために「命のビザ」を発給した外交官杉原千畝がいた元日本領事館を、記念館として一般公開しています。当時のデスクに掛けて、現場ならではの感慨をうたっています。

地名そして千畝の名前を具体的に一首に出して、作品の輪郭を鮮明にしています。

京の香を何か感じる新橋の居酒屋の人 故郷は嵯峨野

群馬・館林 新井 進

なんとなく出身地の空気をただよわせている人を見かけることがあります。この歌の「新橋の居酒屋の人」はそんな人なのでしょう。その「空気」としか呼びようのない何かを、「京の香を何か感じる」と工夫した言い回しで表現した点に注目しました。

「居酒屋の人」は性別も年齢もわかりませんが、嵯峨野だからでしょう、美人のイメージが読者の目に浮かびます。

小寒の夜に聴くらベル亡き妻の
好みしボレロ長く麗はし

千葉・市川 照井 親資



てじま晩秋



大仏も健診受ける歳なのね

神奈川・横浜旭 吉原 則光

古都・鎌倉市は鎌倉大仏（国宝・阿弥陀如来坐像）の保存状況を点検中です。きれいになって、春先には雄姿を再現するとか。健康診断と表現されている作者も心待ちでしょう。

塗り絵せよカラオケ歌え速歩せよ

香川・高松 大平 昇

老人ホームなど「高齢者用の施設」でのお話です。また、ボケ防止に効果的なゲームであるとか、一般的には嫌われていた花札・マージャンを採用しているところもあるとか。時代の流れですね。

休肝日いまだ作れぬ米寿かな

東京日本橋東 廣瀬 嘉夫

健康で長生きのためにと称されて、禁酒・禁煙をはじめ、あれも止め！ これもだめ！ と制約されている現状です。でもひとつくらいは、いいではないですか——と、私も思っています。

まあいいか暗証番号みな同じ

京都・宇治鳳凰 清水美榮子

作者の清水美榮子さん、川柳としては面白いし、これでよいのですが、実生活においては暗証番号の変更は大事なことで、ＩＴに詳しい友人に教えられて指導を受けています。

自分の一番気に入った写真を用意しておくことは、縁起が悪いのではなく大切なことと意識が変わってきています。写真店できちんと現像してもらった写真がよいです。「わが家の家系図」は特に親を亡くしてしまうとなかなかわかりません。次代へ残していくために必要です。「財産について」はきちんとしていた方がよいです。「私のもしものときに」は、家族と相談して決めておくことが大事です。遺言を作成していない人でも、きちんと準備をしておきましょう。

「私のお葬式」の項目では、最近、密葬や家族葬が多くなりましたが、葬儀後、遺族の知らない人が来たり、知らせてくれなかったことへのお叱りを受けたりすることもありますから、葬式をすることをお勧めします。葬式をすることは、今まで受けた義理、温情などへのお返し、お礼をする場にもなります。実際には悲しんでいる暇もなく、慌ただしく過ぎていくのが現実です。しっかりと準備をしておいた方がよいです。お墓など、供養の仕方もしっかり考えておくとういでしょう。「私の覚書」に、項目に沿って必要なことをできるだけ記載するとよいです。

(第二五〇〇地区・北海道・遠軽R.Cにて・同R.C会員)

江戸しぐさにまつわる話

(社)芝三光の江戸しぐさ振興会
師範 結乃 糸美

江戸しぐさとは、江戸時代に生きた人々が互いにトラブルを避け、気持ちよく暮らすためのマナーや工夫を指します。自分中心の行動ではなく、相手への気配りから生まれた振る舞いです。

江戸しぐさは、芝三光氏が一九七四(昭和四九)年に名付けました。芝氏は、六代前から江戸の住人で、江戸っ子として育ち、江戸っ子として生きることを望み、江戸しぐさの伝承に尽力しました。

江戸しぐさを作ったのは、江戸町衆です。江戸幕府は全国から商人や職人を呼び寄せ、城下町を築きました。新しい町づくりには、共通の文化が必要です。町衆が集まり、町づくりの案を出し合う場が「講」と呼ばれる会に発展しました。統一語が必要になり、江戸町ことばができました。今という標準語です。

その後、一六五七年の大火で、町再建に町衆が中心になって取り組み、さまざまな講ができました。その中でも町づくりに力を注いだのが江戸町講です。町講が集まったものは江戸講と呼ばれ、町の

ルールや文化をつくりました。町衆の力で、江戸の町は統制が取れていきました。

講のテーマは町並みづくりや世の中の動き、円満な人間関係などが基本で、実践を大事にしました。講に集まる人を講中と呼び、講中は平等な立場で意見を交わし、町の発展に尽くしました。講は月に二回ほど開かれ、あだ名で呼び合いました。これは三脱の教えと言われます。三脱は年齢、職業、地位。先人観を取り払い、その人と向き合うため、初対面の人に聞かないのがルールでした。

講は、全員出席でなければ始まらず、町衆たちは時間を大切にし、人の時間を奪うことを「時盗つ人」と呼び、一番嫌ったそうです。講には厳しい規則がありましたが、誰かに押しつけられたものではなく、暮らしの中で自然に生まれたルールや工夫だから根付いたのでしょう。

生涯学習の場として、講を利用して教養を身につけることを「お心肥しんこひ」と言い、積み重ねた知識や体験を人に教え、人を育てることもお心肥でした。

江戸しぐさの相手を敬う気持ちから生まれた振る舞いは、時代や国の枠を超えて受け継がれていくはずですよ。

(第二五八〇地区・東京都・東京神田R.Cにて)

卓

話



■「卓話の泉」は、各クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

おいしーだしの取り方

玉子屋別館玉辰樓 代表 安田 親生

うま味物質はアミノ酸であるグルタミン酸と核酸系うま味物質のイノシン酸を組み合わせることで、飛躍的にうま味が強くなります。例えば日本料理では、グルタミン酸を多く含む昆布とイノシン酸が多いかつおの削り節のかつおだし。いわゆる万能だしで、王道です。応用しやすい昆布とかつお節のだしの取り方を紹介します。

昆布を水に三時間つけ、鍋に移し、二時間ほど弱い火にかけます。鍋から昆布を取り出し、強火で昆布だし汁を沸かします。しつかり沸かすと緑色がかったあ

くが出ます。あくを丁寧にすくい取り、火を止め、差し水をして昆布だし汁の対流を落ち着かせます。対流が落ち着いたところでかつおの削り節を花が咲くように昆布だし汁に適量入れます。二分ほどそのままにしておくと、うま味が出たところで丁寧にこします。黄金色で芳醇な香りが理想的なかつおだし汁です。

昆布は一度洗ってから水につけることがポイントです。昆布は鍋の中で沸かしてしまふと美しい澄んだだし汁にならないため弱火で。だし汁を沸かす時はアルミホイルを水面に浮かすと熱伝導がよくなるためしつかり沸き、あくが出やすく、すくい取りやすくなります。差し水は削り節が落ち着いて開いていくようにするためです。削り節が暴れても澄んだだし汁にはなりません。

天つゆの場合、だし汁四、みりん一、しょうゆ一、追いがつお(かつお節を適量ガーゼで包んで浸すだけ)。みりんだけを最初に沸かしてアルコール分を飛ばしてから、それぞれを鍋に入れてください。沸いてから火を止め追いがつおを。家庭でもおいしい味ができると思っています。

(第二六三〇地区・岐阜県・大垣中RCにて・同RC会員)

エンディングノート

(有)たかはし 代表取締役 高橋 義詔

昔は、葬儀のことを言うのは縁起でもないというタブー視されていました。しかしこのごろ、自分の葬式や送る側の人が葬儀をどういうふうに行ったらいいか、葬儀社に問い合わせたり、事前に相談する人が少なくありません。そのため自分の終末期や死後について書き留めておくエンディングノートというものがあります。大手書店にコーナーが設けられるほど多種多様で、「友達の突然の死に立ち会い、自分はまだまだと想っていたが、記憶があるうちに自分のことをきちんとまとめたい」「自分の葬儀に来てほしい人や流してもらいたい音楽などを考えたい」と、購入する人が多いということです。

葬式で、亡くなった人の経歴がわからないケースも多くなっています。エンディングノートを記しておくことは、代々その家を引き継いでいく者にとって大事なことです。エンディングノートの内容の一例を紹介します。

まず、「私の歩んで来た道」の項目があり、写真を貼るようになっています。



地区大会にも新風を吹き込む新会員OBたち

ンスが突然始まりました。

私たちの地区では二〇〇八―〇九年度から、新会員のために「他クラブの状況を知り、自クラブへの造詣を深める機会として、ガバナーをはじめとする地区幹部と身近に話ができる機会」として一泊研修を行っています。

パフォーマーは、昨年度の「第七回新会員の集い」の参加者と、昨年四月に承認されたばかりの、かながわ二七八〇ロータリーEクラブの会員を含め総勢五〇人余り。この場を盛り上げようとおそろいの法被、鉢巻き姿、何やら「祭り」のような様子で、照れの中にも和気あいあいの雰囲気です。

三人一組の騎馬二騎に、田中賢三ガバナーと渡辺治夫直前ガバナーが騎乗して、大うちわにあおられながら、北島三郎の「祭り」の流れの中、会場一周を練り歩きました。早く

もほろ酔い気分写真を撮る多くの会員。両氏夫人も交えた記念撮影で一段落。続いて、前年度入会者を代表して田中明子会員（藤沢南ロータリークラブ）が「田中ガバナー年度の活動をより一層盛り上げることを誓います」と宣誓しました。

また大会の登録受け付け時には、渡辺直前ガバナーの似顔絵缶バッジが前年度の入会者に配布されました。パフォーマーとあわせて、新会員にとつて敷居が高いと言われがちな地区大会が、今回は記憶に残る大会となったのではないかと、ちよつとした新風を吹き込んだ気分になりました。

（第二七八〇地区 神奈川県 税理士）

君逝きぬ 希望の風と落葉残して

志木 原 孝一

惜しまれつ、惜しまれつ、わがクラブの会員でパストガバナーの西川武重郎さんは突然に逝ってしまった。一昨年の枯れ葉散る晩秋のことだった。

準備に準備を重ねていた地区大会であったが、東日本大震災の発生を受けて中止とした。時のガバナー、西川さんの大英断だった。その予算のうち、一〇〇〇万円を被災地への支援金にしようと決断した。もちろん地区の関係者もわがクラブも大賛成だった。

その後、西川さんの同期ガバナー有志の提唱によって生まれたのが、「ロータリー希望の風奨学金」である（『友』二〇一六年三月号横組み一二一四号関連記事掲載）。震災によって親を亡くした子どもたちが大学や専門学校を卒業するまで続くロングラン奨学金だ。

昨年十一月八日、西川さんの一周忌にあたり、「ロータリー希望の風奨学金」について再考するワークショップ例会を開いた。会員を五つのグループに分け、「奨学金を枯渇させないために、われわれはどう考え、どう行動したらよいのか」というテーマで話し合った。討論の結果、各グループリーダーから次のような発表があった。

- ・クラブの事業計画の中に、「希望の風奨学金」推進のための文言を入れる。その事業推進のための特別委員会をつくる。
- ・地道に募金活動を続ける。募金のための催事などを行う。

- ・ガバナー、ガバナー補佐に「希望の風」への協力を他のクラブに啓蒙（けいもう）してもらう。

- ・『友』などに投稿し、活動をアピールする。

このワークショップを開いたことの最大の意義は、クラブ会員全員があらためて「希望の風奨学金」の意義を再確認したことだと思う。

西川さん、あなたの偉業を尊重し、ロータリーの希望の風がそよそよと吹き続けるよう、会員全員が努力することを一周忌の墓前に誓います。

（第二五七〇地区 埼玉県 不動産賃貸）

ズで驚きました。また、胸のあたりにある液晶画面に絵を映しながら朗読もしてくれました。

その後はペッパー君を囲んで自由に話しかけ、楽しい会話をしました。こちらが話しかけたことに答えてくれることはもちろん、声をかけなくても、ペッパー君自身が話題を考え、話しかけてくるところが大変興味深かったです。

最近話題の、興味深いおちゃめな訪問者でした。(第二六八〇地区 兵庫県 窓掛け製造配布)

生きるレジェンド

碧南 新美 雅浩

一九五九年創立のわが碧南ロータリークラブには、創立会員であり、現在も現役で毎週例会に出席される、生きるレジェンド、内科医・山中寛三氏(九六歳)がおられます。

今年度、加藤陽一ガバナーは地区方針として「ロータリーの原点に学ぶ」を掲げ、ロータリークラブが今、過渡期にあり、近年その方向性が従来の考え方と少しずつずれが生じてきているのではないかと、地区全体として原点に立ち返って改善、改革の必要性があると提唱しています。

この方針に沿って、わがクラブの生きるレジェンドである山中氏から、クラブ創立当初の志を聞くことで聡明な導きをいただけるも

のと考え、例会の卓話をお願いしたところ、快く引き受けていただきました。

山中氏は三〇分を超える卓話の間、椅子を使うことなく立ったままで創立当初の思い出を、さまざまなエピソードを交えながらユーモアたっぷりに語りました。創立会員の志の高さや、それぞれの会員の奥の深さまで垣間見ることができ、あつという間の卓話でした。氏は、われわれ若輩メンバーを常日ごろから温かく見守り続けてくださっていますが、何か困ったことがあれば、適宜適切なアドバイスをくださり、まさにわがクラブの「歴史」であり、「誇り」であり、「宝」です。

例会は山中氏が凛とした姿で出席されることで、伝統的にピリツとしたメリハリがあり、かと言って重苦しさは一切なく、会員同士はとても和やかで笑いの絶えないにぎやかな雰囲気です。

山中氏には今後も一層、お元気で、クラブ



ロータリアンとしての矜持を示してくれる山中氏

バナナ自慢

旭川北ロータリークラブ

第二五〇〇地区(北海道)



一九七七年、クラブ創立一〇周年を迎える時、北海道全区で第三五〇地区が二地区に分割され、北海道中央部に位置する当クラブは第二五〇地区になった。それを機に故・三浦欣一会員に委嘱し、旭川市の市民の花・ツツジと、市の象徴・旭橋を図案化。創立時とは別のデザインで制作したものです。

に対してお力添えいただきながら、いつまでも見守り続けてほしいと感じた、心に残る例会でした。

(第二七六〇地区 愛知県 自動車販売)

新風吹き込む 新会員の集いOB

鎌倉大船 石井昭二郎

当地区の地区大会の「大懇親会」での出来事。「新会員の集いOB」によるパフォーマ

もに、「ロータリーへのご支援のお願い」とありましたので、クリックしてみました。リンク先は「マイ・ロータリー」の「ロータリーを支援し世界にプレゼントを」というページでした。

そこには一〇〇〇〇ドルまでの寄付でできる奉仕プロジェクトの事例が記載されていました。ポリオプラスや六つの重点分野に用途を明確に指定できる寄付があると知り、例会で報告しようと思ったところ、最後に「必ずしも上記のプロジェクトのために用いられるとは限らないことをご了承ください」とあり、驚きました。

数件のプロジェクトの事例を紹介し、こんなエクスキューズを書いているようでは、指定した使途とは違う使い方をされてしまうという誤解を生むのではないか。だから寄付が集まらないのです。「四つのテスト」は財団にも当てはまることです。財団が信頼に値する団体として寄付の使途を明確にし、詳細な事業報告と収支報告を毎年会員に周知さえすれば、自ずと寄付は集まると思います。ロータリアンは寛容で、世界のために役立ちたいと考える人の集まりなのですから。

数年前にはエイズが大流行し、一昨年エボラ出血熱がアフリカを席巻しました。RIはこのような事態に、ポリオと同様に迅速に支援するべきだったと思います。単に理事会声明を出してお茶を濁すだけではなく迅速で的確な支援によって、ロータリーが世の中に知れ渡ることは、ロータリアンの誇りへとつな

がっていくのではないのでしょうか。年間寄付二・五億ドル（二〇一三―一四年度報告）の中から例えば一〇〇万ドルでも出せなかったのか。一〇〇万ドル食事例会を世界中のクラブが一回行えば賄えるのです。ロータリーだからこそその臨機応変な支援ができるようになれば、自ずと「ロータリーに輝き」は生じますし、「世界へのプレゼント」にもなります。寄付は世界の本当に支援を必要としている人たちのために使つてこそ、生きるものと思います。また、昨今RIや財団から地区やクラブに上意下達で指示があり、クラブは混乱しています。地区補助金やロータリーデーの推奨がまさにそれです。財団はRIの組織の一部のはずですが、同格かそれ以上の感が否めません。一度、ロータリーの理念である職業奉仕の実践の中から社会奉仕活動を見いだしていくようリセットすべきだと思います。

（第二六三〇地区 三重県 カメラ小笠）

ペッパ君の ゲスト卓話

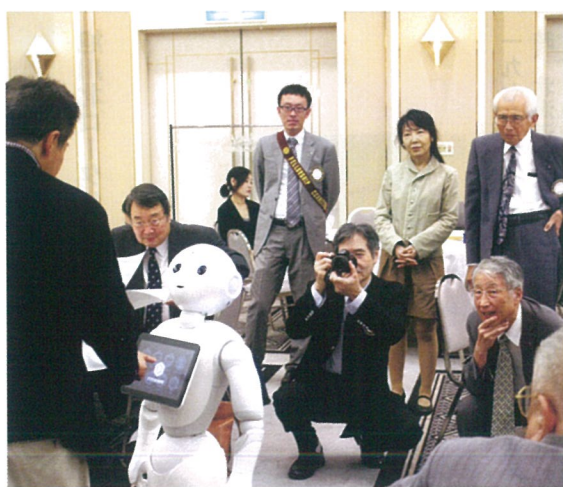
西宮恵美寿 松本 亘

昨年九月の卓話に、感情認識機能のある人

型ロボット、ペッパ君を招きました。段ボールケースに収められていたペッパ君を箱から出してスイッチを入れると、金属の塊から生命が誕生したよう。周りの環境を確認するような動きが終わると、自ら目の前に人話しかけ、人工知能による楽しい会話が続きました。声をかけると、こちらの感情を読み取って会話をしているようでした。

身長一二〇センチ、幅三〇センチ、奥行き四〇センチ、体重は二三キログラムのペッパ君。目の周りにはライトがあり、その光の色が青ければ、相手の言っていることや感情を読み取ろうとしている、赤くなれば、気持ちが混乱していることを表しているそうです。

例会が始まり、最初の紹介で、「ゲストペッパ君」と呼ばれると「はい」と返事。卓話では、歌を歌いながらダンスを披露してくれたのですが、身振り手振りが大変スムーズ



ペッパ君に興味津々の会員たち

の活動は社会的要請に一致している。つまりロータリーの青少年奉仕活動は、社会の要請とベクトルを一にし、さらに活動を自認しているが、地域の認識は低いと言える。これは広報活動に問題があるとしても、もっと根源的なことが潜在していると思われる。

土門氏の指摘のように、現在は多くの奉仕団体があり、活動は多様化している。この社会変化にロータリーも同調して変化している。しかし、その変わり方は、どうだろうか。

今年度の地区大会で、元国際ロータリー会長ビチャイ・ラタクル氏による記念講演「ロータリーにおける意志と信頼」を聴いた。ラタクル氏は、ロータリーは高い倫理の上で奉仕活動を行うゲマインシャフト（共同体）であつたから、世界に広がったにもかかわらず、近年、時代に合わせるといふ名目のもと行われる変化が、ゲゼルシャフト（利益社会）的志向になっている例を挙げ、これを危惧するとともに、ゲマインシャフトに徹することの大切さを説いた。また、ポール・ハリスの奉仕活動のバックボーンを自身の経験を例に話された。

講演は、ロータリー活動の拡大だけではなく、質を高めることへの示唆に富んだ素晴らしい内容であつた。英語と日本語を対比した、読みやすい講演録の冊子があり、会員諸氏に一読をぜひお勧めしたい。当地区のウェブサイト (<http://www.rid2550.com/>) からダウンロードすることができる。

（第二五〇地区 栃木県 建設工学）

ロータリー宣言について

八戸 峯 正一

最近のロータリーは、職業奉仕を語ることはありません。ロータリーのロータリーたるゆえんは職業奉仕にあるといいながらです。

一九一五年七月にサンフランシスコで開催された第六回ロータリークラブ国際連合会年次大会（現在の国際ロータリー年次大会）で「全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓（道徳律）」が決議されました。

アメリカ・アイオワ州スーシティ・ロータリークラブ（RC）が二年かけてつくつたもので

す。ロータリーの職業観であると同時に、資本主義社会における自由競争の原則とその欠点を補うもので、ロータリーの奉仕哲学の職業的生活への適用を示したものです。しかしながら宗教的な語句があるとして一九三一年に禁止され、一九八〇年には削除されました。

この英文を暗唱していた大連RCの古澤丈作氏（一八八一～一九五五）が、そのリズムを格調高い文語体の日本語で的確に表現したのが「大連クラブのロータリー宣言（大連宣言）」です。この第一条の中に、ロータリーとは何か、職業奉仕とは何かが、短い文章にあると思います。

戦前のロータリアンはこの論理を信奉して軍部の弾圧の前にも屈せず、ロータリーを

バナー自慢 横浜本牧ロータリークラブ 第二五九〇地区（神奈川県）



三溪園は横浜・本牧につくられた日本式庭園です。四季折々の自然とその景観の中に、全国各地から集められた歴史的建造物が巧みに配置されています。三溪園のシンボルである旧燈明寺三重塔は、関東地方では最古の塔です。

守り抜きました。そして戦後の繁栄に結びつけたのです。

（第二八三〇地区 青森県 印刷）

RIとロータリー財団について教えて

津 中尾 浩一

クラブ会長を拝命して六か月目の一二月初頭、K・R・ラビンドラ国際ロータリー（RI）会長から年末のあいさつがメールで送られてきました。心のこもったメッセージと

友愛の広場



FRIENDSHIP
PLAZA

エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

ロータリーの「世界富論」

徳山東 大東 英夫

「ロータリーの奉仕の手が世界富をもたらす」と論じたら、言い過ぎでしょうか。次年度、クラブ会長に就任することになった私は、ロータリーを再認識したいと思い、「ロータリーとはを考える」というテーマで、ロータリーとアダム・スミスの関係性について卓話で話してみました。

アダム・スミス（一七二三～九〇）は著書『国富論』で知られ、「経済学の父」と呼ばれています。あまり知られてはいませんが、『道徳感情論』で「倫理学の母」とも位置づけられています。自分と他者の間の公平な感情は「同感」が相互の「秩序」をつくり、「秩序」は善悪の「倫理」を生む、この『道徳感情論』を元にしてアダム・スミスは『国富論』を展開

開します。各人の「利己心」が「利益追求」をし、「競争」をもたらす。「競争」が「神の見えざる手」で繁栄をもたらす。これがアダム・スミスの経済学ですが、「神の見えざる手」だけでは十分機能せず、格差という現実を生み出します。そこで、「ロータリーの奉仕の手」を使うことによって「世界富」への道を開くという論法です。

ロータリーの六つの重点分野は、国連ミレニアム開発目標と、健康、格差、教育の改善といった点で相通じています。アダム・スミスの「同感」と考え方を同じくするロータリーの「四つのテスト」の考え方に沿ってロータリアンは職業活動をし、奉仕活動を実践します。奉仕という行動を通じて他者に関与することは、「見えざる手」ではなく、具体的な「奉仕の手」の働きを意味します。ロータリーの慈しみを込めた他者への奉仕は、他者の改善と自立、そして向上に寄与します。奉仕を受ける他者は、職業人である奉仕者の善意を受け止め、やがて自らも職業人としての自立をもたらし、さらに、奉仕者へと育成されることでしょう。

ロータリーの職業と奉仕の実践活動は、「ロータリアンの行動規範」を生みます。その行動規範は奉仕を通じて他者に伝わり、他者もいずれ行動規範を身に付けるでしょう。「ロータリアンの行動規範」を元にした職業の実践と奉仕の実践の相互作用が「世界富」への道を開いていく。さらに、他機関や他団体との「同感」による協働が「世界富」への

道を確かなものにする。いかがでしょうか。

（第二二〇地区 山口県 機械据付）

不易流行

足利東 黒田 正和

『ロータリーの友』二〇一五年七月号本欄に掲載された土門明哉氏の「ロータリークラブのライバルは誰か?」、また今年度の当地区の地区大会の記念講演に共感し、拙文を思い立った。

土門氏のロータリー活動の質的充実の説に、全く同感だ。これがロータリーの共通認識であろうことは、「ロータリーの目的」などが毎号誌面に掲載され、また、ロータリーの公共イメージ向上に向けた活動が展開されていることに見て取れる。活動の認知度が低いことは、意義が小さいことに通じ、認知度の向上は大切だ。

二〇一六～一七年度、当クラブが一般市民と高校生を対象に行ったアンケートでは、市民の約七〇％は「ロータリー」の名前を聞いたことがあるものの、その活動を知っているのは三〇％にすぎなかった。しかし、「重要で参加したい活動」について聞いてみると、ロータリアン、市民、高校生の間でいくつかの項目で大きな隔たりがあるが、「青少年育成」については共通しており、ロータリー



山谷石材店の山谷恒樹さん

新駅舎建設中のＪＲ千葉駅

「マ」は、ゆるくてスマートの意味らしい。良い街なんだろうね。「ゆるスマ」というキヤッチのテキストには好感が持てる。なまぐら四つで必勝型を持たない弱みもありそうだが。

野村証券の千葉支店長・渡辺信一さん（千葉RC）はいわゆる転勤族。千葉は二度目だ。

「海が近く自然豊か。なによりも人、ですね」千葉の知り合い数人と、前任地の高松（香川県）に遊びに行ったこともあるそうで、「どちらも自分の郷里みたいに感じています」

二期目の熊谷俊人市長は奈良県生まれの神戸育ち。四四歳。千葉RCの名誉会員でもある。経済団体での講演でこう語っている。

「私はこの町に来て、市民の中で千葉市というのはどういう街かという共通認識があまりないことを面白いと思いました」

「郷土の人物を一人挙げてくださいと言った時に誰も挙がらない、そんな街は初めてでした」市は今年、「開府890年」を大々的にPRしている。大治元（一一二六）年、豪族千葉常重が市中心部の亥鼻付近に館を構えた。これを街の始まりと位置づけ、市民みんなで確認しようというのだ。平家に敗れて安房に渡った源頼朝を常重の子の常胤が援け、鎌倉幕府の基礎を築いた歴史も心強い。

千葉氏の子孫はその後全国に広がり、「千葉六党」と呼ばれている。今夏、千葉氏ゆかりの自治体を招き、夏祭りに合わせて「千葉氏サミット」を開催、氣勢を挙げる。市の中心部を流れる都川。そのほとりて石材

業を営む山谷恒樹さん（千葉RC）の家は、江戸末期には米問屋だった。伊豆方面に米を運び、石材を積んで帰るうちに「石専門になった」そうだ。店の裏に船着き場があったという。

母の晴美さんが奥から小冊子を出してきて見せてくれた。画家だった父（恒樹さんの祖父）、故鏖一さんの絵とエッセーをまとめたものだ。

大正から昭和にかけての千葉、とくに都川界隈の思い出を記した文章がある。「干潮時は上流からの鯉、鰯などが流れとともに街なかの大和橋あたりまで下り、満潮時は海から汐に乗った鰯、せいごなどが水面から飛び跳ね……」

初詣に夏祭り、台風、戦後の焼け跡からの復興……。読んでいると、なじみのなかつたこの街が、親しくいとおしいものに思えてくる。

首都圏の一角として、「発展」を期待され義務付けられた千葉市。潮干狩りの名所だった海を埋め立て、港を整備し、幕張に未来都市をつくった。大都市になった。

千葉市ってどんな街？ この問いへの答え探しは、いま始まったばかりかもしれない。

宮本貢（みやもと・みつぐ）元朝日新聞記者。退社後、フリーで活動。水村孝（みずむら・たかし）元朝日新聞出版写真部編集委員。現在フリー。

亥鼻の館址に建つシンボル・市立郷土博物館



縄文時代を代表する遺跡加曾貝貝塚

千葉神社





二輪車同好会の有志（右の写真は二輪車同好会提供）

すか……

ヒット曲「みずいろの手紙」冒頭のセリフで登場したのは、お懐かしや、あべ静江さん。パティーの目玉。会場がどよめいて、みなさんズツとステージに群がる。

還暦を超えたあべさん、さすがに少々ふくら。でもね、オジサンたちはもつとしわくちや。どちらも人生の年輪、ということ。

曲を口ずさんでいっしょに写真におさまり、四〇年ほど若返って散会したのだった。

「千葉市ってどんな街？」

市民に薄い共通認識

今回の取材は、ロータリーの友地区代表委員の中村正見さん（千葉RC）と、同RC三浦俊司会長にすっかりお世話になった。会員を紹介してもらい、会う人ごとにほぼ同じことを尋ねてまわった。「千葉市ってどんな街ですか？」

クラブ最古参の大木康司さんは千葉マツダの会長。関東平野の東端、銚子の出身で、「私ら、ヨソモノですから」などと笑う。

最長老、八五歳の安田敬一さんは、かつて千葉にあった扇屋百貨店の二代目。初代がつくった財団の理事長として、返済義務のない奨学金で県内の高校生を支援している。

千葉市の観光協会会長、県観光物産協会会長などの要職を安田さんから引き継いだのが飯沼喜市郎さん。千葉市の東、酒々井町にある造り酒屋「飯沼本家」の一四代目である。

酒々井町で酒造り？ 冗談みたいな取り合わせなので、ちょっと横道に。

この町は古来、水陸交通の要衝として栄えた。「酒々井」の名は、父親の酒を買いカネのない孝行息子のために井戸の水が酒に変わった、という伝説による。「飯沼本家」はこの地で酒造り三〇〇年といわれている。

井戸はいまも残っている。ボタンを押すと説明の音声と水が流れる。酒ではなかった。本題に戻って、千葉市ってどんな街？

これがなかなかすっきりいかない。人口百万人近い政令指定都市にして県庁所在地。海があり山はあまりなく、モノレールが走り加曾利貝塚があり千葉ロッテの本拠地で、そうそう、幕張メッセがある幕張新都心も千葉市です。

で、千葉市って？ 「千葉の特徴……苦勞するんですよ」と安田さん。「アイデンティティー」というようなことをあまり考えてこなかった。豊かな街だったんでしょ」

「震災で丸焼けになった千葉は、街を大きくすることが中心になった。千葉について考えたり教育したりすることが少なかったかもしれない」というのは飯沼さんの感慨だ。

市の公式サイトに、千葉市への定住を誘うページがある。キャッチコピーは「そこそこ都会でそこそこ田舎のゆるスマ」千葉市ライフ。横浜、さいたま、川崎など首都圏の大都市とくらべ、土地代や物価が安い、気候温暖、交通事故が少ないといった利点をあげている。「ゆるス

300年続く酒蔵「飯沼本家」

飯沼喜一郎さん

町名の由来となった「酒の井の碑」





千葉RC三浦俊司会長（左）と
大木康司地区大会委員長

櫻木英一郎ガバナー

役員を決め、すでに二度のツーリングを実行した。実績をアピールして会員募集もと、地区大会に愛車を持ち込んだのである。

会長の北原俊彦さん（千葉南RC）や副会長の並木鷹男さん（千葉RC）、事務局長の増谷信一・フェローシップ委員長（柏西RC）ら、会の言い出しっぺが集まっていた。

「いやあ、ロータリーでバイクの話ができるなんて思わなかったなあ」

「昔、『趣味はバイク』と言ったら、おまえ、いい歳してまだ暴走族やってるのかと笑われた。以来三〇年、黙ってました」

胸に秘めたちよい悪オヤジ志向をカミングアウトできて、みなさん意気軒昂である。

バイク談議が終わりそうもないので抜け出



千葉市の新しい顔・海浜幕張駅付近

ることで会員増強・会員維持につなげた、という櫻木英一郎ガバナー（千葉RC）の意向だ。俳句に釣り、山歩き、刀剣など九ジャンルが考えられている。

先行しているのが二輪車（バイク）の会だ。会則や

し、JR京葉線蘇我駅近くの「花の駅そが」に出かけた。広場にレールを敷いて、ミニSLの運転会が開かれている。NPO「蘇我ミニトレインクラブ」の運営で、幼稚園を経営する石川進一さん（千葉RC）はその中心だ。

機関士になったかった。電気技師として市に勤め、ミニSLづくりが趣味になった。部品からすべて手づくりである。仲間と立ち上げたNPOで月に一度、運転会を開き、家族連れを乗せてミニトレインの楽しさを伝えている。

「機関車はもともとオトナの遊び。お客さんに乗ってもらうのはオマケなんです」と笑う。

市役所を退職して、いまは夫人が園長を務める幼稚園の理事長。運転会では、訪れた家族連れに必ず次のような案内をする。「ミニ鉄道の料金は無料です。子どもたちの素敵な笑顔と『ありがとう』を頂戴することにしてあります」

「しかし」と石川さんは残念そう。「ありがと



ミニSL運転会で石川進一会員（右）

地区大会の成功を祝って

ゲストはあべ静江さん

地区大会で米山記念奨学生の紹介



わがまち..... ROTARY そしてロータリー

千葉県千葉市

アイデンティティを探す ゆるスマな大都市

文・宮本 貢 写真・水村 孝

クラブの枠を超えた趣味の会
交流を広げて会員増強・会員維持

千葉ポートタワーに行ってきました。この冬
いちばんに寒い日の夕方でした。

地上113mの展望階に上ると、なんとまあ、
360度の絶景である。目の前に広がる光は千
葉市中心部。湾岸沿いに西のかた、ひととき輝
く高いビル群は幕張新都心だろう。さらに東京
から京浜地区の賑わいの彼方、夕焼け空にくっ
きり浮かぶのは、おお、富士山。

手をつないだ老若のカップル、黙って夕景を
見つめるひとりもの。ポートタワーでこの日の
富士山に出合えたどちらさまも、きつと目ごろ
の心がけが良かったにちがいない。

幕張新都心のホテルで二月六〜七日、第
二七九〇地区の地区大会が開かれた。ホストは

千葉ロータリークラブ（RC）である。
大会の冒頭、ロータリーの活動を伝える映像
に合わせて、ジョン・レノンの「イマ
ジン」が流れた。ウクライナ出身の女
性歌手カテリーナさんの、民族楽器パ
ンドウーラを弾きながらのライブであ
る。心にしみる演出だ。

会場の一隅に、なぜかオートバイが
四台展示してある。車体の面構えがタ
ダゴトでない。中の一台、鳴海寿裕さ
ん（千葉東RC）の「ボスホス」なる
クルマは、エンジン8200cc、車重
760kg。そして、お値段八〇〇万円。
何だ、これは！

今年度、地区のフェローシップ委員
会が、クラブの枠を超えた「趣味の会」
づくりを力を入れている。交流を広げ

ポートタワーから見た夕景の千葉港と市中心部

稲毛の海岸エリアにはヨットハーバーもある（下）
夕焼け空に浮かぶ富士山（右下 撮影・宮本貢）



懸垂式としては世界最長のモノレール

れていると言われていますが、最後のページ「ん」の項にはわずかに八語しか載っていません。それも、「五十音図およびいろは歌に出ない仮名」のように、音や文字の解説で、言葉の説明ではありません。標準語には「ン」で始まる単語はないということです。

これに対し、一万四〇〇〇語採録の『庄内方言辞典』には、語尾が活用で変化しているものも含めると、語頭が「ン」である言葉が二一八も載っています。

さすがに現在では「ンナ（母親、中年の女性）」や「ンジャ（弟）」などは、耳にすることが珍しくなりましたが「ンメボシ（梅干し）」「ンマ（馬）」「ンメ（旨い）」「ンダ（そうです）」「ンデネ（そうでない）」などは、今でも日常の会話の中でごく普通に使われています。

標準語にはない「ン」で始まる言葉が数多くあることも、「おらほの言葉」の特徴の一つということになります。

方言の行方

現在、私はシリーズ名を「方言漫歩」と題して地元の新報に、もう一つ「おらほのことは」を町の広報に寄稿していますが、そのために作文をしたり、イラストを描き始めると、脳裏によみがえる顔があります。昭和四〇年代に、私が余目町立和合中学校で担任した、A君の顔です。

当時、和合中学校卒業生の高校進学率は七〇

割前後で、三割ほどの生徒は、首都圏の町工場などに就職しました。いわゆる「金の卵」です。A君もその一人で、卒業式の数日後、鶴岡駅発の集団就職列車で上京したのでした。

ところが、それから二か月ほどたったある日、私は余目の街角で、そのA君とぼったり出会ったのです。お茶を飲みながら、ぼつりぼつり語る彼の話をまとめると、彼が余目に戻った経緯は、こんなことでした。

休憩時間にA君が何か言うと、周りの人たちが発音の仕方を笑う。笑いを買うから話さなくなる。話さないから友達ができない。孤独感に耐えかねて、僕は帰郷したのです、と言うのです。

当時の和合中では、二学期末になると、受験生が英語を学ぶ時間、就職希望の生徒には、別室で授業をしていました。

工業の時間、と私たちは称していましたが、何をつくるでもなく、実質は標準語の訓練を行っていました。標準語を練習していたのです。しかし、朝夕のあいさつぐらいならともかく、三か月程度の練習では、標準語の「会話」が身に付くはずはありません。自分の気持ちは、標準語では言えないのです。

A君のように、帰郷するまでのことはなかったとしても、東北地方から出て行った金の卵たちは、言葉でずいぶん苦労をしたと思います。当時比べると、近ごろは各地の方言を、一つの文化として見直そう、という機運が大きく高まっていますし、テレビの連続ドラマの舞台になった地域の「地言葉」は、流行語にさえなっ

たりしています。「東京では言葉が通じない」などということはなくなったのでしょうか。しかし、大きい流れとしては、残念ながら方言は消えつつある、と私は捉えています。

例えば、私の家は保育園に隣接していますが、おらほの子どもたちの会話を聞いてみると、方言、地言葉がほとんど出てこないことに気がきます。標準語とそれほど変わりません。

また、タレントが田舎を探訪するテレビ番組を見てみると、どんな地域のお年寄りでも、タレントに答える時の言葉に方言が交じっていても、タレントの問いが聞き取れず、聞き返すことはめったにありません。「会話」が成り立っています。お年寄りとして、アナウンサーが、日本語の典型とも言える話し方で報じるニュースを毎日視聴していますから、標準語に慣れてきているのです。何十年後かには、ほとんどの日本人が特に意識せず、標準語化した言葉を話すようになると思います。

公教育の充実、マスメディアの発達、人々の交流圏の拡大などに伴い、話し言葉の標準語化は今後、ますます進むであろうと捉えていますし、それはそれで、いいことでしょう。その中で語彙や語法、アクセントのそれに遅れ、最後まで方言の名残をとどめるのは、今日、私が述べたようなこと、つまり音韻に関わる部面であろう、と考えています。

でも、「おらほの言葉」は大切に続けたいものです。庄内弁の発音の仕方について、やや特徴的なことを幾つかご紹介しました。ご清聴ありがとうございました。

「テニヲハ」を省いてきました。「てえ(手)ーつなぐ」「きい(気)ーする」「ちい(血)ー出た」などの言い方です。手の下には「を」、気の下には「に」、血の下には「が」の音がそれぞれ入り、手をつなぐ、気にする、血が出る、となるのが本来の形です。

六番目として、母音のUとOの転換があります。指「YUBI」がヨビ「YOB I」になり、沼「NUMA」がノマ「NOMA」と発音されるということです。

七番目には、ラ行音を避ける傾向が挙げられます。例えば「花子も連れて行け」は「花子もツデエゲ」になって「れ」が脱落していますし、「夏ヨカ冬の方がいい」の場合は「り」が「力」に変わっています。

おらほでは「だめだ」を「ヤヂャガネ」と言います。「ヤヂャガネ」は「埒が明かない」であるとする説が、研究者間の通説です。「らちがあかない」のラが避けられ、さらに言葉も縮んで「ヤヂャガネ」と変化しているのです。

母音の重なりを避ける

おらほの人々はご飯の数を言う杯、火鉢やかまどの灰、食物に群がる蠅、水田の雑草の穂、用水堰で泳ぐサカナの鮠を、全て「へ」と発音しています。本来は二音の語が一音に縮んでいるわけです。

私は、当初は先に述べた「約」の一つの形ととらえていたのですが、山形県方言研究会に

よって、一九七二年に刊行された『山形県方言概説』という本を読んで、この「約」が一つの法則に拠っていることを知りました。「本県の方言には母音の重なりを避ける傾向がある」とこの本には記されています。

杯・灰をHAI、蠅をHAE、稗をHIEとローマ字書きしてみると、確かに母音が重なっていることに気づきます。地元民ではあるものの、私自身はサカナの鮠は普通に「ハヤ」と覚えていたので、最初はちよつと疑問に思ったのですが、『広辞苑』をめくると、鮠はハエとしても読むと載っているのです。ハエ「HAE」なら、この法則に合致します。私は納得するとともに、研究者というものは、すごいことに気が付くものだと感じしたのでした。

おらほでは、現在も隣の家をトナリネ、裏の家をウラネと呼んでいます。家「イエ」がどうして「ネ」一音に縮むのか、長い間疑問だったのですが、この法則に立つと説明できます。

「隣の家」をローマ字で書くと、TONAR

INOIEとなつて、語尾に母音のIとEが重なります。これを避けてIを消去し、TONARINOIEにすると、今度はOとEが重なります。それで当地ではOを声にしなくなり、TONARINEになったと理解しているのですが、どんなものでしょう。

鼻音の「ン」が語頭にもくる

先に、鼻音が多いのもズーゾー弁の要件の一つだ、と話しましたが、鼻音の代表格は「ン」である、と私は捉えています。唇や舌をまったく動かさず、鼻の中の空気の流れだけで、声になります。

標準語で、この「ン」は「乾杯」や「煎餅」のように、語の途中に出てくるか「看板」や「世論」のように語尾になる音です。語頭にくることはありません。

最新版『広辞苑』には、約二四万語が採録さ



樋渡 浩

■ 庄内方言記録者

一九三三年 山形県東田川郡余目町(現、庄内町)生まれ。五六年 山形大学教育学部卒業後、教員となり、九三年 庄内町立余目中学校長を最後に定年退職。六二年 美術教師仲間と「つぶの会」を創設。七九年 山形県美展無鑑査(彫刻)、八五年より同展委嘱。九五年 「三美会」を創設。町社会教育委員、「響ホール」運営委員会座長、郷土史研究会副会長など歴任。
二〇一二年 第五回高山樗牛賞受賞。
『絵と方言で綴る庄内子ども歳時記』東北出版企画、二〇二二年など著書多数。



提供：樋渡浩 カシエギデダチ（労働するときの身支度）

おらほの言葉は ズーズー弁

「おらほの言葉」の音韻上の特徴について、述べます。その特徴は、次のようにまとめられると思います。

のですが、野良仕事のイラストの遠景は決まって鳥海山です。広い田んぼの彼方に鳥海山がそびえている——は、私の原風景なのです。

見るたび懐かしさを覚え、「おらほの言葉」は庄内の風土が生み育てたのだ、とする想いを新たにしています。

まず、おらほの人々は会話の時、スとし、ツとチ、ヅ（ス）とヂ（ジ）をはっきり区別して発音することができません。鳥のスズメが「シジメ」、土は「チジ」になるのです。今、私はツとチの区別を相当、強く意識して話しているつもりですが、東京の人には、みな同じように聞こえているかもしれません。

二番目に濁音が多い。頭が「アダメ」、口が「クヂ」になるように、本来清音の語の一部が、濁音化している言葉がとても多いのです。

庄内の余目・おらほでは、大胆でもものに動じないことを「ドブデギ」と言います。共通語の大胆不敵の「不敵」に、接頭語「ど」を冠して意味を強めている、と解されますが、語を構成する「ド・ブ・デ・ギ」、四音の全てが濁音となっています。このような例は、共通語にはあまりないと思います。

三つ目には、鼻音、つまり鼻にかかる音が多いことが挙げられます。この鼻音については、後でもう一度述べましょう。

私たちは、感覚的に東北弁をズーズー弁である、と捉えています。方言の研究者たちはこの三要件、つまりスとしの無区別、多濁音、多鼻音がそろった方言を、ズーズー弁と定義しているようです。東北弁の一環として、おらほの言葉、庄内弁がズーズー弁であることは言うまでもありません。そして、どの研究者も、その要因は寒冷な気候にある、としています。

私が子どものころ、余目でも農村部の男性の多くは、冬になると頬（ほ）を被（か）りをしていました。そうすると口の周りの筋肉の動きが鈍くなるし、

寒い中では、口を大きく開けないで済まそう、とする気持ちが働きます。自然、音が口にこもって濁音や鼻音が多くなっていき、スとし、ツとチの区別があいまいになっていったのではないのでしょうか。

音を省いて 長い言葉を縮める

研究者が挙げるズーズー弁の要件には入っていませんが、次に述べる諸特徴も、寒さに起因すると考えられます。

四番目の特徴として「約」があります。複数の音をより少ない音数にまとめて、語の長さを縮めるということです。

例えば「今日は、稲刈（いね）りをしなければならぬ」と言うところを、おらほでは「稲刈りサネバネ」と言います。「しなければならぬ」の九音がサネバネ、となつて、半分以上の四音に縮んでいます。

また「サンマデモネ」は価値がない、値打ちがないことを形容する言葉ですが、本来の言い方は「さんもんあた（三文値）もない」ですから、一〇音が六音に縮んでいます。

五番目として、長音を伸ばさずに発音する傾向があります。おらほでは「ホーチョー（包丁）」が「ホヂョ」「イツショ」「ゴゴ」（一升五合）が「エツショ」「ゴンゴ」と発音されています。長音記号のところが声にならないのです。

半面、主語が一音節語の場合は、その語を長音気味に発音し、その次に来る助詞、いわゆる



写真提供：立川ロータリークラブ 立川を悩ませてきた庄内平野に吹く強風「清川だし」を逆手に取り、町の力に変えました

り合い」の席に入ってきたお父さんが、額の汗をぬぐいながら連発する「モッケダ、モッケダ」が「恐縮」の意であるのに対し、取れたてのジャガイモをどっさり届けてくれた農家の人に対して、いただいた側のおばさんが「コゲエッペ（こんなにたくさん）モッケダ」と言ったときのモッケダは「ありがとう」の意味である、というふうに、私たちの方言を、生活の中のワンシーンで説明していったのです。

つまり、同じ言葉でも場によって意味やニュアンスに違いがあることなども、丁寧に書いていくということです。二年目からは、私の作文力では、適切に説明できないもどかしさを若干でも補うため、自分で描いたイラストも付けることにしました。

自然と、私の子どもたちの思い出話が多くなりました。遊びではベッチブチ（メンコ打ち）やドンジョシメ（ドジョウ捕り）など、子どもたちが参加する民俗的な行事では、センド（道祖神祭）やログヤマジン（六夜待ち）などを取り上げました。

また、戦時中の子どもとして手伝った農作業では、ヒケシ（脱穀調整）やマヤダシ（厩の敷きワラ交換）などについて書いていき、関連してカシエギデダヂ（労働する時の身支度）やマザメ（炊事）などに触れました。

器物の名前では、エッチヨシジ（二升瓶）やジンギリ（刻みたばこ入れ）、生きものの名称ではゲログド（オタマジャクシ）やデデッポ（野鳩）などについて書いています。

二〇年間の新聞切り抜き帳を見ることがある

おらほの言葉

公教育の充実、マスメディアの発達、人々の交流圏の拡大などに伴い、話し言葉の標準語化は今後、ますます進むであろうと捉えていますし、それはそれで、いいことでしょう。その中で語彙や語法、アクセントのそれに遅れ、最後まで方言の名残をとどめるのは、今日、私が述べたようなこと、つまり音韻に関わる部面であろう、と考えています。

庄内方言記録者 **樋渡 浩**
Hiroshi Hiwatari

方言を記録し始めた きっかけ

私は教職を退いた後、足かけ二〇年にわたって、「おらほの言葉」、すなわち、山形県庄内町（旧・余目町^{あまのめ}）を中心にした地域の方言を、記録してきました。今日は、その間に得た若干の知識の中から、音韻上、平たく言えば発音上の特徴の幾つかを紹介します。

一九九四（平成六）年に、町民の人々の創作活動の拠点として余目第二公民館が開館したとき、木版画、ガラス絵、陶芸などに挑戦する皆さんの世話役を委嘱されたのは、私が元美術教師だったからだと思っています。

初夏のある日曜日、陶芸教室があり、二〇人ほどの人が陶土を練っていました。すると、焼き物づくりには数年の経験がある、というおじいさんがやおら立ち上がって、言いました。

「皆さん、今日はハシラグサゲ、今使わない粘土に、絞ったタオルを掛けて、ヒネヨエしてクネへ」

お年寄りたちはすぐ、反応しましたが、若いお母さんたちは、けげんそうな面持ちで、私を

見ました。「クネへ」は「ください」の意味だ、と今の若い人でも理解できませんが、「ハシラグサゲ」と「ヒネヨエ」の意味がわからなかったらしいのです。

そこで私は、「ハシラグサゲ」は「乾燥しているから」、「ヒネヨエ」は「乾かないように」の意であると説明しました。

おじいさんは、標準語で言うなら「今日は空気が乾燥しているから、今、練っている以外の粘土には濡れタオルを掛けて、干しながらよいうにしてください」と言ったのです。

「納得した」という表情で陶土をタオルで覆うお母さんたちを見た時、私は強く思ったのでした。地元の言葉がわかる人が年ごとに減っている今、その意味がわかる年代の元教師としては、何らかの形で「おらほの言葉」である余目言葉を、書き残しておくべきではないか。

これが、私が方言について関心を持つようになり、余目言葉を表題にした随筆風の文章を地元の新聞に送るようになったきっかけです。

しかし、書き始めてすぐ、自分が方言について全く無知であることに気がきました。話の流れて、言葉の由来や語法に触れなければならないとなると、国語学的には、手も足も出ないのです。

そこで私は、学問的なことは研究者に任せることにして、こうしたことは触れずにもっぱら、その方言がどんな場面で、どんな意味で使われたかを丁寧に書いていくことにしました。

例えば、現在もお年寄りたちがよく使う「モツケダ」を題材にした時は、遅刻して「ヨリエ（寄

4月は母子の健康月間です

THE ROTARY-NO-TOMO

おらほの言葉

■庄内方言記録者 樋渡 浩

4
81

シリーズ わがまち……そしてロータリー

9
76

アイデンティティーを探る「ゆるスマ」な大都市

千葉県 千葉市

文・宮本 貢 写真・水村 孝

友愛の広場

13
72

ロータリーの「世界富論」

徳山東 大東 英夫

不易流行

足利東 黒田 正和

ロータリー宣言について

八戸 峯 正一

Rーとロータリー財団について教えて

津 中尾 浩一

ペッパー君のゲスト卓話

西宮恵美寿 松本 亘

生きるレジエンド

碧南 新美 雅浩

新風吹き込む新会員の集いOB

鎌倉大船 石井昭二郎

君逝きぬ 希望の風と落葉残して

志木 原 孝一

●バナー自慢

卓話の泉

18
67

おいしいだしの取り方

大垣中 安田 親生

エンディングノート

遠軽 高橋 義詔

江戸しぐさにまつわる話

結乃 糸美

ロータリー俳壇

◆稲畑 汀子 選

20
65

ロータリー歌壇

◆佐佐木幸綱 選

20
65

ロータリー柳壇

◆てじま晩秋 選

20
65

ロータリー・アット・ワーク

22
63朝霞RC杯争奪ミニ
バスケットボール大会

朝霞ロータリークラブ

〈写真〉函館／海老名／静岡西・静岡北／浦和東／

都留／伊予／堺フェニックスRAC・

帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校AC／東大阪東



児童労働について考える市民会議を開催

福井東

自殺を防止するために

徳島南

認知症サポーター養成講座を一般公開

越谷南

クリスマスコンサートで歌や演奏の社会奉仕活動

名古屋南

親睦家族会で震災復興のチャリティーコンサート

新札幌

公徳学園の子どもたちとクリスマス会

東大阪中央

第二回龍馬杯野球大会

高知中央

渋谷区障がい者の運動会を支援

東京西

一期一会 米山奨学生と語る夢

宇佐八幡

国際ロボット展覧学会

東京銀座新

県民一万人参加の猪苗代湖浄化作業

猪苗代

表紙のメッセージ

岡井 耀毅

30
55

表紙 横組み 「海賊遊覧船みらい号」 近藤 正人(二七四〇 佐世保南)

縦組み 「出雲の緑」 市川 和博(二七五〇 東京八王子南)

表紙題字 加藤 光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

●横組みの目次は、反対側の表紙を開いた4〜5ページにあります。
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

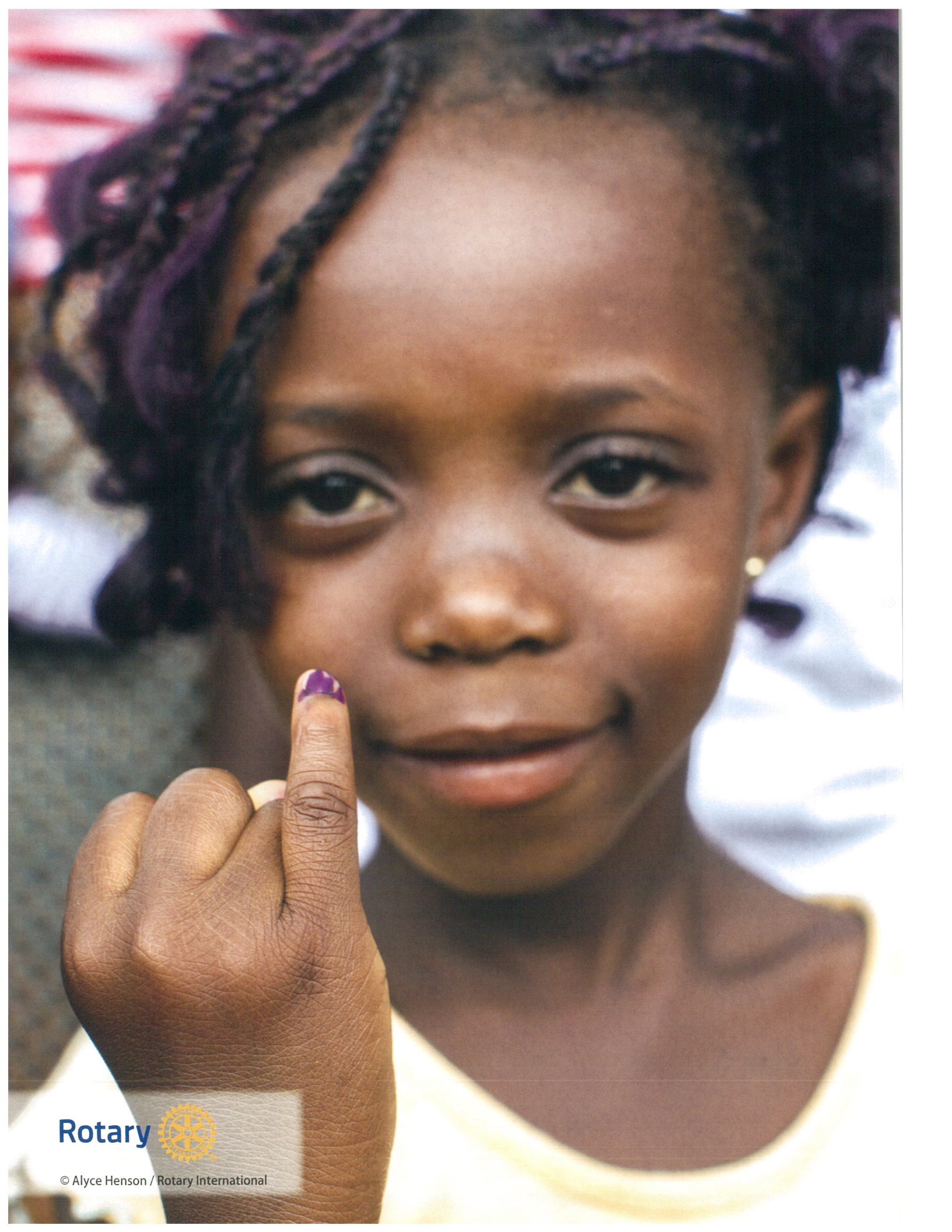
一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ROTARY
JAPAN
 Home Page
www.rotary.or.jp



© Alyce Henson / Rotary International

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO APRIL 2016 VOL.64 NO.4

ロータリーの友4月号 第64巻 第4号
平成28年4月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻760号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

4
2016



SPEECH ———

おらほの言葉

樋渡 浩

わがまち……そしてロータリー
千葉県千葉市

Rotary 